

擦或ハ硫酸銅水、一%乃至二%硝酸銀水、二%乃至五%醋酸鉛水ヲ用井「バ  
 シヌス」ノ暴起刺戟旺盛ナレバ亞篤羅必涅ノ點眼古加乙涅水及硝酸銀水ノ  
 點眼劑ヲ與フ但シ硫酸銅及醋酸鉛ハ潰瘍アルキハ用ユベカラズ○手術療法  
 ハ「一」亂切法（亂切後五百倍昇汞水ヲ強硬ナル刷子ニ浸シ結膜ヲ摩擦ス）  
 「二」顆粒壓碎法（鑷子ヲ以テ顆粒ヲ壓碎ス）「三」クラインینگ氏摩擦法  
 （綿花小片ヲ昇汞水ニ浸シ結膜就中其隆突部ヲ摩擦ス）其他「四」結膜穹窿部  
 切除法「五」軟骨切除法アリ

- 慢性「トラホーム」ノ處方左ノ如シ
- 硼酸 六、〇
- 硼水 三〇〇、〇
- 右洗滌料 三〇〇、〇
- 八千倍昇汞水 三〇〇、〇
- 右塗布料 一〇、〇
- 結晶硫酸銅 一〇、〇
- 右塗布料 一〇、〇
- 硫酸銅桿ハ能ク研磨シテ滑澤ナランコトヲ要スヘシ若シ分泌多キトキハ之レニ代フルニ硝酸銀溶液ヲ以テス可シ唯
- 分泌ノ多量ナラサルトキノミ硫酸銅ヲ用フルチ宜トス硫酸銅及硝酸銀ト交互相變換シテ而シテ後更ニ左方ヲ處スルコトアリ
- 鉛糖 一、〇
- 水 五〇〇、〇
- 右調和塗布料
- 阿片泊美蘭丁 各五、〇
- 右調和結膜囊點眼每一滴

又甘汞撒布ヲ行フコトアリ若シ毎日醫師ノ診察治療ヲ受クルコト能ハサル者ニハ患者ヲシテ自ラ硫酸銅ヲ用井テ下眼瞼ヲ觸接セシム若シ患者自ラ之ヲ能クセサルトキハ左ノ點眼水或ハ軟膏ヲ與フ

- 硫酸亞鉛 一、〇
- 茴香水 各一五、〇
- 硼水 各一五、〇
- 右點眼料 五、〇
- 五%硫酸亞鉛水 五、〇
- 右點眼料 五、〇
- 硫酸銅 五、〇
- 華攝林 五、〇乃至一〇、〇
- 右調和軟膏ニ作り眼瞼塗擦
- 五%硫酸銅偏里設林軟膏 五、〇
- 右點眼料 一、〇
- 硫酸銅 一、〇
- 偏里設林 一〇、〇
- 右調和點眼料
- 鉛糖 二〇、〇
- 無水偏里設林 二〇、〇
- 右點眼（消毒シタル象牙性小桿ヲ用フ）
- 疼痛甚シキモノニハ左方ヲ兼用セシム
- 一%鹽酸古加乙涅水 五、〇
- 右點眼料
- 二%鹽酸古加乙涅水 五、〇
- 右點眼料
- 鹽酸古加乙涅水 一〇、〇
- 水 一〇、〇
- 右調和點眼料
- 陳舊性「パンヌス」ニハ左方ヲ處シ人工的ニ炎症ヲ起ス可シ
- ガエキリチー細末 一五、〇
- 冷蒸餾水 五〇〇、〇
- チ加エ二十

顆粒性結膜炎

四時間浸出濾過シ貯フ  
右三日間毎三回眼瞼ヲ翻轉シテ

洗滌スベシ

### 腺病性結膜炎

*Conjunctivitis serophulosa.*

(水泡性結膜炎)

コンジュンクチヴ井チス、スクロフローガ

(原因)腺病或ハ外來ノ刺戟ニ因リ小兒ニ多シ

(診候)限局シテ小水泡疹ヲ發スル眼球結膜炎ナリ該水泡疹ハ通常角膜ノ近傍ニ在

リテ血管ノ集合ニ依リテ形成セラレタル三角形ノ頂點チナス其種類三アリ  
○孤立性ノモノハ其數一個或ハ二三個羞明、流淚ヲ呈スルニ過ギズ一二日  
ニシテ潰瘍ニ變シ遂ニ上皮ヲ生シテ治ス○多發性ノモノハ專ラ角膜縁ノ傍  
ニ生シ形甚々小ニシテ砂粒ノ如シ結膜充血又角膜周擁充血著シク刺戟症モ  
亦々劇甚ニシテ羞明、流淚、眼瞼痙攣著明ナリ然レモ水泡吸收消散スルヲ常  
トス○惡性膿疱疹ハ角膜ト結膜ノ境界上ニ發シ大ニシテ多クハ潰瘍ヲ形成  
シ角膜穿孔、虹彩脫出チ來スアアリテ治癒チ妨ク刺戟症重劇ナリ、又々溷濁  
及血管ヲ伴ヒ角膜中心ニ向ヒ進行シ乃チ芒把形チナスモノアリ所謂芒把狀  
角膜炎ヲ發スルモノニシテ豫後稍ヤ不良ナリ

(豫後)腺病ニ因スルモノハ屢々再發ノ虞アリ特發性ノモノハ良ナリ而シテ惡性膿  
疱疹ハ潰瘍ヲ形成シ角膜穿孔次テ虹彩脫出チ生スルコトアルヲ以テ不良ナ

(療法)微温湯或ハ茶劑ヲ用井テ眼ヲ洗淨シ眼瞼ノ痂皮ハ脂肪ヲ塗布シテ軟化シタ  
ル後之ヲ除去スベシ但シ綿帶ハ施スニ及ハス○羞明甚シキトキハ新鮮ナル  
水中ニ顔面ヲ浸スカ或ハ古加乙涅水ヲ點眼スヘシ飲食攝生ハ殊ニ注意シテ  
肉、鷄卵、牛乳、麥酒、少量ノ澱粉質ヲ常食ニ供シ高燥ノ地ニ往セシメ運動ヲ  
適宜ニシ内服ニハ「ヘルレル」水、鐵劑、規尼涅、沃鐵舍利別、沃度加里、肝油  
等ヲ用フ局處療法ハ甘汞撒布ヲ宜シトス

○ 硼酸

三水

六、〇  
三〇〇、〇

○ 黃降汞

一〇、〇  
一〇、〇

右洗滌料

適宜

○ 甘汞

右毛筆ヲ以テ撒布ス

○ 沃度仿謨末

各二、〇

乳糖

右研和撒布料

甘汞撒布ニ代フルニ「パーゲンス」ステツ  
ヘル」氏ノ軟膏ヲ用フル「ア」刺戟症  
ノ稍ヤ退キタルトニ宜シ

○ 甘汞

刺納林

華攝林

〇、二  
三、〇  
二、〇

右調和用法前者ニ同シ

○ 鹽酸古加乙涅

五、〇  
〇、一

腺病性結膜炎

右溶和點眼料

○ 白降汞

一、〇

萇若越

一、五

華攝林

一〇、〇

右豆大ノ者ヲ前額及ヒ額顙部ニ

塗擦ス

○ 炎症旺盛分泌多量ノモノニハ

○ 結晶硝酸銀

〇、五

○ 鹽水

五〇、〇

右點眼料

毛様神經ノ刺戟甚シキ者ニハ亞篤羅必

涅ノ軟膏ヲ作り用テ最モ効驗アリ

○ 硫酸亞篤羅必涅

〇、〇五

華攝林

一〇、〇

右調和軟膏ニ作り硝子棒ヲ用テ

豌豆大許ヲ結膜囊ニ送入ス

大水疱ノ潰瘍ニハ硝酸銀棒、惡性膿疱

疹ニハ「エゼリン」點眼及溫罨法ヲ宜シ

トス

○ 含糖炭酸鐵

二、〇

硫規

一、〇

白糖

一〇、〇

右研和散ト爲シ朝夕二刀尖

○ 沃度加留謨

二、〇

水

五〇、〇

○ 覆盆子舍

一〇、〇

○ 右調和朝夕一食匙

○ 沃鐵舍利別

一五、〇

單舍

二〇、〇

○ 鹽水

一八〇、〇

○ 右一日三回二日二分服

○ 肝油

六〇、〇

右一日二回分服

○ 攣縮及關節強直

Contractur, Ankylose.

コントラクツール アンキローゼ

〔原由〕胎生性關節發育障害 (内翻足、内翻馬足、外翻足、外翻鉤足) 持久性或ハ強力

性壓迫脊椎側彎症、外翻膝、外翻足 (即扁平足)、神經中樞ノ疾患及損傷 (麻痺

性及痙攣性攣縮)、軟部ノ火傷、創傷及炎症 (癩痕性攣縮) 等、○關節及其周圍

軟部ノ炎症及損傷 (結締織性關節強直、軟骨性關節強直、骨性關節強直) ヒス

テリ關節炎 (假性關節強直)

〔診候〕關節強直ニ在リテハ關節ノ運動全然廢絶ス (眞性關節強直) 但シ全身麻酔中

ニハ運動ヲ營ムモノアリ (假性關節強直) ○攣縮ニ在リテハ關節ノ位置變

常、運動ノ制限ヲ呈ス

〔療法〕按療法、治療的體操、他動、固定疔帶、矯正裝置、電氣療法、截骨術、截腕術、截

筋術、截除等ヲ用ユヘシ

○ 打撲

Contusion. コンジッション

〔原由〕鈍器ヲ以テ毆打セラレ或ハ鈍體ニ衝突シ或ハ轉墜シテ鈍體ニ觸ル、等

〔診候〕皮下溢血及疼痛ヲ以テ主徴トス皮下溢血ハ始メ紫色或ハ暗青色ノ斑ヲ皮膚

ニ呈ス該斑ハ後チ黃色或ハ黃綠色ニ變シ終ニ消失ス其他常ニ腫脹ヲ呈ス

攣縮及關節強直 打撲

(療法)皮下出血ヲ制止スルコト、疼痛ヲ鎮靜スルコト及溢血ノ吸收ヲ促進スルコトヲ以テ療法ノ主眼トス○氷罨法或ハ鉛水罨法ヲ行ヒ壓迫繃帶ヲ施シ四肢ニ於テハ其末端ヲ高クスベシ○吸收ヲ催進スルニハ按摩法ヲ用ユベシ

○痙攣 *Convulsiones.* コンヴァルジチネン

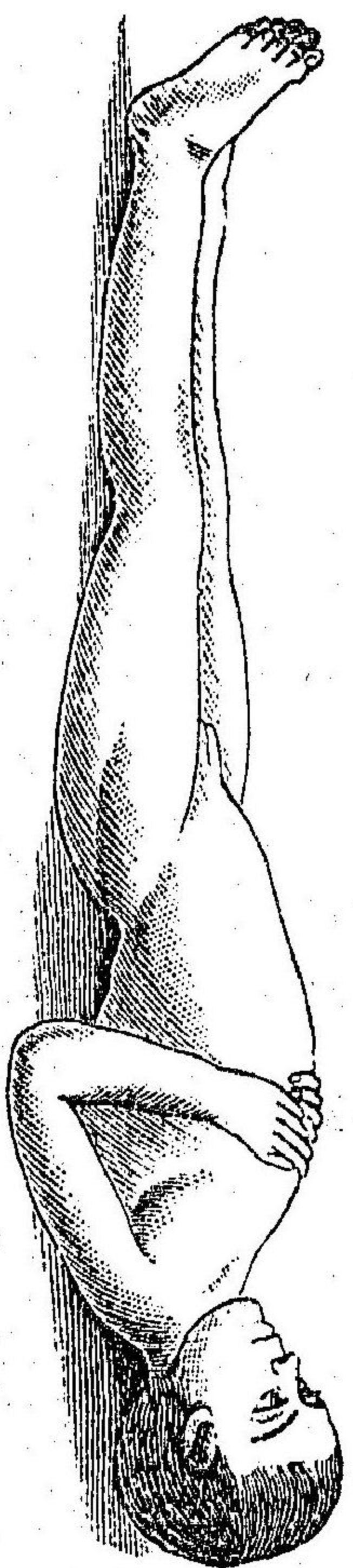
小兒急痛及妊娠產婦急痛ノ條下ヲ見ルベシ

○股關節炎 *Coxitis.* コキシチチス

(原因)慢性膀胱炎ハ結核(慢性結核性股關節炎)ハ專ラ五乃至十才ノ小兒ニ發ス)及畸形關節炎(老年期ニ發ス)○急性症ハ關節創、急性傳染病(急性化膿性股關節炎)

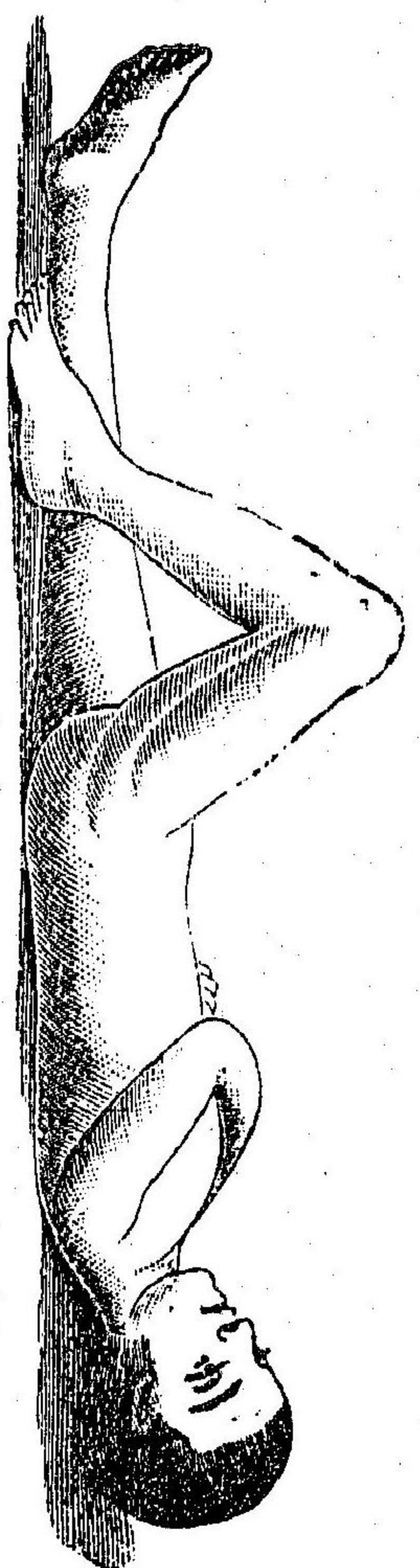
(診察)結核性股關節炎ハ其經過ヲ三期ニ區別ス其第一期ニ在リテハ跛歩、反射的膝痛、大廻轉部ノ壓痛、股關節部ノ知覺過敏、患肢大腿ノ屈曲外轉外旋及假性延長第二期ニハ患部增大シテ表面浮腫柔軟、深部硬結、疼痛增加、患肢屈曲增加、内轉内旋、假性短縮第三期ニハ瘻孔發生、大腿骨頭消耗、骨端脫臼、眞性短縮ヲナシ大轉子ハ腸骨前上棘ノ尖端ト坐骨結節トノ間ニ畫ケル線即所謂「ローゼル」ヲラトン「氏線」ヨリ上方ニ存在スルニ至ル其他全身貧血、衰弱等アリ○轉歸ハ全治或ハ死亡(内臟結核、若クハ全身粟粒結核ヲ續發シ)

圖 一 十 第



腰 椎 曲 前  
ニ 彎 曲 シ  
盤 ヲ 傾 斜 シ  
テ 患 肢 ノ 固  
有 ナル 位 置  
ヲ 不 明 ナラ  
シメ タル 圖

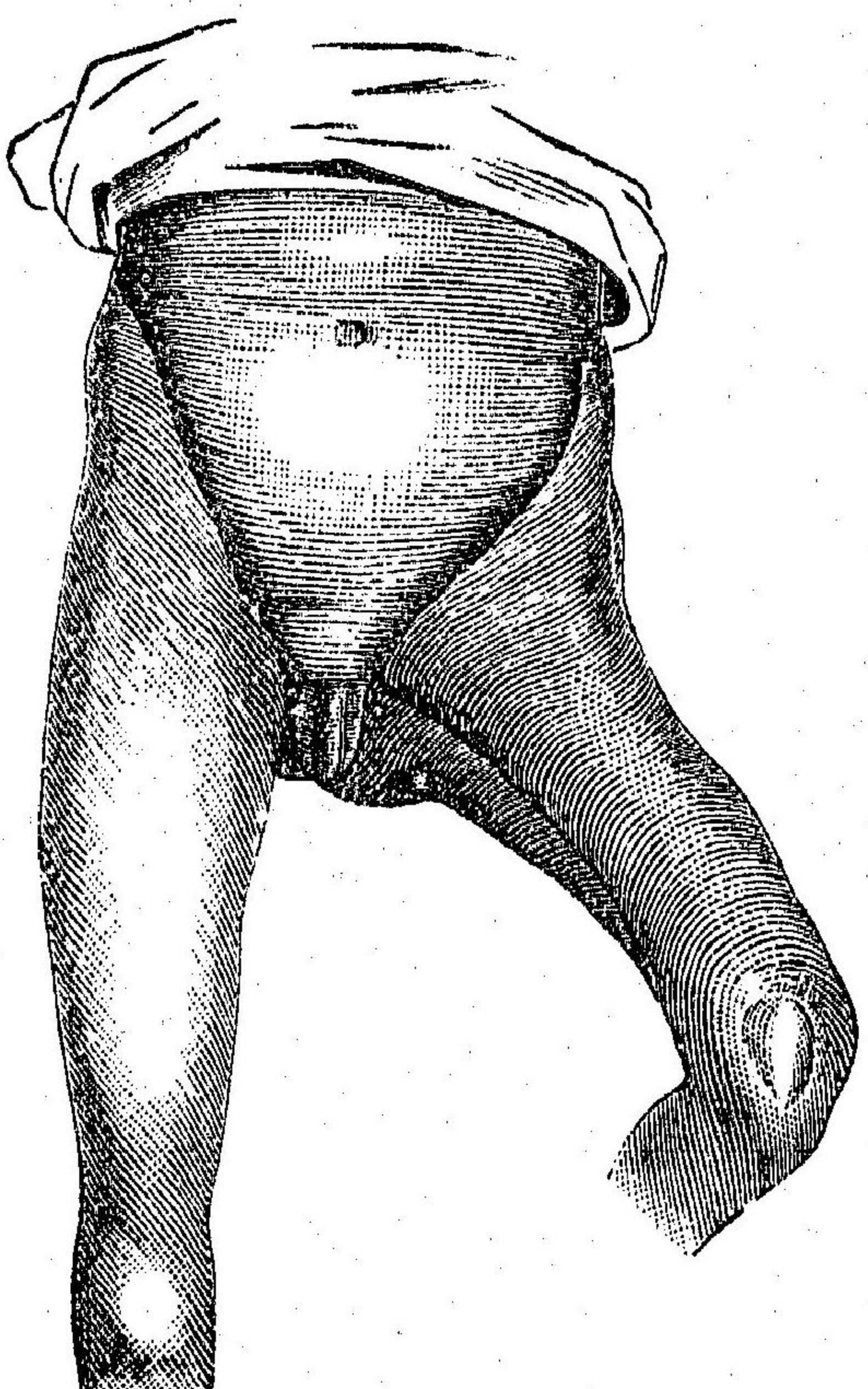
第二十圖



腰椎ノ前  
彎骨盤ノ  
傾斜ヲ禁  
シ以テ固  
有ノ位置  
ヲ明ナラ  
シメタル

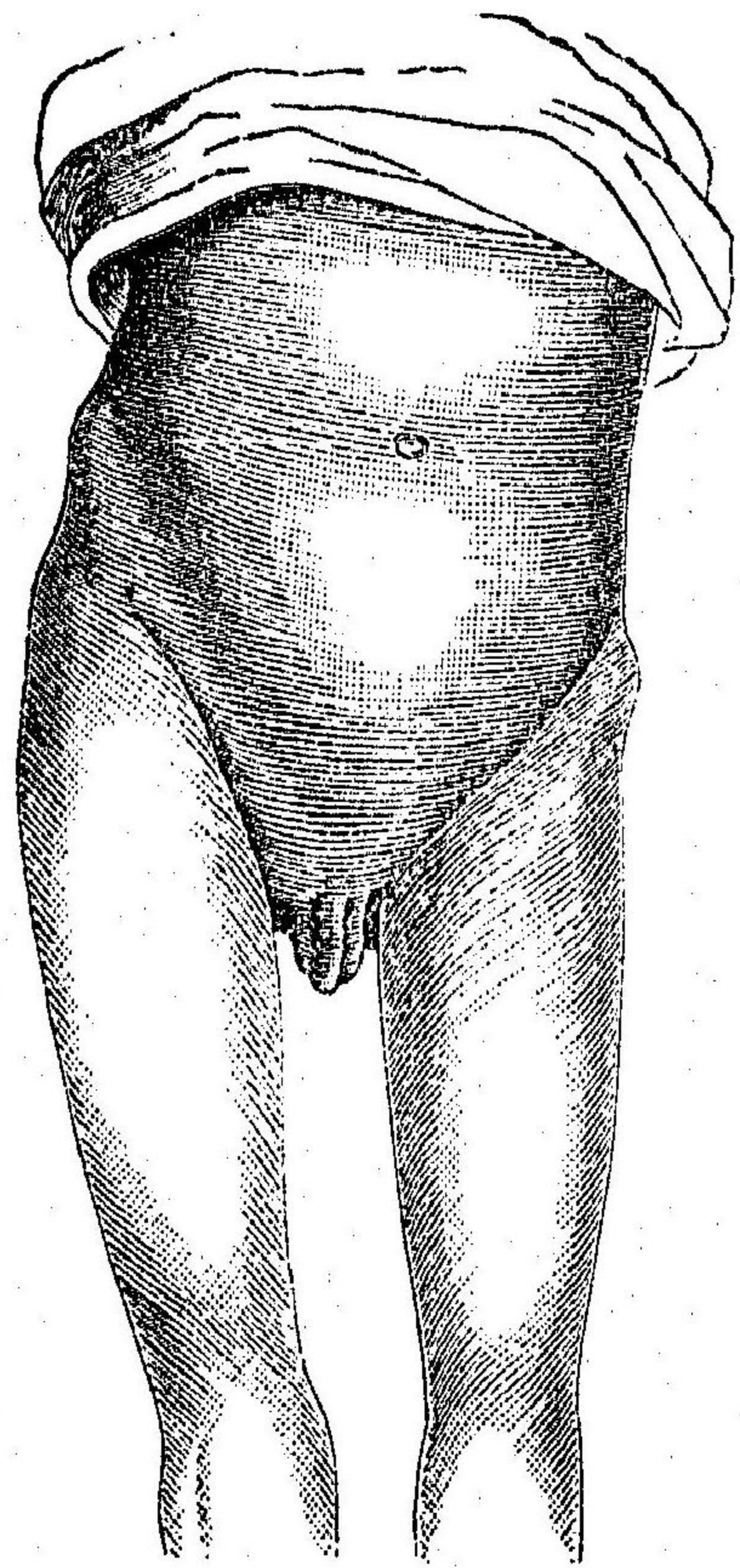
骨盤ノ  
下垂ヲ  
禁シ患  
肢固有  
ノ位置  
ヲ露見  
セシメ  
タル圖

第三十圖



骨盤ノ  
下垂ヲ  
禁シ患  
肢固有  
ノ位置  
ヲ露見  
セシメ  
タル圖

第 十 四 圖



骨盤ノ左  
半部ヲ甚  
タシク下  
垂シテ患  
肢ヲ健肢  
ニ併行セ  
シメタル  
圖

テ

(療法)

概子不良ニシテ二八、三分二%ノ死亡數ヲ算ス尙ホ死亡ヲ免レタルモノモ脚ノ短縮運動ノ制限ヲ殘ス但シ速カニ適當ノ療法ヲ施スモノハ良  
 (療法) 消炎症及ビ滋養攝生ヲ專フトシ固定繃帶ヲ用ヒテ關節ノ不動法ヲ施シ又持續重牽引法ヲ行フ小兒ニハ年齡ニ從テ二乃至五基瓦大人ニハ五乃至六基瓦ヲ用ユヘシ然レモ既ニシテ大腿骨頭脫臼シテ腸骨後面ニ至レル者ニハ麻醉藥ヲ用非テ整復術ヲ施シ且ツ固定法ヲ行フヘシ其他内服ニハ肝油、沃鐵舍等効有リ

「ブルンス」氏「クラウゼ」氏ニ從ヒ麻醉ヲ施シ大腿ヲ屈曲外轉シ大轉子ノ上部ヨリ注射器ヲ股關節ノ内外ニ刺入シ殺菌セル一〇%沃度仿謨油或ハ沃度仿謨僱里設林ヲ四乃至五瓦注入シ後輕ク關節ヲ動シ股關節ヲ摩擦ス此法ハ二乃至四週毎ニ反復ス可キモノニシテ甚タ有効ナリ〇諸法無効ニシテ病性進ムルハ關節ヲ切開シ銳匙ノ搔爬ヲ行フ若シ高熱、膿膿多量、關節荒蕪甚シキ症ニハ關節切除術

- 沃度 〇、〇三乃至〇、〇五 右毎日三回一小兒匙
- 沃剝 一、〇 〇 含糖沃度鐵
- 水 八〇、〇 〇 大黃根末
- 單舍 二〇、〇 白糖
- 二、〇 〇、四
- 二、〇

股關節炎

右十包ニ分チ毎日一回一包宛  
化膿性股關節炎ハ切開シ排膿ヲ務ム可

シ又々關節切除術ヲ要スルコアリ

### ○格魯布性肺炎

*Croupose Pneumonie.*

クルペーゼ  
ブライゼー

又 纖維素性肺炎

*Fibrinöse Pneumonie.*

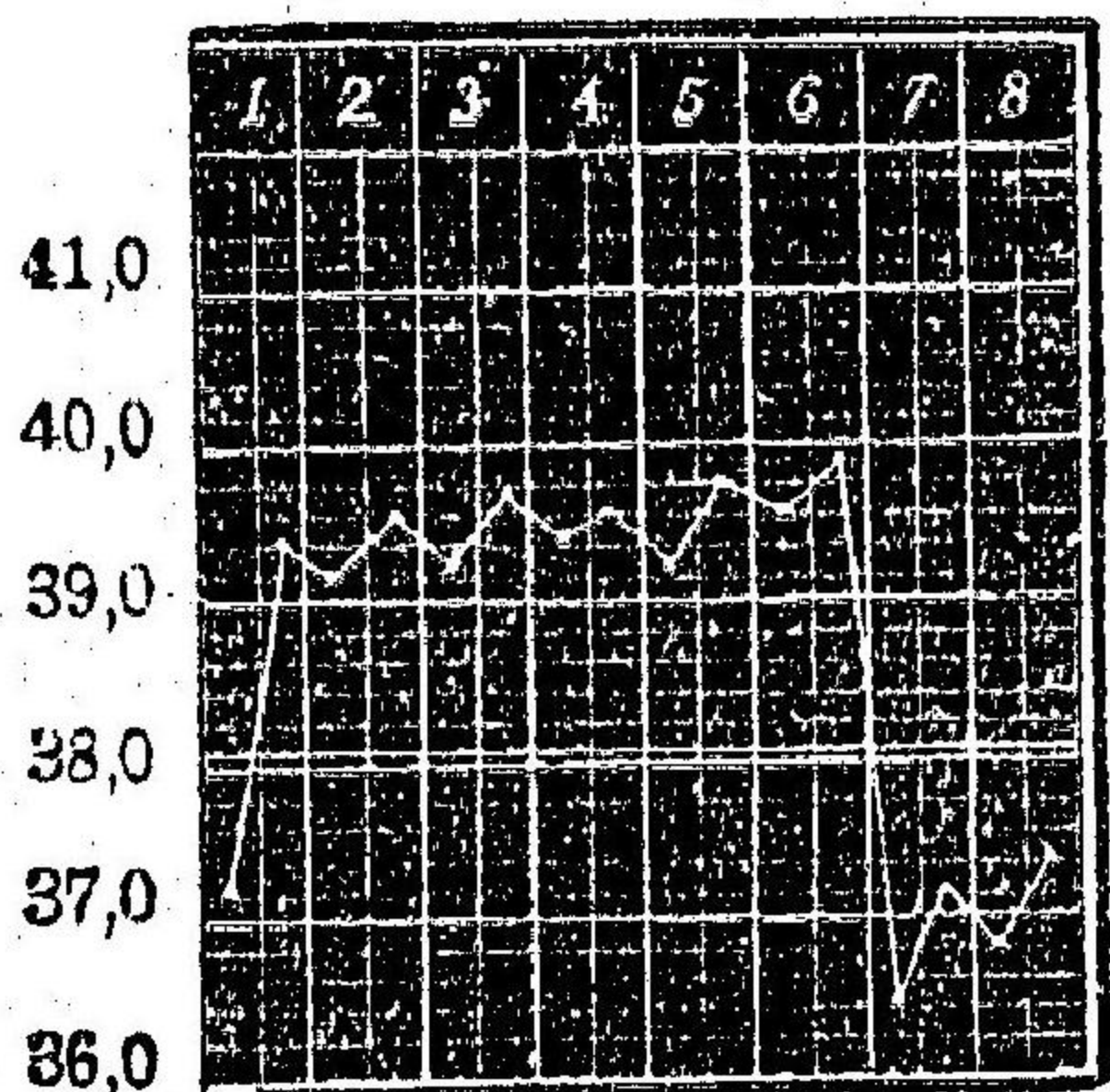
フブリチーゼ  
ブライゼー

(原由)「フレンケル」氏ノ發見ニ係ル肺炎重球菌 (*Diplococcus Pneumoniae*) ト名ク  
ル細菌ニ因スル傳染病ナリ感冒及ヒ外傷ハ本症ノ誘因ヲナス酒客ハ本病ニ  
罹リ易シ(酒客肺炎)○十二月ヨリ五月ニ迷リテ多シ(「ベルツ」氏)

(診候)俄然寒戰(三十分乃至一時間)ヲ以テ初マリ胸部刺痛ヲ發シ強劇ナル乾咳ヲ  
發シ暫時ノ後直チニ粘稠ノ錆色痰ヲ咯出ス顔面潮紅・身體倦怠ヲ覺エ脈疾  
數・頭痛ヲ訴フ體溫忽チ上昇シテ三十九度乃至四十一度ニ達ス而シテ熱ハ  
平均七日間(三日乃至十一日間)稽留シテ分利ニ由テ下降シ三十六度或ハ三  
十五度ニ至リ脈搏四十乃至五十二減ズ又々眞性分利ノ前ニ假性分利ヲナス  
コアリ或ハ三乃至五日間散渙性下降ヲナスモノアリ○屢々發病後第一日或  
ハ第二日ニ口唇圍行疹ヲ發ス

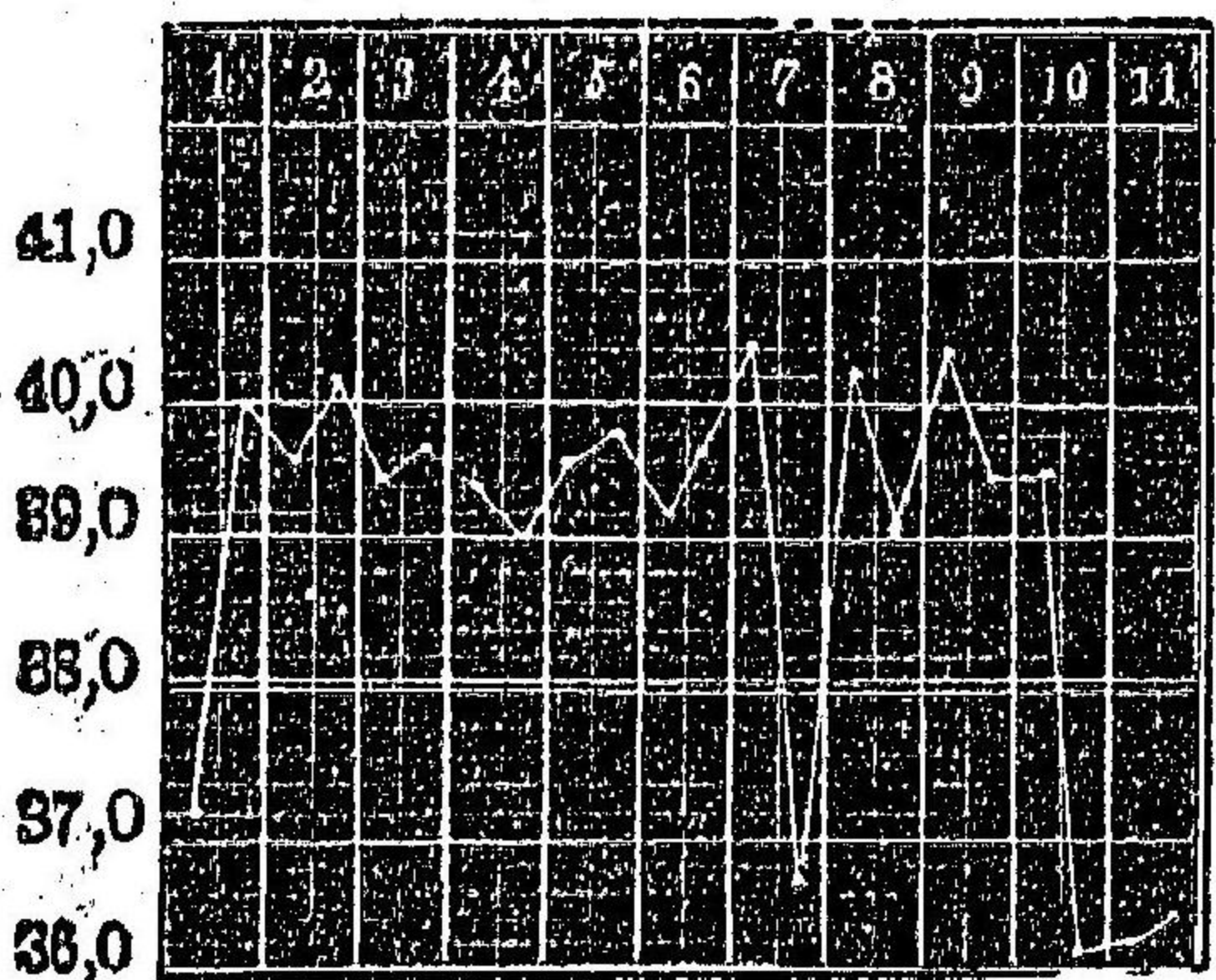
理學的症候、第一期(充血期)ニ於テハ打診上鼓性濁音、聽診上捻髮音及ヒ氣  
管支音ヲ認メ○第二期(變肝期)第二日或ハ第三日ニ於テハ打診上著明ナル

第 十 五 圖



第七日ニ於テ分利シタ  
ル格魯布性肺炎

第 十 六 圖



第七日ニ於テ假性分利ヲ呈  
シタル格魯布性肺炎

濁音、聽診上囉音ヲ聽キ聲音震盪ヲ檢スルニ著シク増加セルヲ認ム○第三  
期(吸收期)ニ於テハ諸症第一期ニ同シ但シ中心肺炎ニハ局處症候ノ不明ナ  
ルコアリ

格魯布性肺炎

(豫後) 概子良○脈搏呼吸ノ性質、及ビ其數、體溫上昇如何ニ依テ其豫後ヲトス可シ  
即チ脈搏百二十以上持續スルハ強劇ノ呼吸困難、高熱及合併症ハ豫後ヲ  
不良ナラシム○酒客老人、虛弱家、心臟病患者、肺氣腫、腎臟病アレバ凶

(療法) 安臥靜息ヲ專ラトシ室内ノ溫度ハ之ヲ同等ニ保持シ絶エズ水蒸氣ヲ揮散セ  
シメ飲食等ノ攝生ヲ嚴守セシム可シ○高熱ニハ頭部及胸部ニ氷罨法ヲ施シ  
内服ニハ實斐答里斯、規尼海、安知必林、撒里矢爾酸等ヲ與ヘ又止渴飲料  
ヲ投シ下劑モ亦之ヲ要スルコト無キニ非ズ○呼吸促進ニハ胸部芥子泥水蛭  
貼用、吸角等○虛脫ニハ赤葡萄酒、「コンニヤック」酒、茶、「シヤンパン」酒等  
○酒客及老人ニハ初期ヨリ酒類ヲ與フ

體溫上昇甚タシク患者苦熱ヲ訴フルト  
キ

○ 鹽規

右一包トナシ與四包一日二乃至  
四包「オプラー」ニ包ミ服用

○ 撒曹

右散五包ニ作り每三時一包「オ  
プラー」ニ包ミテ用フ

○ 撒曹

五、〇

水

單舍

右調和每時一食匙

○ 安知必林

○ 甘汞

右頓用

○ 安知必林

右散五包ニ作り(澱粉紙ヲ以テ  
包ム)體溫三十九度以上ニ達ス

一〇〇、〇

一五、〇

〇、五

〇、六

五、〇

右調和飲料ニ作ル

○ 磷酸

一〇、〇

○ 覆盆子舍

五〇、〇

右調和飲料ニ加ヘテ用フ

酒客ニハ左方

○ 抱水格魯拉爾

○ 橙皮舍

○ 縮水

右頓用(心力衰弱ニハ禁ス)

不眠及精神不穩ナルトキ

○ ズルフホナール

右頓用

○ トリチナール

右爲一包頓用

○ 樟腦

○ 安息香酸

○ 白糖

○ 安知歇貌林

右研和散四包ニ作り用法全上

○ 白糖

○ 硫黃

○ 鹽莫

○ 白糖

○ 亞爾答亞根煎

右十包ニ作り一日三乃至四包

○ 覆盆子舍

○ 大麥煎

○ 杏仁水

○ 單醋密

一、〇

二、〇

〇、〇五

三、〇

二〇〇、〇

二〇〇、〇

二〇〇、〇

二〇〇、〇

五、〇

五、〇

五、〇

二、〇

一五、〇

二五、〇

〇、五乃至一、〇

〇、五乃至一、〇

〇、五乃至一、〇

〇、二

一、〇

二、〇

格魯布性肺炎



○ 卵黃 右研和散五包ニ作り毎三時一包 二個	○ 武蘭堊酒 單舍 三〇、〇	○ 單舍 二〇、〇	○ 單舍 二〇、〇	○ 實莖浸 右一日六回二日分服 脈搏甚ク頻數ナル時ニハ左方 (〇、二五)九〇、〇	○ 覆盆子舍 右調和一日間四回ニ分服セシム 一〇、〇	○ 依的兒 十滴	○ 茴香水 一〇〇、〇	○ 橙皮舍 一〇、〇	○ 樟腦 右調和每半時一茶匙 〇、二	○ 再留酒精 各適宜	○ 亞拉昆亞護謨末 各適宜
○ 攝涅瓦根浸 單舍 一〇〇、〇	○ 單舍 一〇、〇	○ 等分カンフルエーテル 右皮下注射料 一〇、〇	○ 吸收期ニ至レバ左方ヲ處ス可シ	○ 攝涅瓦根浸 單舍 二〇、〇	○ 安母尼亞茴香精 右一日六回二日ニ分服 五、〇	○ 攝涅瓦根浸 單舍 二〇、〇	○ 安母尼亞茴香精 單舍 二〇、〇	○ 亞爾答亞舍 右一日六回二日ニ分服 二〇、〇	○ 礫砂 四、〇—五、〇	○ 甘草煮 一〇、〇	○ 鹽水 一八〇、〇

○ 沃剝 一、五	○ 苦丁 二、〇	○ 鹽水 二〇〇、〇	○ 攝涅瓦浸 右一日三回二日分服 (一〇、〇)一〇〇、〇	○ 安母尼亞茴香精 一、〇	○ 橙皮舍 一〇、〇	○ 單舍 一〇、〇	○ 右調和每二時一小兒匙 五滴	○ 安母尼亞水 一五〇、〇	○ 鹽水 一五、〇	○ 橙皮舍 一五、〇	○ 右調和每時一食匙 五、〇	○ 安母尼亞茴香精 右每半時五滴砂糖ニ加ヘ用フ 〇、〇三	○ 鹽酸亞剝莫兒比涅 〇、〇三	○ 鹽水 一〇〇、〇	○ 單舍 二〇、〇	○ 右調和每時一食匙 二〇、〇
○ ナレガミア丁 二、〇	○ 杏仁水 一五、〇	○ 小兒ノ肺炎ニハ胸部ニ冷罨法ヲ行ヒ 鹽酸里母奈堊ヲ與フ熱甚クシキトキハ 撒曹 一、〇—二、〇	○ 鹽水 九〇、〇	○ 單舍 一〇、〇	○ 右調和每二時一食匙(注意スヘシ) 〇、五—一、〇	○ 安知必林 〇、五—一、〇	○ 橙皮舍 二〇、〇	○ 鹽水 一〇〇、〇	○ 右每二時一茶匙 〇、五—一、〇	○ 咳嗽劇甚ナルトキハ食鹽水ノ吸入及ヒ 左方 攝涅瓦浸(一、五—五、〇)一〇〇、〇	○ 安母尼亞茴香精 一、〇					

格魯布性肺炎

亞爾答亞舍

右一日六回二日ニ分服

二〇、〇

○ 安母尼亞茴香精

忽布滿液

各一〇、〇

脈搏頻數ニシテ心臟ノ力衰ヘタルハ

右每三十分三乃至五滴

○ 實斐浸 (〇、一—〇、五) 一〇〇、〇

○ 十倍羯布羅油

一〇、〇

亞爾答亞舍

右每二時一小兒匙

二〇、〇

○ 右一筒宛皮下注射

○ 精製樟腦

○ 鹽莫

〇、〇五

安息香酸

杏仁水

一〇、〇

各〇、〇一—〇、〇五

右十滴乃至十五滴宛咳嗽發作時

右一包トナシ與六包每二時一包

ニ一盞水ニ和シ頓用

○ 蕁瘡

*Decubitus.* デクビツス

(原因) 麻痺病、熱病、心臟衰憊ニ因リ久シク平臥シ連綿タル外壓ニ起ル皮膚ノ壞疽

(診候) 患部ノ發炎潮紅ニ始マリ次テ藍青色ヲ帯ヒ疼痛、水泡、組織崩壞、惡臭

(療法) 初期ノ潮紅ニハ醋水、酒精或ハ微溫湯ノ洗滌及ヒ膏藥ノ貼用既ニシテ實質

缺損ヲ起シタル者ニハ清潔法、防護繃帶、豫防法ニハ屢々臥位ヲ變換ス

○ 樟腦

〇、三

○ 酸化亞鉛

二、〇

鹽莫

〇、一二

華攝林

二〇、〇

トルーパルサム

〇、六

黃蠟

二、五

右軟膏外用

○ 過滿俺酸加儂謀

一、〇

○ 阿列布油

五〇、〇

水

二〇〇、〇

○ 右調和塗布料

五〇、〇

○ 右調和洗滌料

一、〇

○ 阿列布油

五〇、〇

○ 石炭酸

二〇〇、〇

○ 白堊

適宜

水

二〇〇、〇

右軟泥ニ作り錫箔紙上ニ攤シ貼用(リス、テル「氏巴斯多」)

○ 右調和洗滌料

一、〇

○ 單寧酸

一、〇

壞疽ノ爲メニ周圍及ヒ深部ニ向テ大ナル實質缺損ヲ來セル者ニハ左方ヲ處ス

○ 次醋酸鉛

五、〇

○ 木參兒

五、〇

○ 單軟膏

二〇、〇

○ 硫酸石灰

四〇、〇

右調和軟膏ニ作り貼用

○ 右研和末ト作シ撒布料

五、〇

瘡面清潔トナリシ後ハ普通ノ創傷療法ヲ行フヘシ

○ 石炭酸

五、〇

○ 頭髮脫落

*Defluvium capillorum.*

デフルウイウム、カピロールム

(原因) 頭皮炎或ハ重病、皮脂溢流、梅毒等

(診候) 頭髮ノ脱落消亡

(療法) 原因療法(故ニ皮脂溢流、梅毒ノ治法)梅毒等ニハ局處ニ白降赤軟膏

瘡瘡 頭髮脫落

- 腐蝕安母尼亞水
- 甘扁桃油 各一〇、〇
- 嗎囉仿謨 五〇、〇
- 酒精 右調和每日二回塗擦
- 右頭皮洗滌料 (刷子ヲ用テ毛髮及頭皮ヲ摩擦セル後ニ用ユ)
- 肉荳蔻花油 五〇、〇
- 阿列布油 五〇、〇
- 右調和每日二回塗擦
- 白降汞 二〇、〇
- 華攝林 二〇、〇
- 右調和髮油ニ作り用フ
- 芫菁丁 一〇、〇
- 迷迭香精 一〇〇、〇
- 右塗擦料
- 麗曹兒珍 五〇、〇
- 酒精 一五〇、〇
- 蓖麻子油 四五〇、〇
- 百露拔爾撒謨 〇、五
- 右調和「フラ子ル」片ヲ用テ每日頭皮ニ塗擦ス可シ

○ 酒客譫妄症 *Delirium tremens.*

デリリウム、  
トレメンズ

(原因) 飲酒ノ輕久過度 (酒客重傷ヲ負ヒ或ハ重病ニ罹リ習慣性ノ飲酒ヲ止メタルトキ發スルコト多シ)

(診候) 不眠、神經恍惚、手指開派、顫震及譫語幻視(鼠ノ如キ小動物)等

(療法) 藥石ヲ要セスシテ治スルコト屢々之アレトモ普通ニハ室ノ一部ヲ暗クシテ此處ニ居ラシメ數日間淡泊食餌ヲ給シ多量ノ酒類ヲ與ヘ經過久シキニ亙ル

- モノニハ多量ノ催眠劑ヲ與フ可シ
- 抱水格魯拉爾 二、〇
- 橙皮舍 各一五、〇
- 餛水 右調和頓服
- 臭剝 各一〇、〇
- 臭素安母紐謨 五〇、〇
- 餛水 右調和每時一茶匙
- ブルフオナル 一、〇
- 右一包ニ作り六包ヲ與ヘ(每包「カブラート」ニ含ム)(催眠藥)
- トリオナル 〇、五乃至一、〇
- 右爲一包頓用
- 格魯兒拉爾亞密度 二、〇
- 餛水 一二〇、〇
- 稀鹽酸 四滴
- 覆盆子舍 一五、〇
- 右調和每夕服用
- 抱水亞密爾 七、〇
- 餛水 六〇、〇
- 甘草越 一〇、〇
- 右調和其半量ヲ一夕ニ用フ
- 抱水アミールン 五、〇
- 餛水 六〇、〇
- 甘草越 一〇、〇
- 右每夕半量ヲ用フ
- ヒヨスチン 〇、〇一乃至〇、〇二
- 餛水 一五〇、〇
- 橙皮舍 一五、〇
- 右調和每夕一食匙
- エシヨルツ越 二〇、〇
- 甘草末及甘草羔 適宜
- 右四十粒トシ每日五乃至十五粒
- ヅムナル 一〇、〇

酒客譫妄症

鹽水

四五、〇

吐酒石

〇、一

○ 實菱浸

(二、〇)一八〇、〇

單舍

右調和每二時一食匙

三〇、〇

慢性亞爾簡保爾中毒ノ重症ニ在リテハ之ヲ治シテ全ク亞爾簡保爾ヲ嗜ムノ習慣ヲ脱セシムルニ至ルハ甚稀ナリト雖モ此目的ヲ達センニハ之ヲ養生院ニ監守スルヲ最良ノ法トス○飲食物其他襦袢及鹽水等悉ク燒酎ヲ注キ患者ヲシテ亞爾簡保爾ヲ嫌厭スルノ念ヲ發セシムルノ法ハ時トシテ大効アリ(ベルゼリウス)氏法)○其他慢性胃加答兒ヲ治療シテ全身ノ營養ヲ善クス可シ

○ 硝酸斯篤利幾尼涅

〇、〇六

稀燐酸

一五、〇

鹽水

一五、〇

右每日三回十滴

右每日一回乃至二回注射ス始メ

○ 蕃木鼈越

〇、五

○、五後〇、二五(都合十回乃至

酒精

五、〇

十六回注射ヲ行フ)

稀燐酸

一〇、〇

○ 硝酸斯篤利幾尼涅

〇、〇五乃至〇、一

右每日三回十滴

### ○ 蜜尿病 (糖尿病)

Diabetes Mellitus.

ヂヤベテス  
メリツース

(原因)

遺傳、麥酒過飲、粉食或ハ甘味食物ノ坐食、喫煙或ハ精神勞動ノ過度、梅毒、頭部外傷、腦病、腺臟、ノ疾患等ナリ

(診候)

飢渴共ニ甚ク咽頭乾燥、排尿過多及頻次殊ニ夜間ニ甚ク清澄水ノ如キ尿中多量ノ糖分ヲ含ム(比量ハ一〇二五乃至一〇四五及其以上)等其主ナルモノナリ其他倦怠、頭痛、不眠、皮膚枯燥等癢痒症、癰腫、癱、色慾消失、白內障、網膜炎、神經痛、昏睡(糖尿病性昏睡)ヲ發スコトアリ

(療後)

不食、概子昏睡、肺病、癰疽、心臟衰弱等ニヨリテ死ス經過ハ一年乃至十年以上

(療法)

試ミニ魚、貝、肉、脂肪等ノミヲ食用ニ供シ總テ米、麵包ノ類及ヒ砂糖菓子ヲ禁シ二三日ヲ經テ尿中ニ糖ヲ見ザルハ輕症ナリ、即チ如何ナル程度迄含水炭素ヲ用フルモ尿中ニ糖ヲ檢出セザルカヲ試驗シ以テ日常ノ飲食ヲ規定スベシ、但シ每週一日丈ハ必ス含水炭素質ヲ取ラザルヲ可トス、○重症即チ含水炭素質ヲ與ヘザルコト久シキニ至ルモ尙ホ糖分ノ存スルモノニ在リテモ含水炭素質ハ全ク之レヲ禁セズ其少量ヲ與フ可シ○食物ニハ魚、貝、鳥、卵、肉、綠色ノ野菜、菌類ヲ用ヒ飯、麵包、馬鈴薯、豆類、甘味アル果實ヲ禁ズ○飲料ニハ水、礦泉、茶、咖啡(砂糖ヲ加エザルモノ)弱キ酒類、少量ノ牛乳ヲ用ヒ、麥酒、リキウ酒、チヨコレートヲ禁ズ、○甘味ヲ望ムモノニハ、サツカリンヲ以テ砂糖ニ代フベシ、○其他適宜ノ運動、按摩法ヲ賞用ス、梅毒患

蜜尿病

者及其疑アルモノニハ驅梅法ヲ施スベシ

- 磷酸古堊乙涅 〇、〇二
- 乳糖 〇、〇三
- 右爲一包與六包一日三回一包宛 二日分
- 阿片末 一、〇
- 甘草羔 適宜
- 右爲二十九日二回一丸宛ヨリ 漸々増量シテ一日八回一丸宛ニ 至リ漸次減ジテ一日二回一丸宛 ニ復ス
- 阿片越 〇、〇五
- 荳蔻越 〇、〇三
- 乳糖 〇、〇三
- 右爲一包與六包一日三回一包宛 二日分 〇、〇五乃至〇、一
- 阿片 〇、〇五
- 重曹 〇、〇五
- 右爲一包與六包一日三回二日分
- 「サツカリン」 三、〇
- 乾性炭酸那篤留謨 二、〇
- 「マンニット」 五〇、〇
- 右研和百粒ニ作リ其一粒ヲ飲料 中ニ加ヘテ甘味ヲ添フル爲メニ 用フ
- 撒曹 一、〇
- 右爲一包與六包一日三回二日分 服
- 撒曹 六、〇
- 水 二〇〇、〇
- 右調和一日三回二日分服
- 昏睡ノ虞アルキハ多量ノ亞爾加里ヲ用 フ即チ左ノ如シ(「スターデルマン」氏)
- 枸橼酸 一六、〇
- 炭酸那篤留謨 三六、〇

既ニシテ昏睡ニ陥リタル時ハ食鹽液ヲ 皮下若シクハ靜脈内ニ注入尿ノ反應ヲ シテ亞爾加里性トナスニ至ル可ク同時 ニ蓖麻子油ノ下劑ヲ投ス

- 「サツカリン」 〇、三
- 餾水 三〇〇、〇
- 薄荷精 六滴
- 右一日數回分服
- 醋酸那篤留謨或ハ酒石酸 二〇、〇
- 炭酸水 二〇〇、〇
- 「サツカリン」 〇、三
- 橙皮油 〇、五
- 右調和一日二三回ニ用フ
- 食鹽 一四、〇
- 炭酸那篤留謨 〇、一
- 餾水 二〇〇、〇
- 右半量攝氏卅七度ニ温メ注入

### ○胃擴張 Dilatatio ventriculi.

ガラタチチ、  
ツエントリックリー

〔原因〕暴食或ハ慢性胃加答兒ニ來ル胃壁筋ノ衰弱弛緩及癌腫或ハ癍痕ニ因ル幽門 狹窄等ナリ

〔診候〕胃部ノ壓重擴張食思缺乏或ハ煩渴、空腹時ノ胃痛、嘈雜、吞酸、噯氣、食後一 頓ノ大嘔吐、其他胃部ノ振盪音、羸瘦、便秘等ナリ又頻々飢饑ヲ訴フル者有 リ直立位ニ於テ患者ヲ打診スレバ胃ノ内容物ハ其下部ニ集マリアルヲ以テ 上縁ハ水平線ヲナシ下縁ハ弓狀ヲナス濁音部ト該部ノ上縁ニ接スル廣キ鼓 音部ヲ檢出スベシ而シテ臥位ニ於テハ濁音消失ス其他胃「カテーテル」ノ尖

胃擴張

端ヲ臍下ニ觸知シ又々胃カテーテルニ由テ空氣ヲ胃中ニ吹入スレバ判明ニ胃ノ境界ヲ知ルコトヲ得ルモノナリトス

(發後) 萎縮性及癰疽性ハ良、痛腫性ハ不良

(療法) 其原因ニ注意シ幽門ノ狹窄ニハ手術ヲ行フニ輕度ノ者ニハ滋養攝生法即チ食餌ハ少量ナルモノヲ數回ニ取ラシメ飲料ヲ減シ易消化物ヲ擇ミ香料或ハ多量鹽ヲ含有セル食物ヲ斥ケ食後ニハ身體ヲ安靜ニスヘシ其他止渴ニハ少許ノ氷片或ハ氷牛乳ヲ投ス水治法ヲ行ヒ及ビ加兒爾斯泉鹽ヲ用井テ効アリ高度ノ者ニハ胃唧筒洗滌法ヲ要ス而シテ多量ノ飲料ヲ戒メ唯唧筒ヲ用フルニ先々チテ充分ノ飲料ヲ與フルノミ食後ニハ身體ヲ安靜ニシ常ニ彈力性腹帶ヲ用フヘシ尙ホ電氣療法効アルコトアリ後治法トシテ加兒爾斯泉療法、冷水療法ヲ行ヒ同時ニ按摩法ヲ施ス

○ 蕃木龍越

白糖

右散六包二分チ一日一乃至三包

石炭酸

亞爾答根末

右丸二十五粒ニ製シ一日三回一丸宛

○ 稀鹽酸

覆盆子舎

右每食後一時間ヲ經テ十滴チ一

盡ノ溫湯ニ和シ用フ

○ 撒酸

白糖

右六包二分チ一日三回每食前一

時間ヲ隔テ「オブラート」ニ包ミテ内服スベシ  
本症ニ胃加答兒ヲ合併スルコト多キヲ以テ之ヲ認メタル時ハ慢性胃加答兒ノ處置ヲ應用スベシ

### ○ 赤痢 *Dysenteric.* ヂゼンテリー 痢疾

(原因) 明治三十年醫學士志賀潔氏赤痢菌ヲ發見セリ是レ本病ノ原因ナルベシ

(診候) 全身違和、食思缺損、發熱、下行結腸部或ハ下腹全部ノ痙攣樣疼痛、混血膠ノ如キ少量糞便ノ頻發下痢裏急後重等ナリトス

(發後) 概子良ナルモ其流行時ノ性質ニヨリテ異ナリ我四國及九州地方等ニ於ケル流行ハ死亡比例二十乃至二十五プロセント

(療法) 對症療法其主タル者ニソ安臥靜息ヲ命シ飲食ヲ慎ミ病室内空氣ノ通暢ヲ能クシ患者ノ周圍ヲ務メテ清潔ニシ消毒法ヲ嚴ニシ下劑ヲ投ス(蓖麻子油)十分ナル便通後單寧劑ヲ與フ裏急後重及ビ痙攣樣疼痛ニハ腹部ニ溫罨法ヲ行ヒ粘液性賦形藥ト共ニ阿片ヲ與ユ沙列布或ハ澱粉灌腸ヲ施シ少量ノ「ム」酒ニ濃厚ナル茶ヲ加ヘテ與フルコト有リ凡テ病室ニハ他人ノ出入ヲ禁シテ其傳染ヲ防キ一般ニ可及的下痢ニ注意ス而シテ病期ニ相應シ左方ヲ處ス可シ

○ 甘汞

○ 五

乳糖

○ 三

赤痢

右四包ヲ作り一包服用後蓖麻子油二〇、〇ヲ頓服シ後毎三時一包内服	五〇、〇	蓖麻子油
右與二食匙(三時間ヲ經尙快通ヲ得サルトキハ更ニ一食匙ヲ與ヘシ而シテ第三日、第五日、第七日目ニ反覆斯ノ如クスルヲ要スルナリ)	三〇、〇	硫苦
	二〇、〇	苦丁
	二〇〇、〇	鹽水
右一日三回二日分服	六、〇	大黃根末
	二、〇	吐根末
右混和適宜ノ熱湯ニ浸出シ之ヲ濾過シ全量一二〇、〇ノ液ニ作リ更ニ亞拉昆亞護謨四、〇蜀葵		
	三〇、〇	舍三〇、〇ヲ加ヘ毎一時一食匙
	三〇〇、〇	〇、五%單寧水
	十滴	阿片丁
	七、〇	亞拉昆亞護謨
		右灌腸料トス
	一、〇	タンナルビン
	一、〇	右爲一包與六包一日三回一包宛
	六、〇	撒酸蒼鉛
	三、〇	タンナルビン
		右分六包二日分服
	〇、五	タンニゲン
	一、〇	右爲一包與六包一日三回一包宛
	一、〇	タンナルビン
	〇、〇一	阿片
	一〇、〇	右爲一包與六包一日三回一包宛
	二〇〇、〇	阿片丁
	二〇〇、〇	右每日三回十滴宛水ニテ用フ

右二分シ微温(三十四度)トナシ徐々ニ直腸内ニ注入ス十五分ヲ經テ排出セシム、一日二回(カントニ一氏法)	一〇〇、〇	〇、五%硝酸銀液
右浣腸料		
頑固ノ裏急後重ニハ左方ヲ處ス	〇、二五	荑岩越
柯々阿脂	一五、〇	
右坐藥四個ニ作り肛門ニ挿入	二、〇乃至四、〇	規尼涅
	四〇〇、〇	水
右二回分灌腸料トス一日一回或ハ二回微温トナシ用ユ		
其他ハ腸加答兒ノ條下ヲ參照スベシ		

〇月經困難 *Dysmenorrhoe.* マンメナー

**(原因)** 子宮頸管狹窄(器械的月經困難)子宮前屈、子宮頸腫瘍(充血性月經困難)子宮外膜炎、卵巢炎(卵巢性月經困難)子宮内膜炎(内膜性月經困難)

**(診候)** 骨盤充盈、薦部壓痛、尿意頻數ノ感アリテ發作性ノ疼痛腰及腹部ニ波及シ、嘔氣、嘔吐、偏頭痛等ヲ發スルコトアリ

**(豫後)** 其原因ヲ除キ得可トハ良

**(療法)** 原因ヲ探究シ(器械的原因、即子宮的或ハ卵巢的原因)而シテ大抵下腹部ノ溫暖法ヲ賞用ス安靜ヲ命シ興奮ヲ避ケシメ鎮痙樂或ハ酒精劑ヲ與フヘシ〇月經困難ニハ水蛭ヲ放チ或ハ深亂刺法ニ依テ局處瀉血ヲ行フ内服ニハ左方

ヲ處シテ効アリ

- 安知必林 〇、五  
右爲一包與六包一日三回一包宛
- フェナセチン 〇、五  
右爲一包與四包一日二回一包宛
- ビラミドン 〇、二五  
右爲一包與六包一日三回一包宛
- 鹽莫 〇、〇五  
白糖 三、〇  
右研和散五包ニ作り二乃至三時  
間每一包
- 磷酸古塔乙涅 〇、一  
乳糖 二、〇
- 杏仁水 一〇、〇  
鹽莫 〇、一  
右二時間毎十滴砂糖ニ加ヘ用フ
- 印度大麻越 〇、二
- 白糖 五、〇  
右研和散十包ニ作り每三時一包
- 加密列花浸 一五、〇  
阿片丁 十五滴
- 薄荷舍 一五、〇  
右調和每時一食匙
- ヒドラスチス流動越 二〇、〇  
マラセンス酒 二〇、〇
- 桂皮舍 一〇、〇  
右調和每二時乃至四時一茶匙
- 海狸丁 各五〇、〇  
番木鱈丁 各五〇、〇  
右每日四回二十滴（月經前八日  
ニ用ヒ始メ月經ノ終ル迄持續ス  
可シ）
- 阿片丁 各五〇、〇  
荳蔻丁

二一〇

- 菲沃斯丁 五〇、〇  
繡草丁 右每十五分一食匙
- 蔓陀羅華丁 各二〇、〇  
右每日三四回二十滴（フリツチ  
氏）
- ヲ井アルメムプルニホリウム越 各二〇、〇  
單舍 各二〇、〇  
右二日二乃至四回一茶匙
- 呀囉仿謨 一、五  
樟腦 〇、二五
- 依的兒 各一、五  
蜜拉丁 一、〇  
護謨漿
- 臭剝 各五、〇  
安知必林 六〇、〇  
繹水 一〇、〇  
ウ井アルメム流動越 一〇、〇  
ニンニアック酒 各一五、〇  
橙皮舍 右每日二乃至四食匙
- 麥角越 〇、一乃至〇、二  
白糖 三、〇  
右研和散五包ニ作り一日ニ用フ

### ○消化不良

Dyspepsie.

ヂスぺプシー

〔原因〕神經衰弱症、歇私的里、依卜昆塔兒、貧血、萎黃病、肺勞、武氏病、手淫、過房、授乳經久、酒烟過度、腸蟲、麻拉里亞病等○哺乳兒ハ授乳婦ノ疾病、月經等

〔診候〕精神鬱閉、倦怠、頭痛、胃部痞滿、吞酸噯氣、嘈雜、便秘或ハ下痢、食思欠損、臨

消化不良

二一一



食惡心殊ニ肉食嫌忌等ナリ

(療法)其原因ヲ除去スルニ在リ故ニ其生活法ヲ整理スヘシ殊ニ食血家ニ於テ然リトス○虛弱或ハ人工營養ノ小兒ニハ良性ノ母乳ヲ與ヘ且ツ哺乳時間ヲ制限シテ大約毎二時或ハ三時間一回トナシ決シテ過分ニ飲マシムヘカラス○良性ノ母乳ヲ供給スルコト能ハサル場合ニ於テハ之ヲ補給スルカ爲メ牛乳ト嚙麥粘汁、糖漿汁或ハ膠質液(即チ膠質一〇、〇ヲ半リーテル)ノ水中ニ溶カセル者)及ヒ蛋白水(鶏卵白一箇ヲ半リーテル)ノ沸騰ニ加ヘタルモノ)トノ混合液ヲ與ヘ肛圍ヲ清潔ニシ濕爛或ハ濕疹ヲ生セサル様注意スヘシ

- 重曹 〇、五
- 水 五〇、〇
- 單舍 一〇、〇
- 石灰水 右每三時一小兒匙ヲ食前ニ用フ 各五〇、〇
- 水 各五〇、〇
- 單舍 一〇、〇
- 右一小兒匙毎食前振盪シテ用フ
- 加斯加利刺越 〇、一
- 大黃根末 〇、〇五
- 白糖 右十包ニ作り一日三回每一包
- 刺答尼丁 各二十滴
- 肉苳蔻油糖 各五、〇
- 乳糖 右研和散ニ作り每一刀尖宛
- 百弗聖(含糖百弗聖) 〇、一
- 白糖 右十包ニ作り隔日食前每一包而

後直チニ左方ヲ服用スヘシ

- 稀鹽酸 十滴
- 水 一五〇、〇
- 單舍 一〇、〇
- 右調和毎回一二茶匙
- 胃液ノ酸性ニ過タルトキハ重曹、是ニ反ストキハ鹽酸ヲ處ス
- 鹽酸
- 癩曹兒珍 各二、〇
- 橙皮舍 二〇、〇
- 細水 一八〇、〇
- 右每二時一食匙
- 鹽酸カレキシソ 二、〇
- 龍膽越
- 亞爾答根末 各適宜
- 右爲二十丸膠質ニテ包ミ每日一
- 二回三乃至五丸藥汁ニテ用ユ
- (潰瘍及鹽酸過多ニハ用ユベカ

ラズ)

- 「ボアス」氏ハ過酸症ニ疼痛ヲ兼ヌルトキ左方ヲ賞用ス
- 煨製麻僞涅失亞 一五、〇
- 炭酸蒼鉛 各五、〇
- 炭酸那篤僞謨 〇、一乃至〇、二
- 莢若越 〇、一
- 水製蕃木鼈越 〇、一
- 右一日四回一茶匙毎食後ニ用ユ
- 大人ニシテ脂酸醱酵ヲ起セルモノニハ
- 撒曹 二、〇
- 重曹 一〇、〇
- 右研和食後每一刀尖
- 尙風氣疝痛ノ條下ヲ參照スヘシ

消化不良

### ○呼吸困難

Dyspnoe. ザスマネー

(原因) 頭蓋腔内ノ疾患(出血、腫瘍、炎症)、歇斯的里、酸素缺乏、血液變性(貧血、白血病、萎黃病、熱性病、尿毒症、糖尿病性昏睡)脊椎ノ彎曲症、呼吸筋ノ麻痺或ハ痙攣、咽喉、喉頭、氣管及氣管支ノ疾病、肺ノ疾病、心臟病

(診候) 非常ノ呼吸困難、胸部ノ笛聲雜音等ナリ呼吸數ノ増スチ常トスルモ亦減スルコトアリ

(療法) 原因ヲ搜リテ之ヲ除去スベシ殊ニ肺氣腫ニ於テハ「ケブラッチヨ」ヲ賞用ス

○水製「ケブラッチヨ」越 五、〇 〇 曼陀羅華越 〇、一

水 二五、〇 實雙丁 四、〇

右調和三時一茶匙 右發作時一茶匙 續草水 三〇、〇

「ケブラッチヨ」越 曼陀羅華越 トハ「ケブラッチヨ」ニ溶 〇 管別里亞丁 一五、〇

ヨ「根末一〇、〇」ヲ酒精一〇〇、〇ニ溶 〇 阿片安息香丁 三〇、〇

解濾過シタル後之レヲ蒸發シ二〇、〇 〇 右三十滴砂糖水ニテ用ユ

ノ水ニ溶解シタル者ナリ 〇、五 甘草越 適宜

○ケブラヒー子 〇、五 右丸十粒ニ作り毎日四乃至五粒

### ○小兒急癇

*Eclampsia infantum.*

エクランプシア  
インファンツーム

(原因) 小兒特異ノ反射的疾患ニシテ蛔蟲或ハ胃腸内ノ異物ヨリ來リ又生齒期困難、神經感動等ヨリ起ルチ常トス其他腦病、胃腸加答兒、便秘、下痢急性熱性病、急性發疹ノ前驅期ニ來ルモノナリ二年以下ノ小兒ニ多ク五年以上ニハ稀ナリ

(診候) 不眠、咬牙、號叫、強直、痙攣、顔面蒼白、直視、噴泡、厥冷、仰倒、人事不省

(療法) 原因ノ異ナルニ從ヒ一定ナラズ

(療法) 腦病、胃及腸加答兒、便秘、下痢、急性發疹病ノ前驅期等凡テ原病ニ注意シ發作時ニハ灌腸ヲ施シ腦ノ充血及貧血ニ注意シ發作間歇時ニハ安靜ヲ主トシ藥石ニハ左ニ掲クル者ノ他尙ホ織劑及規尼涅等ヲ處シテ効アリ

○磷酸 二、〇 〇 抱水格魯拉爾 〇、五乃至一、〇

覆盆子舎 一〇〇、〇 〇 貌羅謨安母紐謨 一、〇

水 一〇〇、〇 單舎 一〇〇、〇

○抱水格魯拉爾 〇、二五 〇 右調和每半時一小兒匙 二〇、〇

水 五〇、〇 〇 ウレタン 〇、一〇、三

右調和灌腸料 〇 右一包トシ五包ヲ與フ一二食匙

呼吸困難 小兒急癇

二一五

- ノ砂糖水ニ溶解シテ用ユ
- 大便不利ナルモノニハ左方ヲ處スヘシ
- 甘永 〇、五
- 白糖 五、〇
- 右研利散十包ニ作り毎時一包
- 發作ノ頻數ナルモノニハ左方
- 貌羅謨加留謨 二、〇
- 水 一〇〇、〇
- 覆盆子舎 二〇、〇
- 右調和毎時一小兒匙
- 貌羅謨加留謨 二、〇
- 貌羅謨安母紐謨 一、〇
- 水 一〇〇、〇
- 單舎 三〇、〇
- 右一日三四回一小兒匙乃至食匙
- 沃剝 一、〇
- 水 八〇、〇
- 覆盆子舎 二〇、〇
- 右調和每一時一小兒匙
- 嘔囉仿謨 一〇、〇
- 右吸入料
- 硫酸亞篤羅必涅 〇、〇一
- 稀硫酸 〇、〇五
- 餛水 一〇、〇
- 右每日一乃至三回十滴
- 麝香 〇、三
- 護謨漿 六〇、〇
- 右每十五分乃至三十分一小兒匙
- 又鹽酸必魯加兒必涅耶僕蘭日浸チ用ユ

### ○ 妊婦及產婦急癩

*parturientium.*

*Eklampsia gravidarum et parturientium.*  
エクランプシア、シラリ非ダールト、エム  
パルツリエンチエム

(原因) 妊娠末期若クハ分娩中ニ起ル反射的作用ナリ

(診候) 頭痛、眩暈、耳鳴、眼火閃發、瞳孔散大、呼吸困難若クハ中絶、心窩痞硬、嘔吐、顔面潮紅、直視、搐搦、痙攣、噴泡、人事不省等ナリ發作ノ持續ハ十秒乃至六十秒或ハ其以上ナリ數分或ハ數時ヲ隔テ發作反復シ遂ニ死亡スルコトアリ發作回数ハ廿回乃至卅回重キハ其以上ヲ常トス

(譯候) 母體ニ於テハ廿乃至三十%ノ死亡、胎兒ニ於テ五十%ノ死亡ヲ算ス

(療法) 頭部ノ氷罨法、冷水或ハ醋水洗滌、被包法(武雷篤氏病ニ於ケル如ク)發汗法(熱浴ハ攝氏三十八度乃至四十度ヨリ始メ漸々四十二度乃至四十五度ニ高メ斯ノ如クニシテ浴中ニ在ルコト半時間而後毛布ヲ用テ全身ヲ被包シ二三時間褥中ニ温臥ス可シ)下劑、冷水灌腸等一般ノ處方ナリ○發作前其前驅期ニ於テ麻酔藥ヲ用フルノ猶豫アルトキハ嘔囉仿謨ヲ吸入セシメテ多クハ其効ヲ奏スルモノトス其他麻酔藥ニハ莫比ノ皮下注射、阿片ノ灌腸、抱水格魯拉爾ノ内服或ハ灌腸等又用井テ効アルヘシ○重症ニハ刺絡ノ力能ク起死ノ効ヲ奏スルコトアリ○當時既ニシテ分娩ノ傾向ヲ呈スルモノニハ分娩ヲ催進スルコトヲ務メ其他舌ヲ傷ケザル様注意スヘシ

- 「セグチツト」鹽 二〇、〇
- 水 一五〇、〇
- 滿那舎 二〇、〇
- 右調和每半時一食匙(下劑)
- 嘔囉仿謨 五〇、〇
- 右吸入料(醫親ヲ使用スヘシ)

小兒急癩 妊婦及產婦急癩

- 抱水格魯拉爾 二、〇
- 護謨合劑 一〇〇、〇
- 右灌腸料（患者不安ナルトキハ之レヲ反覆ス）
- 阿片丁 一〇、〇
- 右二十滴ヲ一回ノ灌腸料ニ加ヘ每一時用フベシ
- 亞硝酸亞密爾 五、〇
- 茴香油 一〇、〇
- 右二乃至五滴布片ニ滴シ嗅入
- 鹽莫 〇、一
- 杏仁水 一〇、〇
- 右調和十五分時十五滴
- 阿片 〇、二
- 白糖 五、〇
- 右研和散十包ニ作り每半時一包

○濕疹 Eczema エクゼマ

〔原因〕化學的、溫熱的、器械的刺戟、寄生菌、不潔、血行障礙、腺病性惡液、貧血、萎黃病、糖尿病、等ニシテ頭皮、顔面、股間、臀部、乳房、陰部ニ來ルコト多シ

〔診候〕急性慢性ノ別アレトモ皮膚ノ癢痒灼熱腫起ニ始マリ次テ發生シタル帽針頭大ノ赤疹水泡ニ變シタル末或ハ破潰シ或ハ軟痂ヲ結ビ後鱗屑ヲ生シ終ニ治ス

〔療法〕濕疹ヲ療スルニ當リテハ注意シテ局所療法ヲ行ヒ又タ兼テ全身ノ狀態ヲ診シ營養ノ障害、神經性症狀等アルトキハ又兼テ之ヲ治療センコトヲ要ス、

而シテ其局所療法ハ其部分ノ如何患部ノ大小炎症ノ狀態等ニ從ヒ各異ナリ今其療法ノ大要ヲ舉ゲ○酒精劑ハ表皮ノ剝離アル部ニハ用エベカラス是レ疼痛ヲ發スレバナリ○紅斑丘疹期ニ至リテハ撒布劑、酒精劑、塗布劑、罨法及冷却軟膏ヲ用ヒ濕潤期ニ在リテハ撒布劑、罨法、パスタ及軟膏繃帶ヲ用ヒ結痂期ニ在リテハ先ツ油劑ヲ以テ痂皮ヲ除キテ後藥劑ヲ用フベシ、鱗屑期ニ在リテハ麥兒劑ヲ用フベシ

- 亞鉛華 各〇、五
- 澱粉 右撒布料
- 酸化亞鉛 二、〇
- 炭酸苦土 三、〇
- 白陶土 三、〇
- 赤陶土 二、〇
- 米澱粉 一〇、〇
- 右撒布料
- 亞鉛華 各五、〇
- 泥葛根末 各五、〇
- 滑石 二〇、〇
- 澱粉 一〇〇、〇
- 次硝蒼 右撒布料
- 滑石 一〇〇、〇
- 右撒布料
- テルマトール 一〇〇、〇
- 滑石 一〇〇、〇
- 右外用
- チモール 〇、二五
- 酒精 一〇〇、〇
- 右塗布料（癢痒甚ダシキトキニ

石炭酸液 用フ)	二、〇〇、〇〇	右振盪シテ後塗布スベシ	ツメノール	一〇、〇〇
酒精	一〇〇、〇〇	依的兒	依的兒	各三〇、〇〇
薄荷腦	二、〇〇	右塗布料	右塗布料	各三〇、〇〇
酒精	一〇〇、〇〇	水	水	六、〇〇
右塗布料 (癢痒甚ダシキモノニ用フ、但シ顔面及陰囊ニハ用フベカラズ)	一〇〇、〇〇	鉛水	右罨法料	二〇〇、〇〇
撒里矢爾酸	二、〇〇	右罨法料	右罨法料	四〇〇、〇〇
酒精	一〇〇、〇〇	ブロー氏液	右罨法料	四〇〇、〇〇
右塗布料 (癢痒甚ダシキモノニ用フ)	一〇〇、〇〇	麗曹兒珍	麗曹兒珍	二〇〇、〇〇
亞鉛華	滑石	右罨法料	右罨法料	二〇〇、〇〇
僱里設林	各二五、〇〇	石炭酸	石炭酸	一、〇〇
水		五倍子精	五倍子精	一五〇、〇〇

刺蝟瑾爾精	各二五、〇〇	右爲軟膏、カボツシ」氏單鉛華攝林軟膏)	單鉛硬膏	三〇、〇〇
「ケルン」香水	右調和塗布料	アラプリン	アラプリン	七〇、〇〇
石炭酸	僱里設林	右爲軟膏外用	酸化亞鉛	各五、〇〇
酒精	各一、〇〇	次硝蒼	緩和軟膏	各四五、〇〇
酸化亞鉛	右塗布料	單鉛膏	單鉛膏	各四五、〇〇
澱粉	各二五、〇〇	右爲軟膏外用	右爲軟膏外用	一、〇〇
華攝林	五〇、〇〇	礬酸	礬酸	三〇、〇〇
撒里矢爾酸	一、〇〇	黃色華攝林 (若シクハ刺納林)	黃色華攝林 (若シクハ刺納林)	三〇、〇〇
右爲巴斯多 (「ラッサル」氏巴斯多)	多)	右爲軟膏外用 (次硝蒼軟膏)	次硝蒼膏鉛	三、〇〇
單鉛硬膏	各一〇〇、〇〇	黃色華攝林 (若シクハ刺納林)	右爲軟膏外用 (次硝蒼軟膏)	三〇、〇〇
亞麻仁油	各一〇〇、〇〇	華攝林	華攝林	各一〇〇、〇〇
單鉛硬膏	各一〇〇、〇〇	濕疹		

○ デルマトール	各二四、〇	○ 偏里設林	各一〇、〇
○ 亞鉛華	二〇、〇	○ テキストリン	
○ 黃色華攝林	各五、〇	○ 水	各一〇、〇
○ 右爲巴斯多外用		○ 右熱シテ軟膏ニ作ル	
○ デルマトール		○ 酸化亞鉛	一〇、〇
○ 亞鉛華		○ 白膠	
○ ゲラチン		○ 偏里設林	各三〇、〇
○ 偏里設林	各三〇、〇	○ 水	各三〇、〇
○ 水		○ 右爲膠劑外用(ウンナ氏亞鉛膠)	三、五
○ 右爲膠劑外用(ローゼンター)	五〇、〇	○ 醋酸鉛	一〇、〇
○ 酸化亞鉛		○ 粗製明礬	一〇、〇
○ 撒里矢爾酸		○ 右調和濾過ノ水一〇〇〇、〇ヲ	
○ 米澱粉	各一五、〇	○ 加ヘ罷法料ト(「スプロー」氏液)	
○ 偏里設林	七五、〇	○ 亞鉛華	各二、〇
○ 水		○ 明礬末	三〇、〇
○ 右調和煮沸シテ糊劑トナシ貼用	一、〇—三、〇	○ 澱粉	一五、〇
○ イヒチチール		○ 米澱粉	

○ 泥苔根末	一、〇	○ 木蓼兒	右外用
○ 右撒布料	一〇、〇	○ 肝油(若クハ阿列布油)	各二〇、〇
○ 偏里設林	四〇、〇	○ 右外用	
○ 右調和煮沸シテ「クレーム」トナ		○ 木蓼兒	三、〇
○ シ外用(偏里設林「クレーム」)		○ トラマウチチン	三〇、〇
○ 白降汞	〇、五	○ 右外用	
○ 刺納林	二〇、〇	○ 木蓼兒	各二五、〇
○ 右爲軟膏外用		○ 酒精	
○ 酸化亞鉛	二、〇	○ 依的兒	
○ 豚脂	一八、〇	○ 迷迭香油	
○ 右爲軟膏外用		○ 丁香油	
○ 酸化亞鉛	五、〇	○ ベルガモット油	各一、〇
○ 安息香末	一、〇	○ 右調和外用(歐貌拉氏蓼兒丁幾)	
○ 豚脂	三〇、〇	○ 木蓼兒	三、〇
○ 右調和軟膏(「ウヰルソン」氏軟膏)		○ ビック氏擦劑	三〇、〇
○ 木蓼兒	各一五、〇	○ 右調和擦劑外用	〇、三乃至三、〇
○ 酒精			

○ 亞鉛華巴斯多	三〇、〇	○ 赤降汞	〇、一五
右調和爲軟膏外用		○ 緩和軟膏	一〇、〇
(二)慢性濕疹ノ處法		右爲軟膏外用	
○ 撒里矢爾酸	一〇、〇—二〇、〇	○ 硫酸亞鉛	〇、一五
石鹼硬膏	一〇〇、〇	○ 偏里設林	
右調和爲硬膏外用(「ピツク」氏)		水	各一〇、〇
○ 撒酸石鹼硬膏		右栓塞ニ浸シ患部貼用	
○ 綠石鹼	一〇〇、〇	○ 亞鉛華	〇、一五
酒精	二〇〇、〇	水製阿片越幾斯	〇、〇二
○ 刺賢埜爾油		(或ハ別刺敦那越幾斯〇、〇二若	
「ベルガモット」油	各三、〇	クハ古加乙涅〇、〇一五)	
右混和濾過シ洗滌料(歐鏡拉氏)		○ 柯々阿酪	一、五
○ 加里石鹼精		右爲坐藥	
○ 朱	一、〇	○ 寄生濕疹ノ處方	
○ 昇華硫黃	二四、〇	○ 昇汞	〇、二
「ベルガモット」油	二十五滴	「ケルン」香水	五〇、〇
○ 黃色華攝林	七五、〇	酒精	一五〇、〇
右爲軟膏一日二回塗布料		右混和塗布料	

○ 麗曹兒珍	五、〇	○ 撒里矢爾酸	三、〇
薄荷腦	二、〇	○ 木參兒酒	
「ベルガモット」油	二、五	酒精	
酒精	二〇〇、〇	依的兒	各五〇、〇
右混和塗布料		右調和一日數回塗布料	
○ 撒里矢爾酸	三、〇	○ 麗曹兒珍	
精製硫黃	五、〇	○ 撒里矢爾酸	各二、〇
○ 加里石鹼	六、〇	酒精	五〇、〇
右爲石鹼劑洗滌用		右塗布料	

○ 頑癬 *Eczema marginatum.* エクツマ、マルギナツム

(原因)「トリヒョロートン、トンスラシス」ト名クル寄生菌ノ傳染ニ因ル陰囊、股間、生殖器、臀部等ニ來ルコト多シ

(診候)褐赤色ノ結節若クハ水泡ニシテ輪形ヲナシ中央ハ漸々剝屑スルニ從ヒ次第ニ周圍ニ蔓延シ癢痒甚ダシク極メテ頑固ナリ

(豫後)良

(療法)癢痒ニハ綠石鹼或ハ加里石鹼精或ハ流動偏里設林石鹼ヲ以テ洗滌スルカ或ハ左ニ掲クル藥劑中何レカ其一ヲ用フヘシ

濕疹 頑癬

○ 苛性加里	一、〇	○ 右調和軟膏ニ作ル	二、〇
○ 水	二〇〇、〇	○ 沒食子酸	二、〇
○ 石炭酸	五、〇	○ 偏里設林	五、〇
○ 阿列布油	一〇〇、〇	○ 酒精	一〇〇、〇
○ 右調和塗擦料	一〇〇、〇	○ 右調和塗布料	一〇〇、〇
○ 石炭酸	五、〇	○ 「ヒドロキサキニユルアミン」、	〇、三
○ 濃厚酒精	一〇〇、〇	○ 「ヒドロクロラル」	〇、三
○ 右調和塗擦料	一〇〇、〇	○ 亞爾箇保爾	一〇〇、〇
○ 苦利沙羅並	五、〇	○ 右調和炭酸石灰適宜ヲ加ヘテ中	性トナシ塗布料
○ 刺納林	三〇、〇	○ 硫黃乳	五、〇
○ 華攝林	二〇、〇	○ 「ナフトール」	一、〇
○ 右調和軟膏ニ作ル	三〇、〇	○ 加里石鹼精	二〇、〇
○ 嘔囉仿謨偏答百兒加溶液	三〇、〇	○ 亞爾箇保爾	一〇〇、〇
○ 苦利沙羅並	三、〇	○ 偏里設林	二、五
○ 右調和塗擦料	三、〇	○ 右調和塗擦料	
○ 沒食子酸	三、〇	○ 昇汞	一、〇
○ 單軟膏	一〇、〇	○ 再留酒精	二〇〇、〇

右調和塗擦料(注意スヘシ)

○ 撒酸	一、〇	○ 山毛榉油	各二〇、〇
○ 酒精	三〇、〇	○ 白聖	各二〇、〇
○ 右塗布料	一、〇	○ 綠石鹼	各四〇、〇
○ 「ナフトール」	一〇〇、〇	○ 豚脂	各四〇、〇
○ 偏里設林	一〇〇、〇		
○ 右調和塗擦料	五、〇		
○ 昇華硫黃			

○ 肺氣腫 *Emphysema pulmonum.* エンフイゼーイム  
 プルモイヌム

○ 原因 慢性氣管支加答兒、麻疹、百日咳、經久咳嗽、肺ノ使用過度ニ係ル氣胞ノ病的膨脹ニシテ四十年以上ノ人ニ多シ

○ 診候 呼吸困難、心濁音部ノ清音、肺前縁呼吸音ノ減小若シクハ消滅、慢性氣管支加答兒ノ症候及ヒ胸廓ノ西洋樽形ノ擴張

○ 療法 合併症ナキハ豫後良但シ全治スルコト難シ

○ 療法 氣管支加答兒療法ヲ主トシ有害ノ物體ハ盡ク之ヲ避ケ飲食ノ攝生ヲ專ニスヘシ

○ 喘息發作中ハ胸部ノ摩擦法或ハ氣管誘導法ヲ行フ

○ 空氣療法器ヲ用



テ濃厚ナル空氣ノ吸入及ヒ空氣中ニ其排出ヲ爲サシムルノ法有リ○夏季ニハ杉松等ノ樹林中ニ住居セシメテ可ナリ

- 吐根浸 (〇、五)一八〇、〇
- 杏仁水 八、〇
- 單舍 二〇、〇
- 右一日六回二日分服
- ケアラツチヨ丁 三〇、〇
- 右毎日二乃至三回一茶匙
- 葦若越 〇、一
- 吐根末 〇、三
- 白糖 五、〇
- 右十五包ニ作り一日三回每一包
- 非沃斯越 各〇、二
- 金硫黃 各〇、二
- 重曹 三、〇
- 右十二包ニ作り一日三回每一包
- 鹽酸亞剎莫兒比涅 〇、〇五
- 甘草末及越 適宜
- 右丸五十粒ニ作り一乃至三粒
- 氣管支加答兒ノ刺甚ナラサルトキハ
- 礮砂 二、〇
- 甘草越及末 適宜
- 右五十粒ニ作り朝夕每五粒
- 硝酸斯篤利幾尼涅 〇、〇一
- 單舍 一〇〇、〇
- 右調和一日二乃至四回每一食匙
- 法水 〇、五
- 水 二五〇、〇
- 右調和吸入料
- 海葱醋 五〇、〇
- 炭酸加留謨 適宜
- 洋芹子水 一〇〇、〇
- 薄荷舍 二〇、〇
- 右調和每二時一食匙

便秘ヲ兼ヌル症ニハ旃那、苦水、大黃ヲ與フ

下肢ニ水腫ヲ來タセルトキハ左ノ必魯加兒必涅皮下注射等賞用スル所ナリ然レトモ心臟衰弱ノ兆アルトキハ最モ使用ニ注意スベシ

- 必魯加兒必涅 〇、二
- 水 一〇、〇
- 右調和其半筒皮下注射
- 耶僕爾日葉浸 (五、〇)一〇〇、〇
- 右一回ニ服用

水腫ヲ排斥スル細小套管針ノ用法ニ就テハ復水ノ條下ヲ看ヨ○衰弱シタルモノニハ左ノ緩性鐵劑ヲ與ヘテ効アリ

- 水素還元鐵 各二、〇
- 硫規 適宜
- 蒲公英越 粒
- 右四十粒ニ作り晝夕食後每一二粒
- 又橫膈膜神經ニ感傳電氣ヲ通スルコトアリ其他尙ホ呼吸困難ノ條下參酌

### ○心臟內膜炎

Endocarditis. エントカルヂチス

(原因)潰瘍性心内膜炎及疣贅性心内膜炎ノ二種ハ外傷性傳染(産褥熱、化膿セル創傷等)急性傳染病(急性關節癱瘓質斯、猩紅熱稀ニハ淋疾等)ヨリ發ス牽縮性心内膜炎ハ又々慢性内膜炎ト稱ス疣贅性ノモノニ續發シ或ハ飲酒過度、梅毒、慢性腎臟病、痛風、糖尿病等ニ併發ス

(診候)潰瘍性心内膜炎ハ或ハ窒扶斯狀ニシテ稽留性熱、無慾狀態、舌乾燥被苔、脾

心臟内膜炎

腫毒癰疹ヲ發シ或ハ間歇熱ノ發作ノ如キ狀ヲナシ又タ諸臟器ニ轉移性膿瘍ヲ發ス其他皮膚、粘膜ニ栓塞ヲ來タシ溢血ヲ呈ス瓣膜ノ障害アレバ雜音ヲ聽取ス○疣贅性ノモノハ其初メ其發生ヲ知ラザルコト尠ラズ體温ハ間々上昇シ心悸亢進、心尖ニ於ケル收縮期吹聲音ニ心濁部擴張、第二肺動脈音ノ強盛、諸臟器ノ栓塞等

〔譯後〕疑、潰瘍性ハ不良、疣贅性ハ不良ナルコトアリ

〔療法〕對症的ノ者ニ外ナラス即チ解熱藥ノ内服、心部ノ氷罨法又脈搏頻數ナル者ニ實莖答里斯、硝酸加爾謨、心臟麻痺ノ虞アルトキニ與舊藥、肺水腫ノ虞アルトキハ刺絡ヲ施ス等此類ナリ且ツ可及的原病療法ニ注意シテ即チ心内膜面ノ纖維性滲出物ヲ溶解スルカ爲メ百倍或ハ五十倍ノ重碳酸那篤留謨水吸入法等ヲ行フカ如キコトヲ怠ル可ラス其他「バンベルゲル」氏ハ血液ノ亞爾加里性ナルト纖維素ニ有効ナルトヲ以テ近來頻リニ左方ヲ賞用ス

- 炭酸那篤留謨 一、五 單舍 右每二時一食匙 一五、〇
- 水 一〇〇、〇
- 右吸入料一日三四回每回十五分
- 實莖末 白糖 一、〇
- 時間 二、〇
- 實莖浸 (一、〇)一五〇、〇 右散六包二分チ毎日三包 二、〇
- 醋剝 二、〇
- 「ストロファンツ」丁 二〇、〇

右毎日三回十乃至二十滴

- 卵黃 二個 單舍 右一日六回二分服 二〇、〇
- 武蘭堊酒 三〇、〇
- 單舍 二〇、〇
- 鹽規 五、〇
- 縮水 一二〇、〇 昇汞 〇、二
- 右一日六回二分服 蜀葵根末 適宜
- 規那煎 (一〇、〇)一八〇、〇 右爲二十九一日三回食後一粒宛
- 武蘭堊酒 四〇、〇

### ○子宮内膜炎 Endometritis. エンドメトリチス

〔原因〕淋毒、手淫、寒胃、月經時及ビ產褥時不攝生、消息子誤用等ナリ

〔診候〕急性症ハ惡寒、發熱ヲ以テ初マリ骨盤内壓重ノ感アリ稀薄漿液性、後ニハ膿性ノ液ヲ漏泄ス、消息子ヲ挿入スレバ劇甚ノ疼痛ヲ發ス、慢性症ノ主徴ハ月經時血量增加月經時外出血及分泌ノ變化(硝子纖維粘液或ハ膿汁ヲ有スル硝子樣粘液或ハ膿汁)下腹部ノ疼痛ナリ消息子ヲ通スルニ疼痛ヲ發ス其他頭痛、食意減損、消化不良、神經性胃痛ヲ兼メルコトアリ精神鬱憂歇斯帝里ヲ併發スルコトアリ

〔譯後〕合併症ナキ時ハ良

### 子宮内膜炎

(療法) 急性非産褥性ノ者ニハ交接ヲ禁シ、安臥、緩下劑、溫坐浴、腹部ノ「プリス  
ニツ」氏器法、微溫消毒液ヲ以テ腔灌注法ヲ行ヒ腔坐藥ヲ與フ  
○、一 鹽莫(莢若越) 三〇、〇

柯々阿脂 右膠球十個ニ作り二十四時内ニ  
二乃至四個ヲ用フ  
慢性内膜炎ニ在テハ石炭酸水リゾール  
水昇永水(五千倍)等ヲ以テ子宮ヲ洗滌  
シ單寧酸硼酸石炭酸甘永沃丁過格魯兒  
鐵液等ヲ子宮消息子及ヒ腔タンボンニ  
由テ塗布ス

頑固ナル症ニ在テハ子宮内腺ヲ搔爬シ  
沃度仿謨綿紗或ハ十%ノ依的兒アリス  
トール綿紗ヲ以テ子宮腔ヲ閉塞ス但シ  
子宮周圍ノ膿籠、子宮外膜或ハ子宮周  
圍炎性滲出物等有ルモノニハ搔爬術ヲ  
禁ス又八日ヲ歷テ六乃至十二回反復ス  
ルトコロノ格魯兒亞鉛(ウヰンケル氏

○ 鹽酸ヒドラスチニン 一、〇  
右半筒乃至一筒皮下注射(内膜  
炎性子宮出血)  
○ 甘草末及甘草煮 〇、五  
右十九丸ニ作り毎日一或ハ二粒  
(出血アルノ際二粒宛出血ヲ豫  
期スル場合ニハ一粒宛)

○ 格魯兒亞鉛 各二〇、〇  
鹽水

右調和「プーレフェール」氏消息 子塗布用)

○遺尿

Enuresis. nocturna. エヌレシス・ノクツルナ

(原因) 全身虛弱、營養不給、膀胱ノ弛緩或ハ一時ニ起ル膀胱括約筋ノ麻痺或ハ利尿  
筋ノ痙攣ナリトス○腸虫、包莖ヲ患フル者ハ罹リ易キカ如シ

(診候) 夜間睡眠中褥内放尿

(豫後) 良

(療法) 膀胱ノ弛緩ニハ冷水洗滌及ヒ坐藥、尿意頻數ナル者ニハ溫坐浴○虛弱ノ小  
兒ニハ規尼涅鐵劑○最モ有効ナルハ電氣ヲ用テ膀胱刺衝法即チ直腸傳導法  
ヲ施スニ在リ就中感傳電氣ノ二極ヲ會陰部ニ貼スベシ又冷水療法強壯藥ヲ  
處ス○腸虫ニハ驅虫劑包莖ニハ手術

○ 臭剝 三、〇 右研和散十包ニ作り朝夕每一包

○ 苦丁 一、五 單寧酸 各五、〇

○ 單舍 一〇、〇 硫酸鐵 適宜

○ 鹽水 一〇〇、〇 葛蒲根越 右丸五十粒ニ作り毎日三粒

○ 葱布腺 〇、五 莢若越 〇、〇五

○ 白糖 五、〇 白糖 二、〇

遺尿

右五包ニ作り毎夜臨牀一包(注意)

○ 硝酸斯篤利幾尼涅

〇〇、一

水

一〇、〇

右調和皮下注射料(四分一筒ヲ薦骨部ニ注射ス可シ)

○ エルゴチン

一、〇

〇 單舍

八〇、〇

〇 芳香水

二〇、〇

〇 右每三時一小兒匙

〇 右毎日二回十乃至十五滴ヲ糖水ニ和ソ用フ

一〇、〇

ニ和ソ用フ

### ○ 夏日斑

*Ephelides.*

フエリーデス

(原因) 遺傳

(診候) 顔面及手背ニ發スル小褐色ノ斑ナリ夏日著明ナルモ冬日ハ脱色ス  
(體後) 良

(療法) 顔面ニ瀾蔓セル夏日斑ニ在テハ患部ニ左方ヲ布片ニ浸セル者ヲ以テ蓋ヒ而シテ四時間 昇汞〇、五 餛水五、〇

此液ヲ以テ濕潤セシムヘシ之ニ併發スル炎症ハ冷罨法ニヨリ緩解ス又水疱ハ側壁ヲ穿刺シテ内容ヲ漏ラシ局部ニ米澱粉ヲ撒布スベシ此強劇ナル療法ニ代フルニ「プロセント」ノ昇汞石鹼ヲ以テ皮膚ヲ日々數回洗滌シ而シテ毎夕左法ヲ患部ニ塗擦スベシ

○ 昇汞

〇〇、五

○ 華攝林

三〇、〇

右調和軟膏ニ作ル又

○ 撒酸

二、〇

○ 綠石鹼

三、〇

○ 華攝林

二〇、〇

右調和軟膏ニ作ル

持續性使用ニハ左ノ法ヲ可トス

○ 昇汞

〇〇、五

○ 扁桃乳劑

三〇〇、〇

○ 安息香丁幾

一、五

右調和顔面ニ毎夕塗擦スベシ

○ 硼砂

一五、〇

○ ケルン香水

二〇、〇

○ 餛水

一三〇、〇

右同上

○ 硼砂

一五、〇

○ 炭酸加里

五、〇

○ 薔薇水

各八〇、〇

○ ケルン香水

各八〇、〇

右調和毎夕塗擦シ翌朝拭去ス

○ 酸化亞鉛

各三、〇

○ 次硝蒼

各三、〇

○ 華攝林

三五、〇

右調和軟膏ニ作り毎夕塗擦

○ 白降汞

各五、〇

○ 硼砂

各五、〇

○ 緩和軟膏

五〇、〇

○ 薔薇油

各五滴

○ 橙花水

各五滴

右調和軟膏ニ作ル

○ 硼砂

一五、〇

○ 炭酸加里

五、〇

○ 橙花水

各七五、〇

○ ケルン香水

各七五、〇

夏日斑

一三五

滑石	各三、〇	薔薇水	各一〇〇、〇
酸化亞鉛	右調和外用	右調和外用	
沈降硫黃	一五、〇	ナフトール	二、〇
精製龍腦	一、〇	偲里設林	一、〇
亞拉昆亞護膜末	五、〇	加里石鹼精	五〇、〇
石灰水		右調和外用	

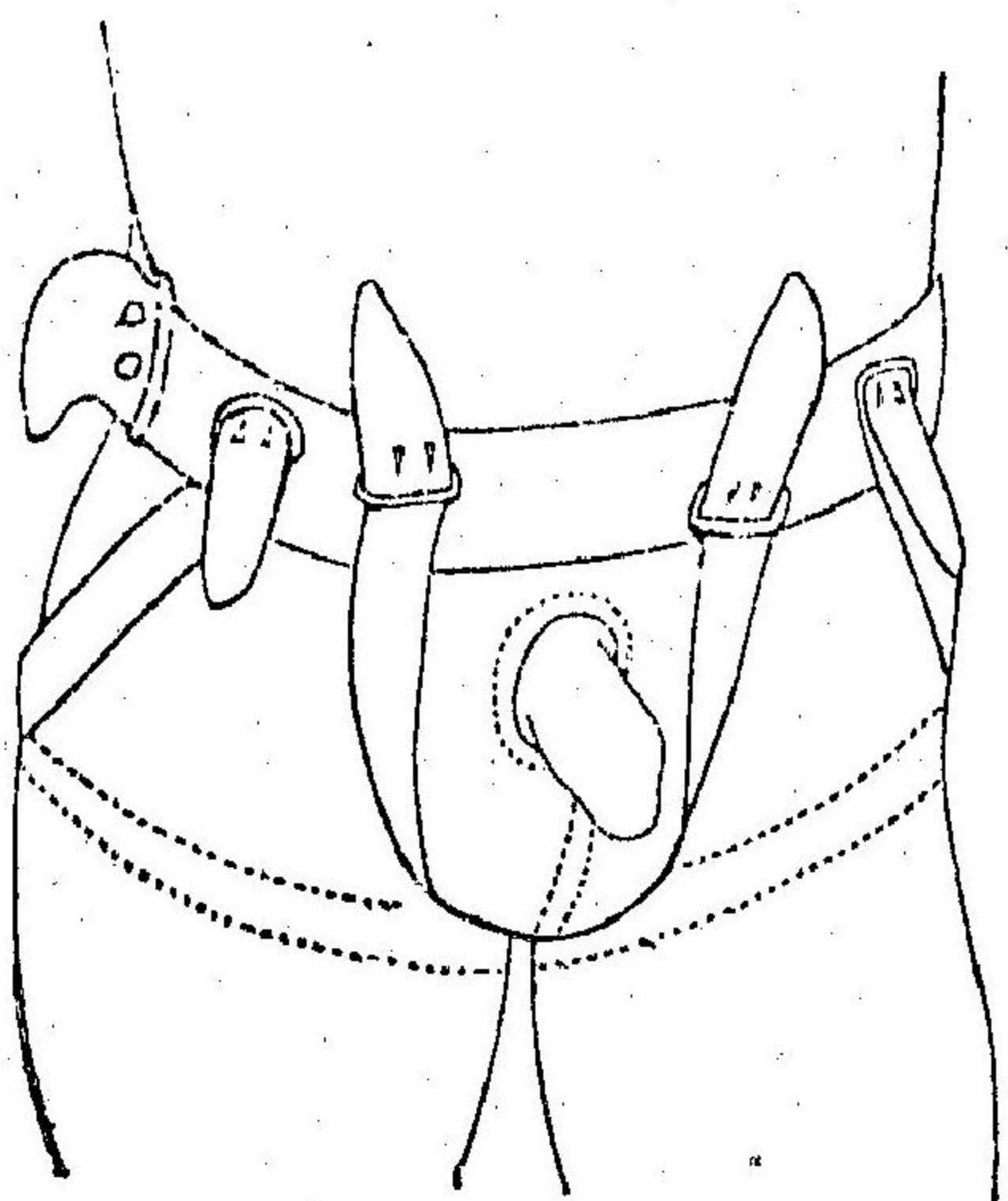
○副睪丸炎 Epididymitis. エピヂヂミチス

(原因) 專ハラ淋毒稀ニ結核、外傷、膿毒症、痘瘡、梅毒  
 (診候) 淋性ニ在テハ腫起疼痛急劇ナレトモ結核性ニハ大抵疼痛ナク慢性ニシテ頑固ノ膿瘍ニ陥ルコト少ナカラス其他熱盤輸精管炎精系部及ヒ鼠蹊腺ノ腫起劇痛ヲ合併スルコトアリ  
 (豫感) 淋毒性ハ其、結核性ハ不定、別出ニヨリ治シ或ハ不良ナリ  
 (療法) 淋毒性副睪丸炎ニ於テハ直ニ靜臥ヲ命シナイセル氏提舉帶等適宜ノ方法ニ由テ睪丸ヲ高舉濕褌法或ハ毡布ヲ用ユ溫熱ヲ不快ニ感スル并ハ冷褌法トス下劑及ヒ酸性飲料ヲ投シ且ソ飲食ノ攝生ヲ嚴ニシ劇痛ニハ鎮痛軟膏ノ塗布或ハ莫兒比涅ノ内服若クハ皮下注射ヲ試ミ或ハ淋疾ニ對スル尿道注射ヲ停

撒曹	一、〇	鹽莫	〇、〇二
右爲一包與六包一日三回一包宛		柯々阿脂	二、〇
ザロール	〇、五—一、〇	阿列布油	適宜
右爲一包與六包一日三回一包宛		右坐藥一個トナシ二個ヲ與フ毎夕一個	
プロー氏液	三〇〇、〇	副睪丸及ヒ精系部ニ發スル放線狀ノ劇痛ニハ莫若越確實ノ効アリ	
右褌法料		莫若越	二、〇
次醋酸鉛液	五、〇	華攝林	二〇、〇
水	二〇〇、〇	右調和軟膏ニ作り陰囊塗擦	
右調和褌法料		莫若越	五、〇
鹽酸ヘロイン	〇、〇一	ヘブラ氏軟膏	三〇、〇
乳糖	〇、〇五	右調和軟膏ニ作り陰囊塗擦	
鹽莫	〇、〇一	イヒチカール	二、〇
乳糖	〇、〇五	偲里設林	二〇、〇
右爲一包與六包一日三回二日分			
右爲一包與三包一日乃至三包			

- 右混和外用
- 沃度仿謨 一、〇
- 華攝林 三〇、〇
- 右調和軟膏ニ作り陰囊塗擦
- 沃度加留謨 一、〇
- 純沃度 一〇、一
- 刺納林 二五、〇
- 右調和軟膏ニ作ル
- 沃度ワッゾーゲン 二〇、〇
- 右外用
- 沃剝 二、〇
- 苦丁 三、〇
- 餽水 二〇〇、〇
- 右一日三回二日分服

第十圖



セイナ氏提舉帶

○ 癲癇 Epilepsie. エピレプシー

〔病因〕 腦脊髓ノ疾患、神經癱着部癩痕ノ刺衝機旺盛、遺傳、心身過勞、勞働、恐怖、手淫、房事過度、腸蟲、便秘、腺病、暴飲、梅毒、鉛中毒等ナリ

〔診候〕 發作間歇性ノ全身痙攣、卒倒、人事不省、口内泡沫、顔面暗赤、瞳孔散大等

〔病後〕 發作中死スルコト稀ナリト雖モ全治スルコト甚々稀ナルガ故ニ不良

〔療治〕 凡テ其發作ノ誘因トナル可キ事項ヲ避ケルコト必要ナルガ故ニ精神及ヒ身體ノ過勞ヲ慎ミ常ニ全身症狀ニ注意ス可シ○發作時ニハ全身ヲ損傷セサル様注意ヲ加ヘ被服ヲ除キ舌ノ嚙傷ヲ防護スルカ爲メニハ齒列間ニ布片ヲ以テ纏絡セル長キ物體ヲ挿入シ發作時及ヒ發作後ニハ凡テ患者ヲ煩ハス可キ事物ヲ避ケサル可ラス若シ其原因梅毒或ハ鉛中毒ニ在ルヲ認ムルニ於テハ其療法ヲ施ス可シ

- 鏡羅謨加留謨 一〇、〇
- 水 一八〇、〇
- 橙皮舍 二〇、〇
- 右一日三回每食後二日分服
- 餽水 三〇〇、〇
- 右毎日三乃至六食匙一盞ノ繙草
- 茶劑ニテ用ユ
- 右十包ニ分チ毎日二乃至八包
- 臭素那篤留謨 各一〇、〇
- 臭素安母紐謨 各一〇、〇
- 臭剝無効ナルトキハ左方

癲癇

○ 硫酸亞篤羅必涅 〇、〇〇〇五  
 右爲一包與六包一日三回一包宛  
 ○ 硫酸亞篤羅必涅 〇、〇五  
 右甘草越及ヒ同末適宜ヲ以テ丸  
 五十粒ニ作り毎日一粒  
 ○ 亞鉛華 〇、四  
 白糖 二、〇  
 右研和散四包ニ作り朝夕每一包  
 ○ 酸化亞鉛 各五、〇  
 越岩越 二、〇  
 縮草根末 適宜  
 右百丸トシテ毎日一乃至三丸  
 ○ 酸化亞鉛 各〇、〇六  
 非斯沃越 二、〇  
 縮草根末 一滴  
 縮草油 一滴  
 右爲一包與六包毎日三回一包宛

○ 硼砂 四、〇  
 橙皮舍 二、〇、〇  
 餾水 二〇〇、〇  
 右一日三回二日分服  
 ○ 硝酸銀 〇、五  
 泥莖末及同越 各適宜  
 右五十粒ニ作り毎日四乃至十粒  
 發作頻數ナルニ於テハ、抱水格魯拉爾  
 二、〇乃至三、〇ヲ内服或ハ灌腸料トナ  
 シテ用フヘシ  
 癩癩ノ前兆ヲ現ハセルニ臨テハ直ニ食  
 鹽一茶匙ヲ投ス以テ其發作ヲ防遏スル  
 コト有リ又亞硝酸亞密爾(五滴乃至八  
 滴)ヲ吸入セシメテ其發作ヲ防遏スル  
 コトヲ得ル者多シ(顔面蒼白トナルモ  
 ノ)

○ 衄血

Epistaxis.

エピスタキシス

(原因) 常習、鼻梁打撲、鼻加答兒、頭部鬱血、或ハ結核初起、經閉、白血病、血友病、紫  
 斑病、壞血病、左心肥大、窒扶斯、麻疹、痘瘡、猩紅熱等傳染病ノ初起  
 (療法) 出血スル鼻腔ニ氷水或ハ醋水ヲ注入スルヲ宜トス(溫湯ノ注入ハ、晚今大ニ  
 稱用スル所ナリ)然レトモ出血劇甚ニシテ普通ノ方法ヲ以テ能ク之ヲ防  
 止スルコト難キニ於テハ、「ベロック」氏管ヲ用井テ鼻腔ノ栓塞止血法ヲ施  
 ス  
 ○ 粗製明礬末 二〇、〇  
 水 五〇、〇  
 右調和嗅入料(屢々尋常ノ衄血  
 ニ罹ル者ニ用井テ効アリ)  
 ○ 硫酸亞鉛 一、〇  
 粗製明礬 二、〇  
 水 五〇、〇  
 右調和嗅入料  
 ○ 過格魯兒鐵液 一、〇  
 水 一〇〇、〇

○ フェリピリン 一八、〇乃至二〇、〇  
 餾水 一〇〇、〇  
 右棉花球ニ浸シ鼻粘膜ニ塗布ス  
 ○ 明礬末 各一〇、〇  
 コロホニーム末 各一〇、〇  
 亞拉昆亞護膜末 各一〇、〇  
 右鼻内ニ吹キ入ルベシ  
 ○ 明礬 各五、〇  
 阿仙藥 各五、〇  
 右同上  
 ○ 五倍子丁

阿仙藥丁

各五、〇

右鼻粘膜塗布料

○齒齦息肉

*Eplulis.*

エプーリス 一名齦贅

(病因) 齦齒等ノ刺戟ヲ專ラナリトス

(診候) 齦齦ヨリ生スモノニシテ其部ノ齦牙脱落ヲ來ス多クハ有莖ニシテ菌狀ナリ

(療法) 缺或ハ刀ヲ用テ其息肉ヲ切除シ或ハ硝酸銀ノ腐蝕法ヲ行ヒ或ハ沃度丁幾チ

塗布シ含嗽水ヲ用フ○出血或ハ潰瘍ニハ濃厚ナル腐蝕藥ヲ塗布ス

○沃度丁

餽水

一〇、〇

酒精

各一〇、〇

右調和塗布料

右調和塗布料

過格魯兒鐵液

五、〇

石炭酸

一、〇

右調和塗布料

酒精

二〇、〇

沃丁

右調和塗布料

五倍子丁

各五、〇

結晶硝酸銀

一、〇

右塗布料

○丹毒

*Erysipelas.*

エリシペラス

(原因) 醗膿連鎖狀球菌ノ損傷部ヨリ侵入スルニ因ル

(診候) 卒然寒戰ヲ發シ體溫暴騰シテ四十度内外ニ達シ頭痛 倦怠、食欲不振、惡心、

嘔吐等ヲ發シ重症ニハ譫語而シテ皮膚創傷部ノ近圍ニ紅斑灼熱疼痛、腫脹  
往々水泡ヲ形成スルコトアリ該斑ハ益々蔓延ス其早キハ一日二十迷仙ノ外  
ニ蔓延ス經過六日乃至十日重症ハ合併症ニ由テ死ス

(療法) 概テ良ナルモ諸種ノ危險症ヲ續發スルノ虞アルヲ以テ注意ス可シ

(療法) 其狀態ニ注意シ靜臥ヲ命ス其中度ニ於テハ冷罨法又高度ニハ氷罨法ヲ行フ  
溫罨法ハ病勢減退後始メテ之ヲ行フ其他酸性飲料ヲ投シ必要ナル場合ニハ  
又下劑ヲ用フ或ハ油劑若クハ脂肪ノ塗布ヲ行フ虛脫ニハ濃厚珈琲煎、葡萄  
酒、樟腦、麝香等ヲ與フ或ハ五十倍乃至三十倍ノ石炭酸溶液ヲ各六「センチ  
メートル」ノ距離ニ限界スル健康皮膚部ニ皮下注射スルコト有リ又「ウエル  
フレル」氏ハ病毒ノ蔓延ヲ防カンカ爲メ患部近圍ノ健康ナル皮膚ニ一拇指  
許ノ絆創膏ヲ輪形ニ貼シテ其効アリト云フ

○イヒガール

酒精

一〇、〇

華攝林

各一〇、〇

蒸餾水

右塗擦料一日二乃至四回

偃里設林

各二五、〇

○レゾルチン

一〇、〇

右一日五回塗布料(頭髮部丹毒)

豚脂

三〇、〇

○次醋酸鉛液

一〇、〇

右爲軟膏一日四回塗擦料

○レゾルチン

五、〇

水

二〇〇、〇

右罨法料

丹毒



○ 石炭酸 各一、〇  
 酒精 二、〇  
 的列並底油 五、〇  
 偏里設林 右調和塗布料(毎二時一回) 「イヒチオイル」 各五、〇  
 依的兒 古魯胃謨 一〇、〇  
 右塗布料 「イヒチオイル」 各八〇、〇  
 澱粉 二、〇  
 蛋白 四〇、〇  
 水 右塗布料(「ウンナ」氏劑) 各八〇、〇  
 麥角越 二、〇  
 偏里設林 八、〇  
 右調和皮下注射料(二乃至四筒) 〇、二  
 石炭酸 一〇、〇  
 水 右調和皮下注射料 遊走性丹毒或ハ體力衰弱ノ者ニハ左方 一〇、〇  
 硫規 一、〇  
 白糖 二、〇  
 樟腦 〇、二  
 白糖 二、〇  
 右研和散五包ニ作り毎日三包 〇、二  
 右研和散五包ニ作り毎三時一包 二、〇

○ 紅斑 Erythema. エリチエ

(原因) 放射熱或ハ尿汗等分泌物ノ刺激、中毒、創傷、火傷、凍傷、小兒熱、腸蟲、齒牙發生、痘瘡、又タ流行性ニ發スルコトアリ

(診候) 皮膚表層ノ充血斑ニシテ多クハ腹部、内股、手足、背面部等ニ發ス指壓ニ據テ退消ス灼熱ノ感アリ間々發熱スルコト有リ  
 (療法) 單純或ハ複合ノ撒布藥ノミヲ用フルヲ常トス冷電法及塗布ハ唯往々之ヲ用フルコトアルノミ而シテ當時若シ熱候アル者ニ逢ヘハ規尼涅ヲ處スベシ

○ プロー氏液 三〇〇、〇 右調和塗布料  
 ○ 右電法料 三〇、〇 明礬末  
 鉛醋 五、〇 右細研撒布料  
 水 二〇〇、〇 酸化亞鉛 五、〇  
 右電法料(上皮缺損ノ者ニ用フ) 〇、五 澱粉 三〇、〇  
 石炭酸 〇、五 右調和撒布料  
 再留酒精 一〇、〇 其他濕爛症ノ條下ニ掲クル者ヲ宜トス

○ 顔面神經麻痺 Facialislaehmung. フアチアリス レームング

(原因) 感冒、痲瘋質斯、外傷、耳下腺、耳、顳額骨、腦及延髓ノ疾病、急性傳染病(實扶的里、腸室扶斯、痘瘡等)慢性傳染病(梅毒、癩病、結核)及鉛中毒  
 (診候) 多クハ顔面偏側ノ麻痺ニシテ患側ノ額上ニ皺ヲ認メズ又タ皺ヲ形成スルコト不能、閉眼不全(兔眼)、鼻唇溝消失、口角下斜、口唇ヲ尖起シテ笛聲ヲ發スルコト能ハサル等其主徵ナリ其他咀嚼談話ニ多少ノ障害ヲ伴フコトアリ味

紅斑 顔面神經麻痺

覺ヲ害スルコトアリ反射的運動廢絶ス(末梢性顔面神經麻痺)○中樞性ノモ  
ノハ以上又末梢神經麻痺ノ如ク前額枝ヲ侵カスコトナキヲ以テ前額及眼ノ  
閉鎖ニ變化ナク又反射的運動ヲ存ス  
病源處在部ト其症候

- (1) 全顔面筋麻痺……………病源乳嘴孔ノ下方
  - (2) (1)ノ症候及唾液減少味覺障害……………鼓索ノ起始ノ上方
  - (3) (2)ノ症候及聽覺過敏症……………馬鐙筋ノ起始ノ上方
  - (4) (3)ノ症候及口蓋弓麻痺……………小膝狀神經節及淺大岩樣部神經ノ起始
  - (5) (4)ノ症候アルモ味覺ノ變ナシ……………小膝狀神經ノ上方
  - (6) 患側顔面神經麻痺及他側肢節麻痺……………「ヴァロル」氏橋及延髓
  - (7) 同時ニ動眼神經ヲ犯ス……………大腦脚足
  - (8) 他側ノ顔面ニ於ケル口部顔面神經ノ麻痺症……………内囊或ハ前中央回轉
- (療後)原因ニヨリ異ナリ、電氣ノ反應常態ニアルハ二三週ニシテ治ス(輕症)局  
劑的變性反應ヲ呈スルハ四乃至六週(中等症)完全的變性反應ヲ呈スルハ  
ハ半年ノ後治ニ向フ(重症)然レ凡原因ヲ除クコト克ハサルモノハ不治
- (療法)原因梅毒ニ在ル者ニハ驅梅毒療法、又腫瘍或ハ膿腫等ノ壓迫ニ在ル者ニハ其  
ノ切除又復麻質斯性ノ者ニハ發汗劑ノ内服或ハ皮膚ノ刺戟或ハ乳頭突起部  
ノ放蛭或ハ按摩等ヲ用井後ハ電氣療法其効ヲ奏スヘシ即チ華其囊氏電氣ヲ

用キテ顔面筋ヲ各個ニ刺戟シ爾瓦華尼氏電氣ヲ用井テ其積極導子ヲ病側ノ  
乳頭突起部其消極導子ヲ健康側ノ同名部ニ通スルヲ宜トス

- 沃剝 二、〇〇 アスピリン 三、〇〇
- 苦丁 三、〇〇 右六包ニ作り一日三回二分服
- 鹽水 二〇〇、〇〇 (同上)
- 撒曹 右一日六回二分服(梅毒性) 〇、〇五
- 水 六、〇〇 硝酸斯篤利幾尼涅 一〇、〇〇
- 右六包ニ作り一日三回一包宛二 右調和毎日「ブララツツ」氏注
- 日分「オブラート」ニ包ミ用ユ 射器半乃至一筒皮下注射料
- (復麻質斯性) (陳舊症)

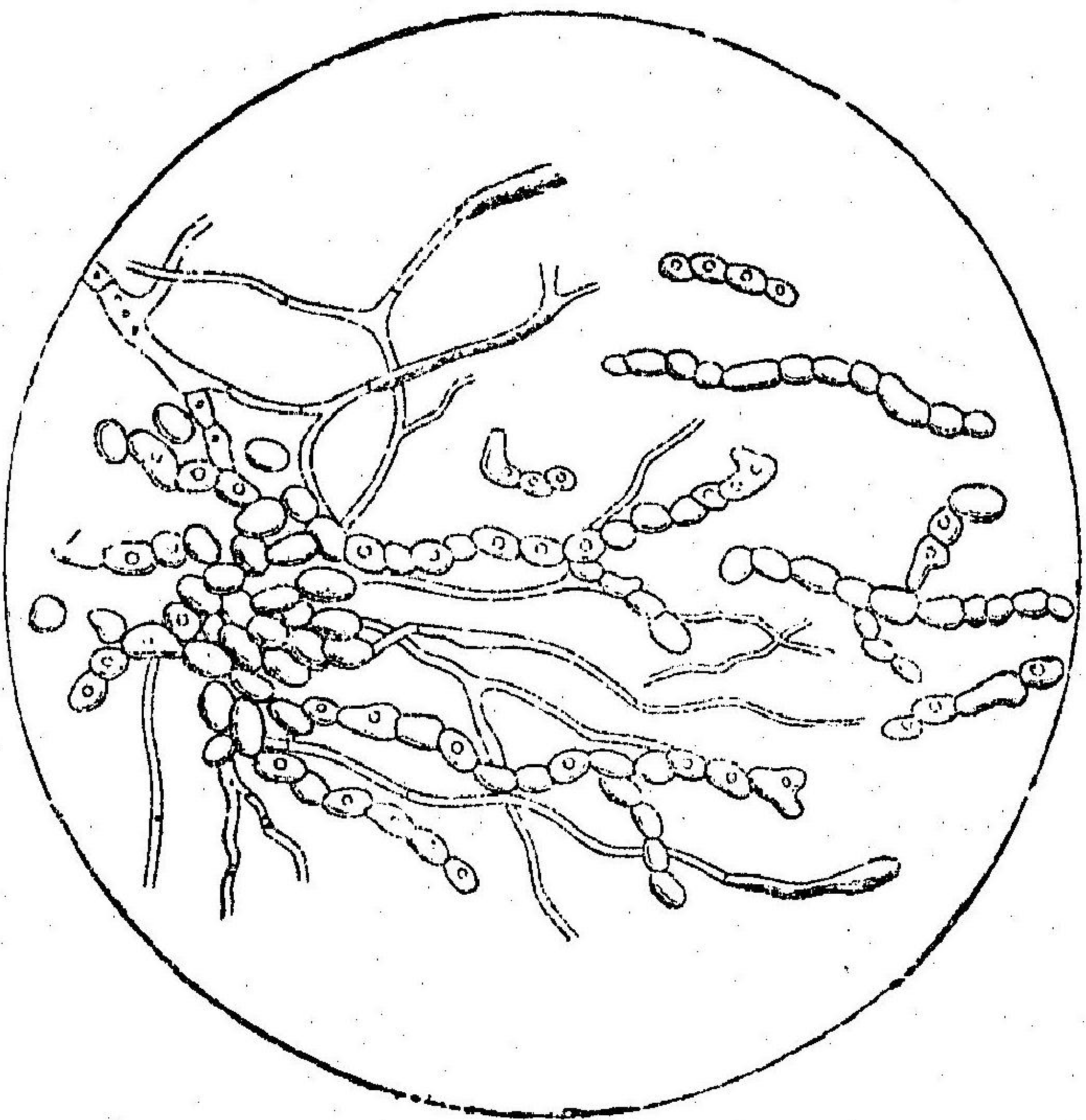
○白癬 *Furms.* ファーヴス

(原因)「シエーソライン」氏「アヒヨリガン」ト稱スル寄生菌ノ傳染ナリ

(診候)專ラ頭鬚部ニ生シ毛囊周圍ニ確黃色ノ小體ヲ形成ス其形圓板ノ如クニシテ  
中央陷凹ス面ノ毛髮ハ折レ易ク又々拔ケ易クシテ光澤ナシク持續スル  
トキハ禿頭ヲ生ス○黃色ノ小體二十%加里滴汁ヲ加ヘテ鏡檢スレハ「アヒ  
ヨリガン」ヲ發見ス

(發後)生命上良ナルカ治癒難ク且ツ再發ノ虞アリ

圖 八 十 第



シエーンライン  
 氏アヒヨリオン  
 (白癬ノ原因)四  
 百倍

(療法) 先ツ油(肝油)ヲ白癬ニ注キテ反覆濕潤シ然後剛キ粗毛櫛ヲ用井テ之ヲ摩擦シ以テ其軟化セル部ヲ除去シ若クハ石鹼或ハ石鹼精ヲ用井テ洗滌シ毎日毛髮ヲ拔去シ且參兒或ハ撒里矢爾酸石炭酸「レソルチン」溶液或ハ石油合劑ノ塗擦ヲ行フベシ

- |                  |          |               |       |
|------------------|----------|---------------|-------|
| ○ 綠石鹼            | 五〇、〇     | ○ 酒精          | 各二〇、〇 |
| ○ 右塗布用           |          | ○ 水           | 一〇〇、〇 |
| ○ 加里石鹼精          | 五〇、〇     | ○ 右調和塗布料      |       |
| ○ 右塗擦用           |          | ○ 沒食子酸        | 二〇、〇  |
| ○ 昇汞             | 〇、一乃至〇、二 | ○ 華攝林         | 二〇、〇  |
| ○ 酒精             | 一〇〇、〇    | ○ 右調和軟膏ニ作ル塗擦用 |       |
| ○ 右フラ子ル布片ニテ塗擦ス   |          | ○ 「カジヌム」油     | 各五〇、〇 |
| ○ 撒里矢爾酸          | 五、〇      | ○ 綠石鹼         | 各五〇、〇 |
| ○ 偏里設林           |          | ○ 酒精          | 一〇〇、〇 |
| ○ 酒精             | 各五〇、〇    | ○ 右外用         |       |
| ○ 右調和其中ニ壓定巾ヲ浸シテ之 |          | ○ 「イヒチカール」    | 五、〇   |
| ○ ナ白癬癬ノ除去シタル部ニ貼用 |          | ○ 撒酸          | 三、〇   |
| ○ 石炭酸(或ハ撒里矢爾酸)   | 二、〇      | ○ 偏里設林        | 各五〇、〇 |
| ○ 偏里設林           |          | ○ 酒精          | 各五〇、〇 |

白癬

二四九

右外用  
又石炭酸油二十倍ノ者或ハ加實紐護油ノ塗擦シテ効アリ

○ 知母爾

〇、五

嘔囉仿謨

五、〇

阿列布油

一五、〇

右調和塗布料

○ 石油

一〇〇、〇

百露拔爾撒謨

一〇、〇

右調和塗擦料

○ 昇汞

〇、二

武蘭堊酒

一〇〇、〇

右調和洗滌料或ハ罷法料

又醋酸ノ塗布効ヲ奏スルコトアリ

爪甲ノ白癬ニハ左方

〇 昇汞

一、〇

彈力古魯胃謨

二〇、〇

右塗布料(爪甲ニ)

髮存セザル部ノ白癬ニハ石鹼ヲ用テ之ヲ洗滌シタル後先ツ油次テ參兒軟膏ヲ貼用スルヲ宜トス

○ 苦利沙羅並

五、〇

撒酸

二、五

古魯胃謨

三〇、〇

右外用

○ 麗曹兒珍

五、〇

華播林

一〇〇、〇

右外用

### ○ 肛門輝裂

肛門裂傷

*Fissura ani.*

フヒスツアニー

(原因) 痔疾及ビ婦人ノ骨盤内充血ニ由テ粘膜弛緩トナリ硬便通利誘因ヲナス  
(診候) 肛門括約筋ノ部分ニ於テ粘膜ノ輝裂アリ便通ノ際劇痛ヲ發シ神經憂鬱

(療法) 五%古加乙涅液或ハ軟膏及硝酸銀桿或ハ十%硝酸銀水ヲ塗布シ或ハ燒灼電

氣若シクハ「バクレン」氏燒灼器或ハ烙鐵ヲ以テ燒灼スル等又屢左方

イヒチカール坐藥ヲ挿入スベシ

○ 古加乙涅

〇、〇五

肛門痙攣アル者ニハ裂傷部ヲ深ク線狀

柯々阿脂

一、〇

ニ切開ス(括約筋モ共ニ)局處麻醉ニハ

右坐藥トナシ肛門内挿入

### ○ 痔瘻

或ハ直腸瘻

*Fistula ani.*

フヒスツアニー

(原因) 肛門周圍ノ創傷、膿瘍、直腸炎、直腸潰瘍、特ニ結核、直腸周圍炎等ナリ

(診候) 肛門周圍ノ皮膚ニ瘻孔ヲ認メ膿ヲ排出ス消息子ヲ送入スルニ或ハ直腸内ニ

達シ(全痔瘻)或ハ直腸ニ至ラズ(不全外痔瘻)又直腸ヨリシテ瘻管ヲ發生シ

外皮ニ穿通セザルモノアリ(不全内痔瘻)

(療法) 手術ノ前日下劑ヲ與ヘ手術前ニ更ラニ灌腸ヲ行ヒ全身麻醉或ハ局處麻醉ヲ

施シ全痔瘻ニアリテハ有溝消息子ヲ孔ヨリ瘻管ノ全長ニ送入シ有溝消息子

頭ヲ直腸内ニ挿入セル指頭ニテ肛門外ニ牽キ出タシ球刀ニテ瘻管全部ヲ切

開シ銳匙ニテ瘻管ノ面ヲ爬除シ沃度吻「ガーセ」ヲ充填ス而シテ結核性ナル

トキハ患部ノ切除若クハ燒灼ヲ施シ防腐ヲ嚴守ス可シ肉芽發生ヲ促スニハ

硝酸銀桿ノ腐蝕法ヲ用ユ

不全痔瘻ナルトキハ消息子ニテ先ツ組織ヲ破リ全痔瘻ニ變化セシメテ後全

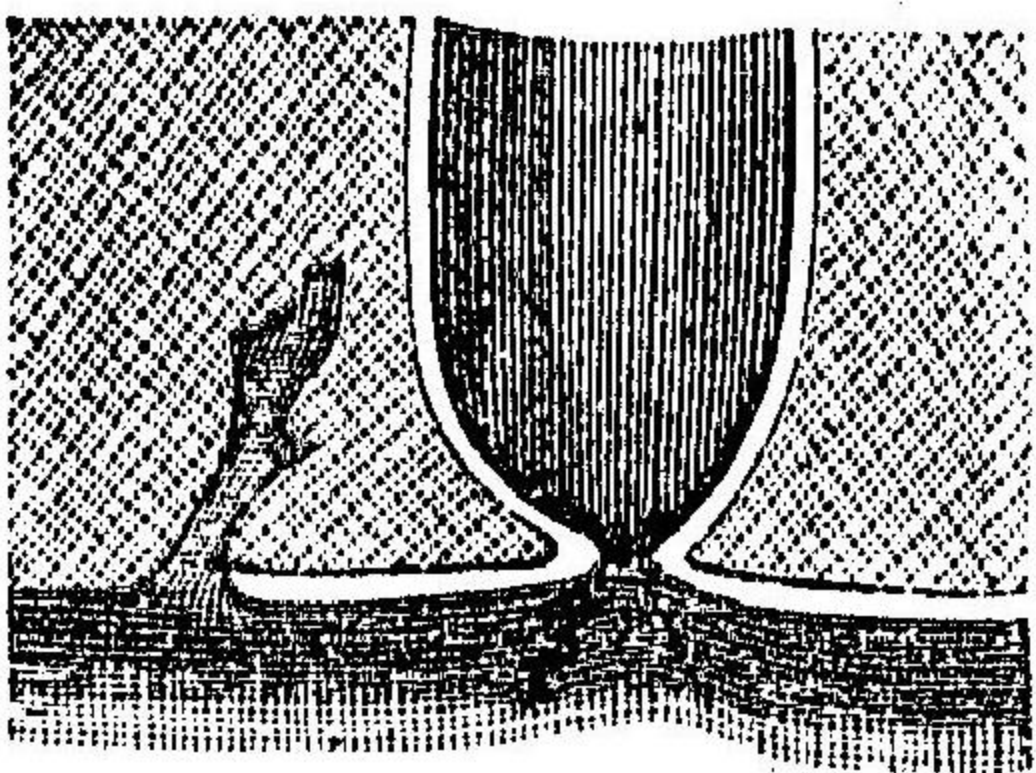
### 肛門輝裂 痔瘻

不全外痔瘻

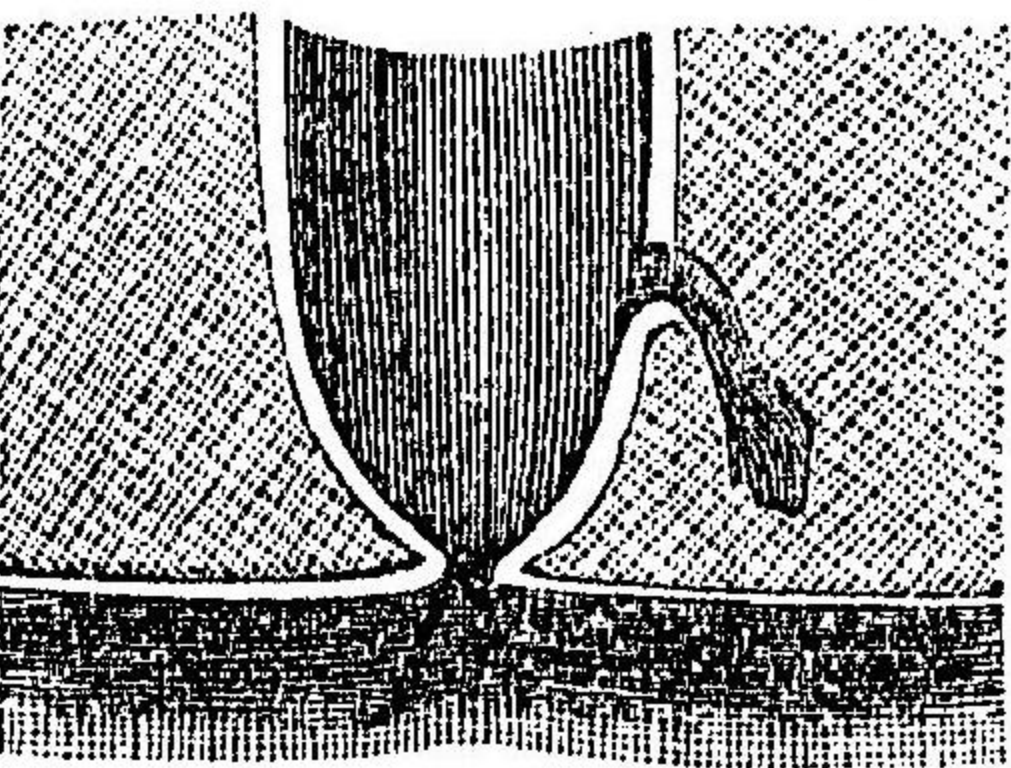
不全内痔瘻

全痔瘻

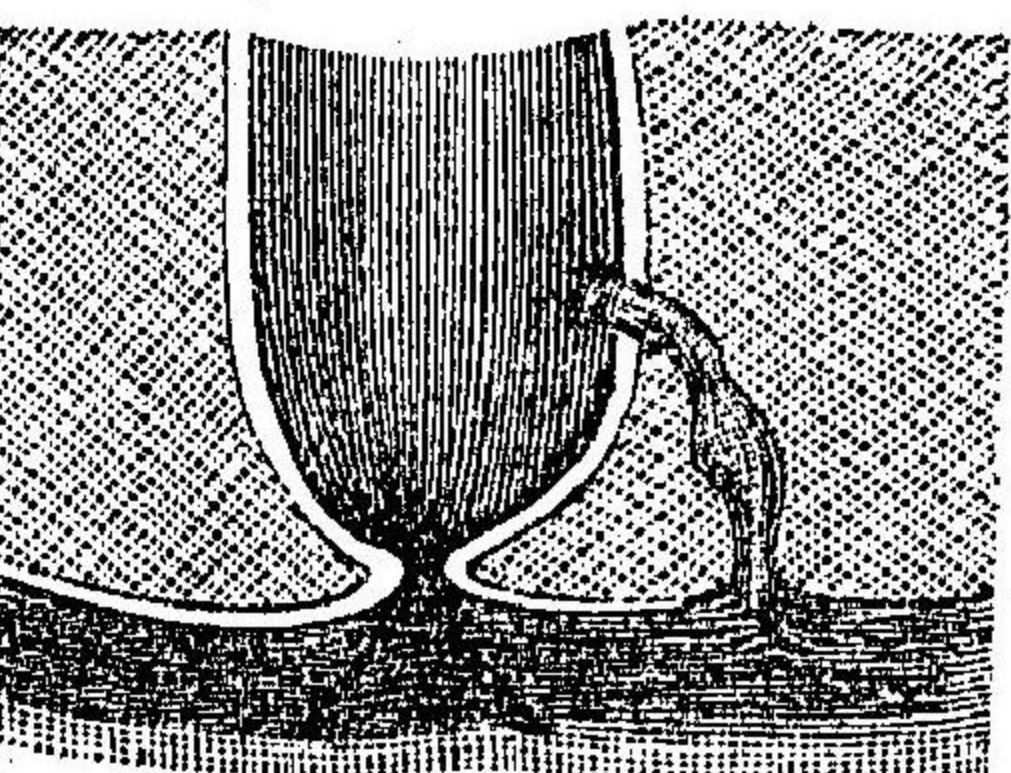
圖九十第



圖十二第



圖一十二第



痔瘻ト同様ノ處置ヲナス可シ不全内痔瘻ナルトキハ「シモン」氏鏡ヲ送入シ其瘻孔ヲ露呈セシメンカ爲メ先ツ括約筋ノ皮下延長術或ハ後方括約筋切開術ヲ要スルコトアリ

### ○白帶下、腔膿漏、腔加答兒

*Fluor albus,*

*Blennorrhoea vagina, Catarrhus vagina.*

フルナル、アルプス、ブレノレア、ヴァギナ、カタルス、ヴァギナ

(原因) 寒胃、不潔、腺病、萎黃病、過房等

(診候) 腔粘膜ノ炎症充血、白色粘液若クハ膿狀液ノ流出ニシテ其他食思欠損、全身倦怠腰痛ノ症狀ヲ伴フ

(療法) 急性ニハ冷電法或ハ冷水注入法ヲ行ヒ熱候アルトキハ兼テ酸性飲料ヲ與フ可シ凡テ安息靜止ヲ專ラニスルコト肝要ナリ○慢性症ニハ其原因或ハ近傍器官疾患蔓延ノ有無ヲ搜索シ且其特發ナルヤ將々續發ナルヤニ注意シ而シテ局處療法ニハ注入法ヲ主トシ又成シ得ヘキ場合ニハ腐蝕法ヲ行フ可シ小兒ニハ洗滌或ハ浴湯ニ由テ陰部ヲ清潔ニシ局處收斂藥或ハ沃度仿護坐藥或ハ綿花填入法ヲ施シ而シテ全身療法ニハ肝油規尼涅等ヲ處シテ効アリ

○ 鉛水 一〇〇、〇 硫酸亞鉛 水 五、〇

○ 右一食匙ヲ半「リーテル」ノ水ニ加フ(注入用) 右注入料 五、〇

○ 格魯兒酸加爾謨 水 五〇〇、〇 石炭酸 水 五〇〇、〇

○ 粗製明礬 水 一〇〇、〇 右注入料 二、五

○ 右注入料 五〇〇、〇 水 右注入料 五〇〇、〇

白帶下、腔膿漏、腔加答兒

○ リゾール	二、〇	入スルニ比フレハ其効力甚少ナシ故ニ 可成醫士其勞ヲ取ル可シ其法腔鏡ヲ用 テ子宮ノ患部ヲ露ハシ先ツ綿ヲ以テ患 部ニ附着セル分泌液ヲ拭去シ而後二三 分間濃厚ナル藥液ヲ注入シ次ニ絲ニ繫 キレル線花栓塞ヲ送入ス可シ但シ該栓 塞ハ一二時間ノ後患婦ヲシテ自ラ此ヲ 除去セシムルナリ	
○ 水	五〇〇、〇		
○ 右注入料			
○ フホルマリン	二五、〇		
○ 縮水	七五、〇		
○ 右一食匙ヲ一〇〇〇、〇ノ水ニ 加ヘ注入料トス	〇ノ水ニ		
○ 撒酸	五、〇		
○ 水	五〇〇、〇		
○ 右注入料			
○ 格魯兒石灰	五、〇		
○ 水	五〇〇、〇	○ 昇汞	二、〇
○ 右注入料		○ 常水	二〇〇、〇
○ 過滿掩酸加留膜	二、〇	○ 右注入料(醫師用)	一〇〇、〇
○ 水	五〇、〇	○ 硝酸銅	一〇〇、〇
○ 患婦自己ヲシテ洗滌法ヲ行ハシムルコ ト醫士ノ濃厚ナル藥液ヲ用井テ之ヲ注		○ 右注入料(醫師用)	一〇〇、〇
		○ 水	一〇〇、〇
		○ 病期尙ホ初發ニシテ特ニ其原因傳染ニ 在ル者ニハ左方ヲ宜トス	
		○ 結晶硝酸銀	一〇〇、〇

○ 右注入料	二滴	薄荷油 右調和用法同上 腔ノ栓塞ハ綿花ヲ用井テ之ヲ作り而シ テ左ノ藥物ヲ含飽セシムヘシ	
○ 腔部ニ潰瘍ヲ生シタル者ニハ左方			
○ 結晶硝酸銀	一、〇		
○ 水	二〇、〇		
○ 右潰瘍面塗布料			
○ 沃度丁	各五〇、〇		
○ 五倍子丁	五、〇		
○ 純沃度	右調和用法同上		
○ 鞣酸	二、〇		
○ 右調和用法同上			
○ 鞣酸	二、〇	○ 右調和用法同上	
○ 右調和用法同上		○ 右調和用法同上	
○ 右腐蝕藥用法同上(但シ硝子桿 ヲ用井テ患部ニ滴ス可シ)	各五、〇	○ 粗製明礬	一、〇乃至三、〇
○ 沃度仿謨	一、〇	○ 柯々阿脂	各滴宜
○ 右調和坐藥(即チ腔球)十個ニ作		○ 緩和軟膏	
○ 白帶下、腔膿漏、腔加答兒		○ 右調和坐藥(即チ腔球)十個ニ作	

リ毎日一二個腔内へ挿入スヘシ

○ 硝酸亞鉛 一、〇

柯々阿脂

緩和軟膏

各適宜

右調和坐藥(即チ腔球)十個ニ作

リ毎日一二個腔内へ挿入ス

子宮ノ周圍ニ疼痛ヲ存スルトキハ左方

○ 鹽莫 〇、一

柯々阿脂

緩和軟膏

各適宜

子宮加答兒ニハ出血性或ハ無出血性擴張法(ラミナリア)ヲ施シ又棉花栓塞ノ清拭法ヲ行ヒ或ハ「ポーツェマン」氏「カテーテル」ヲ用テ制腐液收斂藥ノ注入法ヲ試ム可シ其藥液ニハ五十倍ノ石炭酸液二百倍ノ「クレチリン」水、十倍ノ硫酸銅水其他明礬水、硫酸亞鉛水、過滿飽酸加留護水、鞣酸液、沃度丁幾等

### ○ 瘡瘍

*Furunkel.* フルンケル

(原因)皮膚ノ不潔ニ當リ毛囊孔ヨリ膿菌ノ深ク侵入スルニ因ル顔、頸、項、四肢、臀部等ニ多シ

(診候)皮膚焮赤、腫起、疼痛シテ圓錐形ニ隆起ス其頂ニ膿栓頭ヲ見ルヘシ

(予後)良但シ顔面瘡瘍ハ危險ナルコトアリ速カニ切開ヲ勉ム可シ

(療法)初期ノ者ニハ三%石炭酸水ノ滌法或ハ「石炭酸水銀硬膏、ムル」ヲ貼シ適應ノ時期ニ當リテハ之ヲ切開シテ膿栓ヲ排出シ或ハ溫韃布ヲ貼シテ破潰セシ

ム可シ○屢々再發スルトキハ飲食ノ攝生ニ注意シ住居ヲ清潔ニシ氣流ヲ良善ナラシメ又必要アル際ニハ下劑ヲ投ス可シ○但シ其顔面ニアルモノハ速ニ切開ヲ要ス劇痛ニハ左方ヲ處ス

○ 鹽莫 〇、〇五

白糖

右研和散五包ニ作り毎夕一二包

○ 撒酸 八、〇

石鹼硬膏

歌親拉氏軟膏

右調和淋篤ニ攤シテ貼用ス

### ○ 泌乳過多

*Galactorrhea.* ガラクテア

(原因)授乳經久過度其他一種不明ノ原因ヨリ來ルコト有リ

(診候)離乳後ノ持續性稀乳汁分泌過多ニシテ終ニ衰弱、食慾缺損、神身違和、鈍視、卒倒、精神異常等ノ諸症ヲ來タスコト有リ

(療法)飲食ヲ節シ下劑ヲ投シ又乳部ニ反覆シテ冷水洗滌ヲ行ヒ非常ニ充滿シタル乳房ハ携帶ヲ以テ之ヲ保護シ且脂肪或ハ軟脂ヲ乳房面ニ塗布シ或ハ溫滌法ヲ施シ又吸乳器ヲ應用スルコトアリ

### ○ 肺壞疽

*Fangraena pulmonum.*

カンクレチナ、  
ブルモヌーム

(原因)嚔下肺炎、腐敗性氣管支炎、格魯布性肺炎(殊ニ衰弱者或ハ酒客ノ)、肺栓塞

瘡瘍 泌乳過多 肺壞疽

或ハ外傷等ニ由テ肺部動脈血行ノ遮斷肺膿瘍等ナリ  
(診候) 急激ノ衰弱、望扶斯様ノ諸現症、呼吸及咯痰ノ惡臭、咯痰中肺組織ノ混在、肺ノ濁音部、新空洞ノ發生等

(預後) 概テ不良ナリ、體格強壯ナルモノハ良ナルコトアリ

(療法) 單ニ對症的ニ止マリ、且滋養攝生ヲ專ラニスルノ外他ナキモノトス惡臭ヲ除ク爲メニ的列並底油ヲ布片ニ塗リテ患者ノ側ニ之レヲ置クベシ

○ ミルトール

〇、一五

○ 石炭酸

一、〇

右膠囊一箇ニ入レ與六個一日三

再留酒精

各一五、〇

回二日分

佩里設林

各一五、〇

○ 規那皮

二〇、〇

○ 薄荷

一、五

右武蘭煙酒一八〇、〇中ニ六時

右膠囊ニ入レ十個ヲ製ス毎日二

乃至四囊

間浸出シテ濾過シタル後其液ニ

咯痰器ハ過滿俺酸加留膜、格魯兒石灰

五十倍、クレチリン水ニテ消毒スヘシ

「ベスツセツア」氏神經強壯丁幾

〇チ加ヘ毎二時間一食匙

二、〇ト桂皮水、橙皮舍各二〇、

咯痰ノ臭氣ヲ除クカ爲メニ左方

再留酒精

右吸入料

五〇、〇

再留酒精

五〇、〇

右吸入料

五〇、〇

### ○胃痙 Gastralgie.

ガストラルギ

ガストラルギ

胃痛條下ヲ見

### ○齒齦炎 Gingivitis.

ギンギツヰチス

ギンギツヰチス

(原因) 口内病、壞血病、水銀中毒等

(診候) 齦肉ノ起腫、疼痛、粘液及唾液ノ分泌增加放臭等

(療法) 口内ノ攝生ニ注意シ齒刷或ハ片布ヲ用テ齒齦ヲ清潔ニナシ又含嗽水ヲ用テ

屢々洗滌ス可シ

○ 硼砂

五、〇

稀酒精

一〇〇、〇

○ 薔薇蜜

五〇、〇

薄荷油

各〇、五

右調和塗布料

茴香油

各〇、五

○ 鹽剗

五、〇

右一茶匙ヲ一盞ノ水ニ和シ含嗽料

各一〇、〇

水

二〇〇、〇

刺答尼丁

各一〇、〇

右調和含嗽料

阿片丁

各一〇、〇

○ 阿仙藥丁

各五、〇

右調和塗布料

各一〇、〇

密兒拉丁

各五、〇

其他ノ含嗽水劑ニ於テハ口峽炎、亞布

芳香丁

各五、〇

其他ノ含嗽水劑ニ於テハ口峽炎、亞布

各五、〇

胃痙 齒齦炎

二五九



答、水銀中毒性口内炎等ノ條下ヲ看ヨ

○綠内障 Glaukom. ノラノーム

(原因) 原發性ハ高齡、遠視、月經閉止期、散瞳藥點眼、營養不良、衰弱、血管コアラテロム、變性、三叉神經痛、遠傳等續發性ハ角膜ト虹彩ノ癒着、鞏膜炎、漿液性虹彩毛様炎、虹彩後癒着、水晶體ノ外傷、眼内腫瘍、網膜出血、脈絡膜炎等

(診候) 急性炎症綠内障ノ症候經過

前驅期(七十五%ハ本期ヲ有ス)ハ一二週乃至一ヶ月間持續シ飽食後或ハ精神劇動後ニ或ハ足部冷却後或ハ睡眠不足後等ニ發スル發作ト間歇時トヲ有ス、發作時間ハ通常數時間ニシテ睡眠後ニ消失スルヲ常トス發作ノ症候ハ(一)燈火ノ周圍ニ虹霓(外方ニ赤色)ヲ觀而シテ虹霓ト燈火ノ間ニハ常ニ暗黒ノ輪ヲ存シ虹霓ノ色必ズ燦然タリ(二)萬物朦朧トシ霧中ニ在ルガ如シ(三)毛様神經痛(四)眼球硬固(五)瞳孔散大及反應遲鈍其色綠色(六)前房水及角膜輕度ノ濁濁等

發生期ハ前驅症ニ續キテ暴起シ頭痛顔面痛劇甚、嘔吐、發熱、食氣不振等ヲ發シ視力俄カニ減少ス而シテ眼瞼潮紅腫脹、眼球結膜充血浮腫、角膜ノ濁濁及知覺鈍麻、前房淺ク且前房水濁濁、虹彩變色、瞳孔散大不動不正其色綠、眼球硬固如石、眼底ヲ檢シ得ル(濁濁未ダ輕クシテ)際ニハ靜脈ノ怒張迂迴、乳頭

充血ヲ認ム然レトモ第一回綠内障發作ニハ乳頭陷凹ヲ發セズ○第一回綠内障發作後兩三日乃至一週ニシテ炎症消失シ視力殆ント舊ニ復スルモ是レ全治ニ非ズシテ發作ハ爾來反復シテ乳頭陷凹シ全ク失明シ完全綠内障トナル○極メテ稀ニハ一回ノ發作一二時ニシテ全失明ニ陥ルモノアリ(電擊性綠内障)

慢性炎症綠内障ハ諸症急性ノ如キモ炎症著シカラズシテ其度輕ク數月ニシテ完全綠内障トナル、單性綠内障ハ眼ノ外貌、角膜鞏膜瞳孔等變化ナシ又タ前驅症及炎症發作ナシ只視力漸次減少、乳頭陷凹視野規定狹縮ヲ呈シ歲月ヲ經テ失明ス、眼壓亢進ハ微弱ナリ○續發性綠内障ハ原發性眼病ニ單性綠内障ノ症候ヲ發ス

(療法) 治療セサレハ早晚必ズ失明スト雖モ速カニ治療ヲ加フレバ良  
(療法) 診斷確實ナル者ニ於テハ直ニ依設林或ハ必魯加兒必涅ヲ點眼シ速カニ虹彩切除術或ハ鞏膜切開術等ヲ施シ假令綠内障ノ疑ヲ存スル時ト雖トモ亞篤羅必涅、コカイン等凡テ瞳孔ヲ散大スル藥劑ハ之ヲ嚴禁ス可シ

- 撒酸依設林 一〇、〇二一〇、〇五 水
- 右調和毎日二回點眼料 一〇、〇
- 鹽酸必魯加兒必涅 〇、一
- 撒酸依設林 〇、〇五
- 右調和毎日二回點眼料 〇、一
- 撒酸依設林 〇、〇五

綠内障

鹽莫  
水

〇、一  
一〇、〇

右調和毎日二回點眼料

### 〇舌炎

Glossitis. シロシヤク

(原因) 水銀中毒、熱性、器械的、化學的ノ刺激其他窒扶斯、猩紅熱、丹毒、痘瘡等

(診候) 舌全部若クハ半部ノ腫大、口外脫出邊縁ノ潰瘍、膿腫、劇痛、流涎、咀嚼及嚥

下困難、頸腺頸下腺ノ腫脹、發熱、下痢等ナリ

(療法) 頸及頸下ノ周圍ニ氷罷法ヲ行ヒ又氷片ヲ嚥下セシム〇其重症ニハ刀ヲ以テ

舌背ニ深キ縱切ヲ行フ〇窒息ノ危險アルトキニハ氣管切開術ヲ施ス〇膿腫

ハ可成早ク之ヲ切開ス〇其他含嗽劑及ヒ下劑等

〇鹽剝

五、〇

水

一〇〇、〇

水

二〇〇、〇

薄荷油

一滴

右含嗽料

〇鹽剝

五、〇

右含嗽料

### 〇膝關節炎

Gonitis.

ゴニチス

(原因) 外傷、痲瘋、結核、淋毒等ナリ

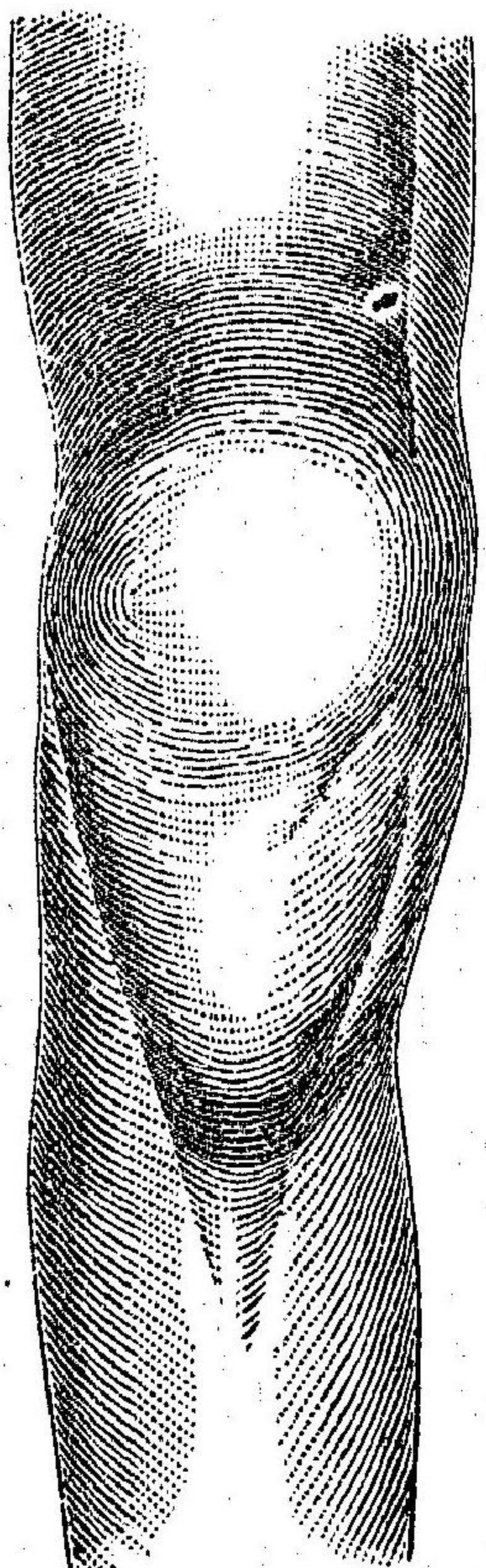
(診候) 起腫、疼痛、波動、屈伸不隨、強直、畸形等其主タルモノトス

健康膝關節ノ外形



圖二十二第

多量ノ滲出液ヲ含メルモノ外形、



圖三十二第

舌炎 膝關節炎

(譯候) 漿液性膝關節炎ハ概子良、化膿性膝關節炎及結核性膝關節炎ハ療法其時期ヲ失シ或ハ其治方宜シキヲ得サレバ不良

(療法) 急性ナル者ハ靜臥セシメテ患肢ヲ地平位ニ置キ氷罨法ヲ行フ可シ而シテ疼痛ノ緩解セル後ニハ有窓固定繃帶(大轉子ヨリ足ノ上方)若クハフラ子ルノ壓定繃帶ヲ施スベシ○慢性滑液膜炎ニ在テハ沃度加留膜沃度軟膏ノ貼用若クハ穿刺術及ヒ沃度ノ皮下注射ヲ行ヒ或ハ按摩ヲ施ス可シ結核性ニハ可及的速力二十%殺菌沃度仿護個里設林ヲ關節内ニ注入スベシ其用量ハ年齡ニ從ヒ毎二週乃至四週二、〇乃至一、〇〇ナリトス○諸法無効ナルハ關節切除術、切斷術ヲ施ス(殊ニ大人ニ)

沃度丁

右爲軟膏外用

五倍子丁

各一〇、〇

沃度

〇、五

右調和塗布料

各一〇、〇

沃剝

五、〇

イヒチカール

五、〇

單軟膏

五〇、〇

華攝林

各二五、〇

右爲軟膏外用

五〇、〇

### 吐血

Haematemesis.

クヤマシキ

(原因) 胃潰瘍、胃痛、或ハ月經閉止、心肺肝等ノ疾病ニ關スル胃粘膜ノ鬱血、或ハ腐

蝕藥ノ嚥下等ナリ

(診候) 胃部ノ壓重、疼痛、痞滿、嘔吐及ヒ吐血ニシテ其色黒シ中ニ食物ノ殘渣ヲ含ムヲ常トス便中血液ヲ混スレハ診斷愈々正確、此血液ハ酸性

(療法) 原病ニ注意シ而シテ安褥ニ地平位ノ仰臥ヲナサシメ可及的運動ヲ戒メ又始メ二十四時間ハ凡テ飲食ヲ禁シ此時間ヲ經テ始メテ牛乳ヲ煮沸シテ後冷却却氷水ノ如クナレル者ヲ食匙ニテ少量宛與ヘ數日後ニ他ノ流動性滋養食ヲ取ラシム、氷水或ハ氷片ヲ嚥飲セシメ兼テ胃部ニ氷罨法ヲ行フテ効アリ○失神ニハ顔面ノ冷水灌漑ヲ行ヒ或ハ醋酸依的兒若クハ依的兒ノ塗擦或ハ依的兒樟腦精ノ(三倍ノ者)皮下注射ヲ行フ○脈搏強實ナルハ莫兒比涅ノ皮下注射ニ由テ嘔吐ヲ鎮靜スヘシ○口ヨリ滋養物ヲ取ラシムルコト能ハサル者ニハ滋養灌腸ヲ施スヘシ(四〇〇、〇ノ細挫牛肉及ヒ一〇〇、〇ノ肉糜ニ熱湯ヲ加ヘ挫捏シテ粥糲物ト爲セル者一日二三回ニ分テ之ヲ灌腸ス)

鉛糖

〇、二

餽水

一〇〇、〇

鹽臭

〇、一

右十五分間煮沸殺菌シテ後其溫液ヲ腹部皮下ニ注入ス

白糖

二、〇

右研和散十包ニ作り毎二時一包

〇 二%ゲラチン

白膠

一、〇乃至二、〇

食鹽水

一八〇、〇

食鹽

〇、六

メシタ水

一〇〇、〇

吐血

單舍 二〇、〇  
 右一日三回二日分服

麥角越 各一〇、〇  
 芳香硫酸 各一〇、〇  
 右調和十乃至三十滴ヲ一酒盞ノ  
 水ニ加ヘテ頻々飲用

過格魯兒鐵液 一〇、〇  
 右一回毎五滴糖水ニテ用フ

其他「エルゴチン」〇、〇三乃至〇、〇五  
 或ハ〇、一ノ皮下注射ヲ行フテ効アリ  
 急激ノ失血ニ由テ虚脱ニ陥ラントスル  
 者ニハ温食鹽溶液ノ注入ヲ行フ

食鹽 四、〇  
 炭酸那節留謨 五、〇

---

水 五〇〇、〇  
 右調和攝氏三十九度 温メ靜脈  
 内或ハ皮下注入料但シ空氣ノ竄  
 入セサル様注意スヘシ

小兒ノ吐血ニハ左ノ内服藥ヲ處ス

明礬 〇、五  
 水 五〇、〇  
 單舍 一〇、〇  
 右調和毎五分時一茶匙

過格魯兒鐵液 一、〇  
 水 五〇、〇  
 橙皮舍 一五、〇  
 右調和毎半時一小兒匙

○血尿

Haematurie. (マリー)

〔原因〕腎臟出血（打撲、創傷、楔狀梗塞、腎臟炎、猩紅熱、窒扶斯、痘瘡、血友病、壞血病、痛腫、結核、腎臟結石）膀胱出血（膀胱粘膜炎ノ損傷、膀胱結石、膀胱ノ痛腫）

結核菌毒膏の列並油等ノ刺戟性藥品ノ濫用出血性體質ニ發スル諸病（尿道出血（外傷、劇甚ナル淋毒性尿道炎等）

〔療法〕原因ヲ明ニスルコト肝要ナリ而シテ出血ノ尿道、膀胱、腎臟等其何レヨリ來レルヤチ檢ス可シ凡テ安息靜臥ヲ守ラシメ飲食ヲ節シ冷褻法ヲ施シ又淋病ニハ其注射ヲ止ム〇白膠ノ注入モ亦タ効アリ（吐血ノ條ヲ參照）膀胱出血ニハ左ノ諸方ヲ處ス可シ

麥角浸 (六、〇)二〇〇、〇  
 右一日六回二日分服

過格魯兒鐵液 二、〇

桂皮水 二〇〇、〇  
 桂皮舍 二〇、〇  
 右調和毎二時一食匙

麥角越 一、〇  
 白糖 二、〇

右研和散五包ニ作り毎三時一包

阿片末 一、〇  
 白糖 二、〇

---

水 各五、〇  
 右調和濾過シテ其液ヲ皮下注射  
 ニ用フ（一日三回毎三分一筒）

ヒドラスチス流動越 各三〇、〇  
 マラセン酒 一五、〇  
 桂皮舍 一、〇

右二乃至五時毎二乃至三茶匙

赤色規那煎 (一〇、〇)一〇〇、〇  
 蘇木越 一、〇  
 桂皮舍 二〇、〇

血尿

右調和毒二時一食匙  
腎出血ニハ左方ヲ處ス  
○ 麥角越

鞣酸 各〇、五  
白糖 二、〇  
和研和散五包ニ作り毎三時一包

○ 咯血 Haemoptoe. ハモプトエ

〔原因〕肺結核、肺壞疽、肺「ヂストマ」、肺腫瘍、急性氣管支加答兒、肺炎、肺ノ鬱血、出血性肺硬塞等ナリ

〔診候〕出血ハ咳嗽ニ伴フ胸内溫液涌湧ノ感ヲ前驅シ其血液ハ鮮紅色ニシテ泡沫ヲ含ミ亞爾加里性ナリ但シ出血性硬塞即チ楔狀出血ニ在テハ咳嗽ニ呼吸困難ヲ伴ヒ煤色痰ヲ血中ニ混ス且熱候ナシ其血液多クハ黒塊ヲナスモノナリ

〔療法〕患者ヲシテ地平位ノ仰臥ニ於テ安息靜止セシムルコト殊ニ緊要ナリ故ニ談話モ尙ホ之ヲ禁シ胸部ニ氷罨法或ハ「ライテル」氏冷却器ヲ置キ氷片或ハ「アイスクリーム」ヲ與ヘ溫食物ヲ禁シ過宜ノ攝生ヲ命シ酒色ヲ戒メ興奮ヲ慎マシメ而シテ新鮮空氣中ニ滋養物ヲ與ヘ○打診ヲ施スベカラズ

○ 麥角浸 (八、〇)二〇〇、〇  
桂皮丁 五、〇  
右每二時一食匙宛(振盪スベシ)  
○ 鹽莫 〇、〇五  
白糖 各二、〇  
右研和散五包ニ作り毎二時一包  
白膠 一、〇乃至二、五

食鹽 〇、六  
餹水 一〇〇、〇

右咳嗽發作時十乃至十五滴水ニテ用ユ

○ 右十五分間煮弗殺菌シテ後其溫液ヲ腹部皮下ニ注入ス

○ 鹽莫 〇、〇五  
鞣酸 各二、〇  
白糖 各二、〇  
右研和散五包ニ作り毎二時一包

○ 二%ゲラチン食鹽水 一八〇、〇  
メント水 一〇、〇

○ ストロファンツス丁 各一〇、〇  
杏仁水 各一〇、〇  
右毎日二回二十滴(心悸亢進ニ)

○ 單舍 二〇、〇  
右一日三回二日分服

○ 實莖葉末 〇、〇二  
鹽莫 〇、〇五  
明礬末 各二、〇  
白糖 各二、〇  
右研和散五包ニ作り毎二時一包

○ 阿片 〇、一  
鉛糖 〇、二  
白糖 二、〇

○ 右研和散十包ニ作り毎二時一包

○ 鹽莫 〇、〇三  
杏仁水 一〇、〇

○ 麥角酸 各一、五  
鞣酸 〇、〇五  
水製阿片越 〇、〇五

○ 杏仁水 一〇、〇  
右咳嗽發作時十乃至十五滴ヲ一盞ノ水ニ和シ用ユ

○ 脈搏頻數ナルトキ

○ 鹽酸ヘロイン 〇、〇一  
杏仁水 一〇、〇

○ 水製阿片越 〇、〇五

甘草越	適宜	偲里設林	一〇、〇
右二十粒ニ作り毎三時一粒		右調和皮下注射料	
過格魯兒鐵液	一、〇	鹽莫	〇、一
水	一〇〇、〇	硫酸亞篤羅必涅	〇、〇〇五
阿片丁	十滴	錫水	一〇、〇
桂皮舍	二〇、〇	右半筒乃至一筒皮下注入	
右調和半時一食匙		咯血連續止マサル者ニハ	
岩黃越	一、〇	的列並底油	八滴
鹽莫	〇、一	右膠囊ニ入レ毎三時二囊	
茴香油糖	二、〇	的列並底油	
右研和散十包ニ作り毎二時一包		扁桃油	各五、〇
過格魯兒鐵液	一、〇	亞拉昆亞護膜漿	各二〇、〇
水	二〇〇、〇	單舍	二〇〇、〇
右調和吸入料		水	
麥角越	一、〇	右調和每時二食匙	
水	一〇、〇		
右調和皮下注射料			
麥角越	一、〇		

○痔疾

Haemorrhoiden. (モロイラン)

(原因) 肛門及直腸内靜脈ノ還流ヲ妨グル諸件即常習便秘、直腸加答兒、子宮、卵巢、膀胱、攝護腺腫瘍、子宮轉位、妊娠、肺、肝、心諸病ニ因スル血行障礙等

(診候) 初期ニハ頭重、眩暈、不眠、消化不良、薦骨痛、下腹壓重、直腸内壓重、肛圍痒、癢疼痛灼熱シ後ニハ暗赤色ノ結節(痔核)ヲ生シ上圍時ニ痔血或ハ粘液性濃汁若クハ粘液ヲ混シタル血液ノ排出等

(療法) 下劑ヲ用ヒテ便通ヲ整然且ツ容易ナラシムルコトニ注意シ而シテ飲酒及ヒ身體ノ勞動ヲ禁シ唯整然タル一定ノ散步ヲナサシムベシ○脱痔ハ可及的之ヲ復位スルヲ宜トス○炎症狀ヲ發シタルモノニハ氷囊ヲ敷カシメ又直腸出血ニハ安臥ヲ命シテ氷罨法ヲ行ヒ或ハ坐藥冷坐浴等ヲ施シテ効アリ○近時ハ直腸内溫湯注射ヲ有効ナルモノトシテ賞用ス又々溫罨法及ヒ毯布ヲ用非テ其効ヲ奏スルコトアリ○痔核ヲ除去スルニハ局處麻醉ヲ施シ「アラアツツ」注射器ヲ以テ石炭酸偲里設林ヲ(二倍乃至三倍)痔核ニ注入ス但シ其周圍ノ粘膜ヲ腐蝕セザル様注意ス可シ石炭酸偲里設林量ハ痔核ノ大小ニ從ヒ二乃至五滴ヲ用ヒ若シ一回ニテ治セサルトキハ二三週ノ後更ニ注射ヲ行フモ通常一回ノ注射ヲ以テ足ルモノトス而シテ注射後ハ流動性食物ヲ與ヘ阿片ハ之レヲ用非ス却テ瀉腸ヲ行フ○又々局處麻醉或ハ全身麻醉中「シモン」氏鏡

痔疾

ニテ結節ヲ露出セシメ痔核鉗子ヲ以テ核ヲ撮ミコランゲンベツク氏翼狀鉗子ヲ以テ之ヲ鉗シ後燒灼器ニテ徐々ニ結節ヲ炭化ス可シ而シテ沃度仿謨ガセヲ貼シ丁字帶ヲ施シ一週ノ後苧麻子油ノ下劑ヲ與ヘ或ハ浣腸シ二週間就禪安靜ヲ命ズ

- 複方大黃散 五〇、〇
- 右每夕一乃至二茶匙
- 重曹 一〇、〇
- 大黃末 五、〇
- 茴香油 三滴
- 白糖 三〇、〇
- 右每夕一茶匙宛水ニテ用ユ
- 精製硫黃 一〇、〇
- 重酒石酸加爾謨 一〇、〇
- 薑根舍利別 各一五、〇
- 橙皮舍 各一五、〇
- 右爲醃劑一茶匙宛
- 沈降硫黃
- 煨製麻備涅矢亞
- 純精酒石 各一五、〇
- 茴香油糖 二〇、〇
- 右一日一回乃至三回一茶匙宛
- 硫酸鐵
- 蘆薈末 各一、〇
- 葛蒲越 適宜
- 右調和丸二十粒ニ作り朝夕二粒
- 明礬 各一〇、〇
- 鞣酸 適宜
- 柯々阿脂 適宜
- 右調和坐藥十個ニ作り肛門挿入
- (出血ノ際)
- 阿片越 一〇、二
- 刺納林 一六、〇

- 華攝林 四、〇
- 右調和軟膏ニ作り貼用
- 十倍オルトホルム軟膏 二〇、〇
- 右外用(鎮痛)
- イヒチオール 一〇、一
- 沃度仿謨 一〇、三
- 柯々阿脂 二、〇
- 右爲坐藥與三個一日一個
- 葦若越 〇、五
- 沃度仿謨 各〇、一
- 醋酸鉛 一〇、〇
- 華攝林 右爲軟膏外用
- 鹽莫 〇、〇一
- 柯々阿脂 二、〇
- 右爲坐藥與三個一日一個
- 葦若越 〇、〇一
- 柯々阿脂 二、〇
- 右爲坐藥與三個一日一個
- 沃剝 二、〇
- 沃度 〇、二
- 右爲坐藥與三個一日一個
- タンノホルム 〇、二
- 葦若越 〇、〇一
- 柯々阿脂 二、〇
- 右爲坐藥與四個毎日二回一ケ宛
- 麥角越 一、〇
- 水 一〇〇、〇
- 右調和糞法料(脫出痔核ニ用非テ効アリ)
- 苦利沙羅並 〇、八
- 沃度仿謨 〇、三
- 葦若越 〇、六
- 華攝林 二五、〇
- 右調和軟膏ニ作り先ツ五十倍ノ石炭酸水ヲ用非痔核ヲ洗滌拭乾ノ後布片ヲ用テ塗擦ス(注意)

偏里設林

三五〇

華攝林

各五〇、〇

右棉花ニ浸シ患部ニ貼用ス毎二

右軟膏ニ作り先ツ石鹼ヲ以テ患

時乃至三時ニ交換スヘシ

部ヲ擦拭シタル後塗布ス

〇 鹽酸吉加乙涅 〇、三乃至〇、五

其他牛乳療法、加兒爾斯泉鹽等

刺納林

〇 夜盲症

(網膜不敏症)

Hemeralopie.

〈ナルコー

(原因) 營養不良ナルモノニ流行性ナルコトアリ(監獄等ニ於テ多シ)強烈ナル光線

ニ基クモノアリ、分娩前後ニ發スルモノアリ夏期幼者ニ發スルコト多シ

(診候) 黄昏ニ至レハ視力忽チ減シ殆ンド盲人ノ如シ然レトモ一タビ燈光ニ對スレ

バ又俄ニ視力増加ス初メ眼底ヲ檢スルニ著明ノ變化ヲ認メズ

(療後) 概テ良但シ角膜軟化症ヲ續發スレバ不良

(療法) 肝油、最モ効アリ其他安知必林、規尼涅、鐵劑ノ内服又々食餌的療法トシテ

鶏肝、牛肝、鰵等ヲ與ヘテ効アリ

〇 偏頭痛

Hemikranie.

ヘミク

Migraine.

ミグ

(原因) 遺傳、神經衰弱、過勞、月經異常、貧血、萎黃病、比私的里、悲哀、憤怒、麻拉里

亞、優麻質斯、便秘等ニシテ女子ニ多シ

(診候) 不快、眩暈、耳鳴、眼火因發、惡心、欠伸等ヲ前驅症トシテ偏側頭痛(左側ヲ多

シトス)ヲ發シ音響光線ニ對スル知覺過敏、惡心嘔吐ヲ發ス而シテ瞳孔縮

小、患側頭部ノ潮紅及ヒ溫度上昇、顫動脈ノ怒脹スルモノト(脈管痙攣性

偏頭痛)又或ハ瞳孔散大、患側頭部ノ蒼白色トナリ其顫動脈ノ硬索狀ニ隆

起スルモノ(脈管痙攣性偏頭痛)トノ二種アリ

(療後) 生命上ノ豫後ハ良ナルモ根治シ難シ但高齡及月經閉止期ニ治スルコトアリ

(療法) 血液及ヒ消化器ニ關スル諸變常ヲ除キ精神ノ興奮ヲ避ケ殊ニ發作中ハ可及

的安息靜養ヲ命シ其室ヲ暗クシ頭部ニ熱キ布ヲ貼シ偏頭痛桿(メントー

ル)ヲ以テ額ヲ摩擦スベシ 〇藥劑ニハ撒酸劑、規尼涅、咖啡涅、臭剝等ノ内

用其他感傳電氣或ハ刺戟性脚湯或ハケルン水ノ頭部洗滌或ハ依的兒ノ頭

部點滴及ヒ按摩法等用井テ効アリ 〇劇痛ニハ莫比ノ皮下注射ヲ行フ

〇 撒曹 右同上

〇 右爲一包與三包發作時一包 〇 アスピリン 一、〇

〇 サリピリン 一、〇 右同上

〇 右爲一包與三包發作時一包 〇 咖啡涅 〇、一

〇 ザロール 一、〇 乳糖 〇、三

〇 右同上 〇 鹽規 右爲一包與三包一日三回一包宛 〇、五

〇 ザロフエン 一、〇

夜盲症 偏頭痛



白糖 二、〇  
右三包ニ作り發作十五分前ニ用  
フ

臭素酸咖啡涅 一、〇  
白糖 二、〇  
右研和散十包ニ作り朝夕每一包  
枸橼酸咖啡涅 一、〇  
「フエナセチン」 二、〇  
白糖 一、〇  
右研和散十包ニ作り澱粉囊ニ包  
ミ毎二乃至三時一包 五、〇  
貌羅謨加留謨 一八〇、〇  
水 二〇、〇  
單舎 五、〇  
右調和一日三回毎二食匙  
安知必林 五、〇  
右散五包ニ作り發作ノ始メニ當  
リ一時間ヲ隔テ一乃至三包

---

ザローフエン 〇、五—一、〇  
右爲一包三包一日三回分服  
ラクトフエニン 〇、五—一、〇  
右爲一包同上  
アンチチルウヰン 各〇、五  
白糖 各〇、五  
右爲一包與十包毎二時一包  
疼痛ノ初期ニハ撒曹一、〇ヲ用ヒ疼痛  
止ムニ至ルマテ每一時一、〇ヲ服用ス  
但シ耳鳴ヲ發スレバ之ヲ止ム又一茶匙  
ノ食鹽ヲ用フルコトアリ

撒曹 各一、〇  
薄荷油糖 右爲一包與三包發作時一包  
薄荷腦 一、〇  
阿列布油 〇、五  
刺納林 八、五  
右爲軟膏額及顛額部ニ塗擦ス

顔面蒼白ニシテ脈小ナル者ニハ

○ 亞硝酸亞密爾

右一乃至五滴ヲ布片ニ滴下吸入

○ ニトログリリセン

〇、五

餉水

右先ツ一二滴ヲ用ヒ三分ノ後更

ニ二三滴ヲ用ユ

### ○ 歇兒尼亞

Hernia. ヘルニア

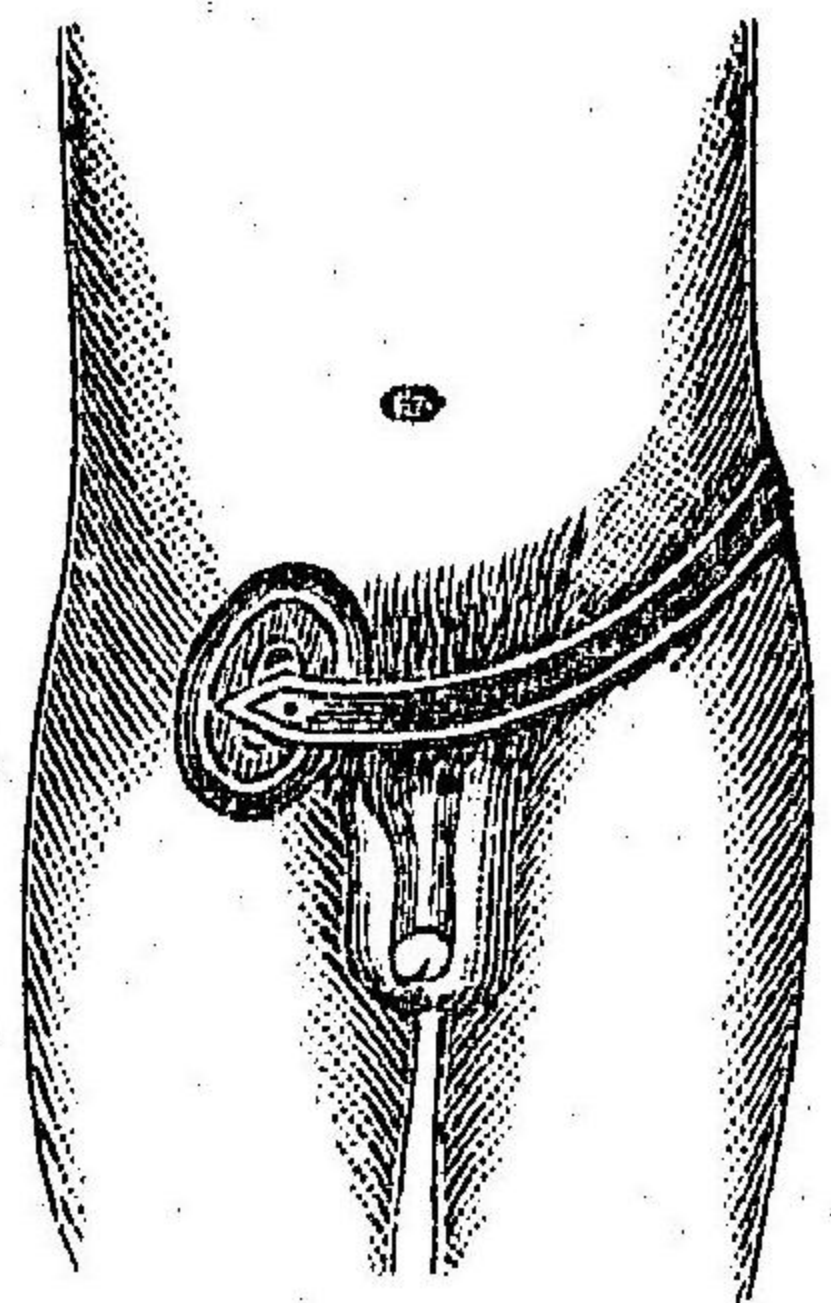
(病因) 先天性歇兒尼亞ハ先天性發育不全ニ基シ後天性歇兒尼亞ハ腹腔内壓ヲ増加  
スルノ諸件即チ重物扛舉劇甚ナル咳嗽、號叫、努責等ニ因ス男子ハ婦人ヨリ  
多キト四倍ナリ而シテ鼠蹊歇兒尼亞ハ八十%股歇兒尼亞ハ十%膺歇兒尼亞  
ハ五%ヲ算スル比例ナリ (陸軍省醫務局年報ニ曰ク明治廿年ヨリ廿二年ニ  
至ル三年間ノ徵兵適齡者ニ就キテ算スルニ百四十四人中一人ノ「ヘルニア」  
患者アル比例ナリ)

(診候) 還納性ヘルニア、ニ在テハ起立、歩行、咳嗽等ノ際腹腔ヨリ一定ノ部(臍ヘル  
ニア、腹壁ヘルニア、外鼠蹊ヘルニア、内鼠蹊ヘルニア、股ヘルニア、閉鎖ヘ  
ルニア、坐骨ヘルニア、會陰ヘルニア、ノ別アリ)ニ腫瘍ノ如キモノ現出シ  
(打診音ハ通常鼓音)而シテ患者靜臥スルトキハ腹内ニ還納ス其還納ノ際指  
頭ヲ共ニ送ルトキハ「ヘルニア」門ヲ觸知ス該門大ナルキハ指頭ヲ腹内ニ達  
セシムルヲ得ベシ○不還納性「ヘルニア」ハ「ヘルニア」嚢ト内容トノ癒着

歇兒尼亞

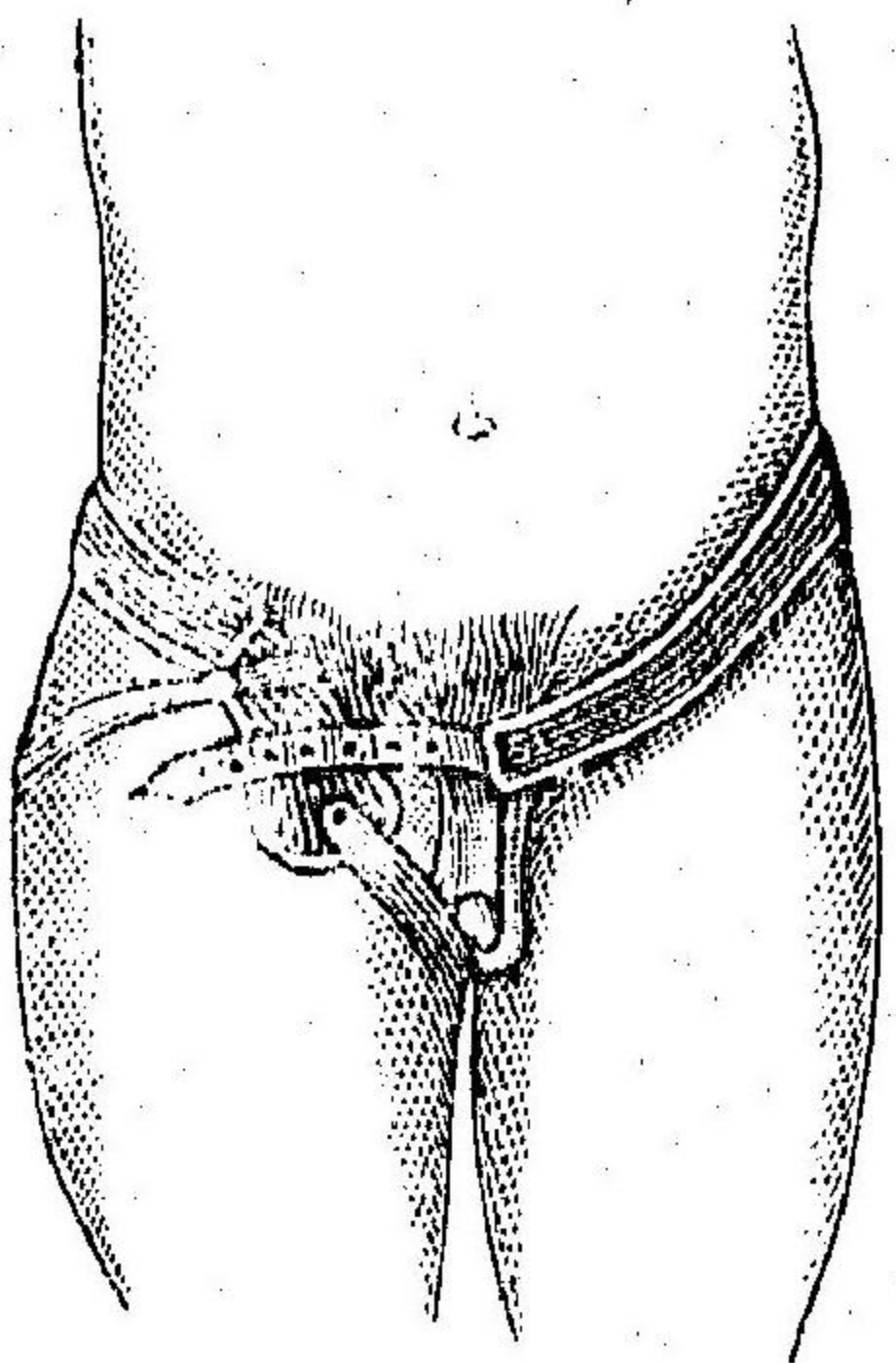
シタルトキ或ハ囊内網膜肥厚シタルトキ或ハ盲腸若クハS字狀部ノ其附屬腸間膜ト共ニ「ヘルニア」囊内ニ入りテ移動シ難キハ或ハ「ヘルニア」門及囊頸部大ナルハ或ハ嵌頓シタルトキニ生スルモノニシテ腫瘍狀ノモノ腹腔内ニ退却スルヲナシ○嵌頓「ヘルニア」ニ在テハ「ヘルニア」不還納性トナリ疼痛ヲ發シ皮膚モ亦潮紅腫脹シ便秘、嘔吐、吐糞、發熱、脈搏甚々頻數等、若シ自然ニ還納シ或ハ糞瘻ヲ生シテ自ラ治シ若クハ手術ニ由テ還納シ得タル

獨逸「ヘルニア」帶ニテ鼠蹊「ヘルニア」ヲ固定シタル圖



圖四十二第

英吉利「ヘルニア」帶ニテ鼠蹊「ヘルニア」ヲ固定シタル圖



圖五十二第

場合ヲ除クトキハ卒然心臟麻痺ニ由テ死シ或ハ腸壞疽ヲ起シテ腐敗性腹膜炎ヲ發シテ死ス

(療後) 還納性ハ良、不還納性ハ嵌頓ヲ發スル處多シ嵌頓「ヘルニア」ハ不良ニシテ死亡數二十四%

(療法) 還納性「ヘルニア」ニ在テハ「ヘルニア」ヲ完全ニ還納シタル後直チニ「ヘルニア」帶ヲ用フベシ其「ヘルニア」帶ニテ固定シ克ハザル者ニハ根治手術ヲ

施スベシ不還納性「ヘルニア」ニシテ小ナル者ニハ四窩壓定子ヲ有スル「ヘルニア」帶ヲ施シ或ハ根治手術ヲ用ヒ大ナル者ニハ常ニ根治手術ヲ用ユ○嵌頓「ヘルニア」ニ在テハ先ツ還納法ヲ施ス（但壞疽ノ兆ナキハ）即チ患者ヲ平臥セシメ骨盤ヲ高クシ股及膝關節ヲ屈シ（坐骨「ヘルニア」ニハ下肢伸展、閉鎖「ヘルニア」ニハ下肢屈曲外轉）腹壓ヲ減シ先ヅ「ヘルニア」ノ根帯ヲ撮ミ輕ク之ヲ牽引移動シテ「ヘルニア」門ヨリ疏解ヲ試ミ次ニ雙手ノ指ニテ平等ナル壓ヲ「ヘルニア」根帯ニ加ヘ嵌頓腸管内ノ内容ヲ腹腔内ニ壓送スベシ若シ瓦斯退却シテ「ヘルニア」縮小スレバ還納法其効ヲ奏ス○以上ノ方法ヲ輔ルニ種々ノ法アリ即チ施術前ニ全身溫浴或ハ氈布或ハ氷囊、或ハ依的兒滴下（陰囊、陰莖若クハ陰唇ニ先ヅ油ヲ塗り次ニ每十五分時間ヅ、ヲ隔テ反覆シテ四十五分乃至三時間ノ後ニ至レバ還納容易ナリ）是ナリ○若シ以上ノ定式還納無効ナルトキハ嘔吐妨礙麻酔ヲ行ヒ再ヒ定式還納法ヲ行フ而シテ尙ホ無効ナルトキハ遂ニ「ヘルニア」切開術ヲ行フベシ○嵌頓已ニ久シキヲ經タルモノハ壞疽ノ虞アル以テ直チニ「ヘルニア」切開法ヲ用ユ

○水疱疹 Herpes. ヘルペス

(病因)肺炎、間歇熱等ノ熱性病帶狀疱疹ハ神經節ノ疾病等  
(診候)口圍、鼻邊、唇緣、龜頭包皮、小陰唇等ノ粘膜炎或ハ皮膚ノ軟弱ニシテ知覺過敏

ナル部ニ痒癢及灼熱ノ感ヲ前驅シテ發スル水疱疹○皮膚神經ノ分布區ニ應シテ群生シ神經痛ヲ伴ヒ概テ偏側ニ生ス

(療法)其自然良能ニ任セ唯水疱ノ存在スル間ハ澱粉ヲ撒布シ已ニ痂皮ヲ結ヘル者ニハ脂肪ヲ塗布シテ以テ之ヲ軟化セシメ且ツ適當ノ保護繃帶ヲ施ス

- 酸化亞鉛 右調和含嗽料 各五、〇
- 澱粉 右塗布料 二〇、〇
- 右研和撒布用
- 硼酸 二、〇
- 刺答尼丁 帶狀疱疹ノ疼痛ニハ莫見比涅ノ皮下注射或ハ左方ヲ處ス可シ 五、〇
- 刺納林 右外用 二〇、〇
- 發熱性虹彩形疱疹ニハ左方
- 鹽規 右爲一包與六包一日三回一包 五、〇
- 白糖 華攝林 三〇、〇
- 右調和散五包ニ作り每三時一包
- 右調和軟膏ニ作ル
- 口内ニ發スル虹彩狀疱疹ニハ左ノ處方
- 十倍カルトホルム軟膏 一〇、〇
- 格魯兒酸加留膜 二、〇
- 水 二〇〇、〇
- 覆盆子舎 一五、〇

水疱疹

### ○寄生性匍行疹

*Herpes tonsurans.*

ヘルペス、トンプランス

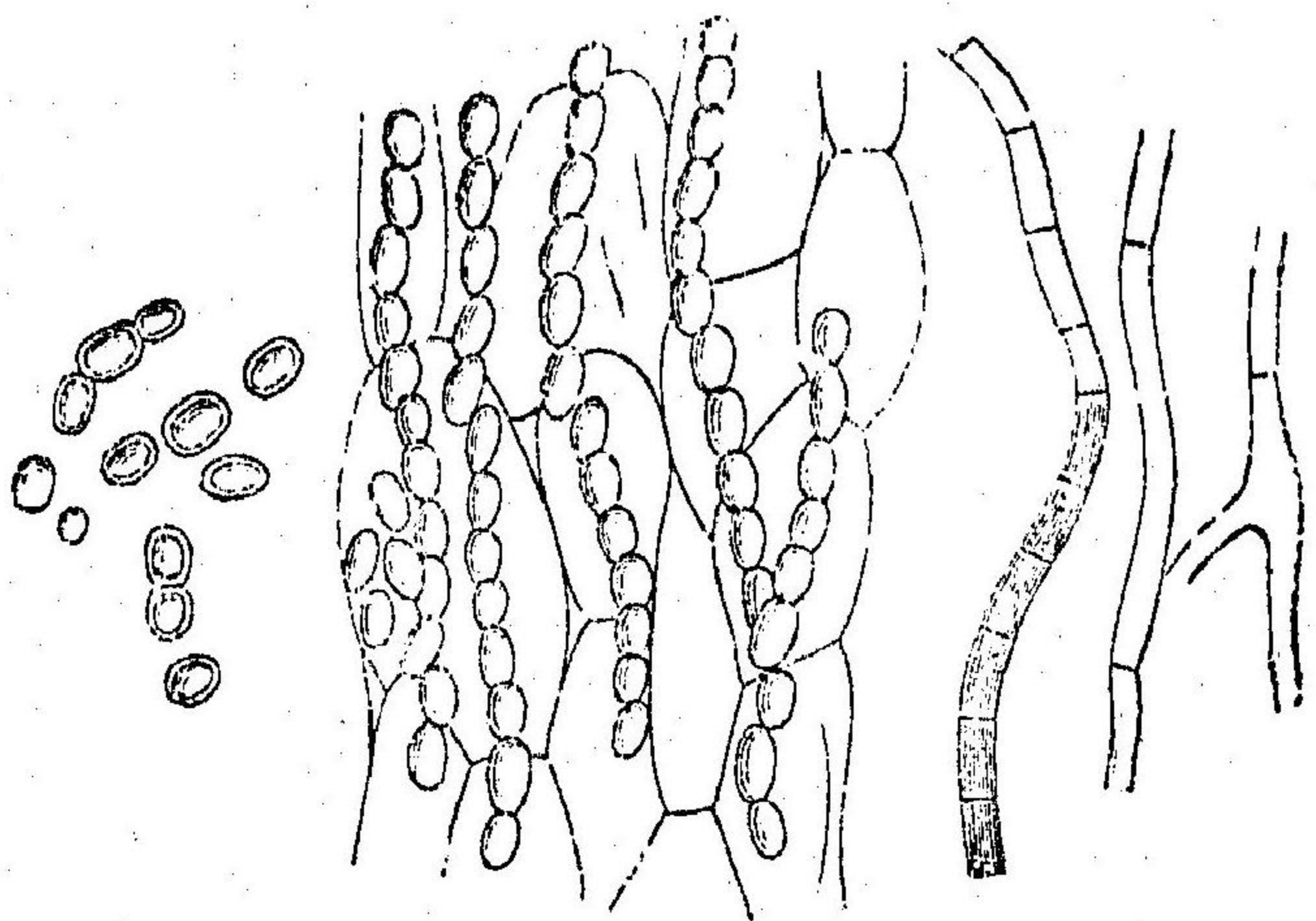
(原因) トリヒョヒートン、トンプランスト名ツクル寄生植物ニ因ス

(診候) 表皮ノ剝脱ヲ伴フ赤色疹ニシテ周圍ニ蔓延シ其痕蒼白色ニ變ス多クハ毛髮ノ有ル所ニ發生シテ其毛髮ヲ荒蕪ス

(療法) 其蔓延尙ホ輕微ナル者ニハ塗擦石鹼軟膏撒布藥等ノ外用ニテ足レリト雖モ廣大ナル者ニハ先ヅ石鹼浴ヲ行ヒ而後石炭酸溶液或ハ撒里矢爾酸液ヲ塗擦次テ更ニ澱粉ヲ撒布ス○頭皮本症ニハ白癬ニ對スル處方ヲ以テス

- エピカリン 二、〇
- 無水亞爾當保爾 二〇、〇
- 右一日一回患部洗滌後塗布
- 十%ナフトール酒精 二〇、〇
- 右外用
- 五乃至十%撒酸酒精 二〇、〇
- 右外用
- 撒里矢爾酸 一、〇
- 精製硫黃 三、〇
- 綠石鹼
- 豚脂
- 右爲軟膏
- 撒里矢爾酸 五、〇
- ルスクス油 二五、〇
- 綠石鹼 一五〇、〇
- 右爲石鹼膏
- 硫黃 一〇、〇
- ベルガモット油 二、〇
- 豚脂 二〇〇、〇
- ルスクス油 各五、〇
- 豚脂 二〇、〇

第 二 十 六 圖



トリヒョヒートン  
トンプランス

(寄生性匍行疹  
ノ原因)四百倍

右爲軟膏	ルスクス油	一〇、〇	澱粉	各五〇、〇
加里石鹼	硫黃乳	二五、〇	石綿末	各五〇、〇
刺賢埴爾精	百露拔爾撒謨	一〇、〇	右調和撒布料	
ナフトール	ナフトール	一五、〇	硼酸	一〇、〇
右調和塗擦料	右調和塗擦料	五、〇	酒精	三〇〇、〇
加里石鹼精	右塗擦用	五〇、〇	丁香油	二、五
右塗擦用	石炭酸		ナフトール	一、〇
刺賢埴爾精	武蘭埴酒	各二、〇	武蘭埴酒	一〇〇、〇
武蘭埴酒	右調和塗擦料	一〇〇、〇	右調和每日二回塗布但二三日間持長	
撒酸	刺賢埴爾精	各二、〇	苛性加里	二、〇
刺賢埴爾精	武蘭埴酒	一〇〇、〇	石炭酸	一、〇
武蘭埴酒	右調和塗擦料	一〇〇、〇	刺納林	九〇、〇
右調和塗擦料	刺賢埴爾精	各二、〇	柯々阿脂	三〇、〇
	武蘭埴酒	一〇〇、〇	右調和軟膏ニ作ル	
	右調和塗擦料	一〇〇、〇	苦利沙羅並	五、〇
			刺納林	二五、〇

豚脂	一〇、〇	酸化亞鉛	五、〇
右刷子ヲ以テ擦入ス (顔面ニハ用ユベカラズ)		華攝林	五〇、〇
苦利沙羅並	二、〇	右調和軟膏ニ作ル	
トラウマチン	二五、〇	白降汞	五、〇
右塗布料(顔面ニハ禁ス)		刺納林	四〇、〇
綠石鹼	一〇〇、〇	華攝林	一〇、〇
ナフトール	二、〇	右調和軟膏ニ作ル	
刺賢埴爾精	一〇、〇	「ウヰルキンソン」氏軟膏「ピロガルス」軟膏ヲ用フ就中軀幹ニ發スル斑狀截髮癩疹ニ用テ効有リ	
皮膚炎ヲ呈スルニ至テハ左方ヲ用フ			

○眼瞼麥粒腫 *Hordeolum* ホルデナールム

(原因) 春機發動期ニ多シ  
 (診候) 睫毛脂腺ノ化膿性炎ニシテ睫毛ノ近傍ニ發生ス麥粒狀黃色ノ尖端ニ露ハレ周圍腫起潮紅シテ痛アリ  
 (療法) 溫韃布(麵包、粥)ヲ貼シ而シテ時期ノ適應シタルモノハ切開シ次テ其蓄膿ヲ漏スヘシ○屢々再發スルモノハ其炎症ヲ呈セサル時間ニ於テ毎夕左ノ

眼瞼麥粒腫

軟膏ヲ外用ニ供シ或ハ參兒ノ塗布ヲ行フ可シ

- 黃降汞 右調和軟膏ニ作ル 一〇、〇〇
- 華攝林 五、〇〇
- 白降汞 右調和軟膏ニ作ル 一〇、〇〇
- 華攝林 五、〇〇
- 右爲軟膏外用 一〇、〇〇
- 赤降汞 〇、二〇
- 緩和軟膏 五、〇〇
- 右調和軟膏ニ作ル 一〇、〇〇
- 硫黃乳 五〇、〇〇
- 武蘭埴酒 一〇、〇〇
- 刺賢埴爾精 一〇、〇〇
- 屈里設林 一、五〇
- 右調和硝子棹頭ヲ用非テ毎夕眼 一、五〇
- 瞼ニ塗布ス

### ○角膜炎

*Hornhaut's übung.*

ホルンハウト  
トリツブング

- (原因) 角膜炎、角膜潰瘍、角膜營養障礙、外傷、鉛製劑ノ誤用經久刺戟等ナリトス
- (診候) 脂肪變性、結締織新生、石灰鹽類ノ沈着等ニ由ル角膜ノ濁濁ナリ其白色ニシテ不透明ナルヲ白斑 (Leucoma ロイノーマ) 稍ヤ灰白色ヲ帶ヒ半透明ナルヲ斑翳 (Macula マクラ) 殆ント透明ナルヲ薄翳 (Mibecula ヌベクラ) ト云フ又白斑ニ虹彩ノ癒着スルモノヲ癒着性白斑ト云フ
- (療法) 淺在性角膜炎ニハ左ノ撒布藥ヲ處スヘシ 右撒布料密閉シテ黑色瓶ニ貯フ

用法ハ毛筆ヲ用テ角膜ニ撒布シ

其量小雲片狀ヲ呈スルヲ度トス

- 黃降汞 〇、〇五—〇、一
- 華攝林 一〇、〇〇
- 沃剝 〇、一
- 重曹 〇、二五
- 鹽水 一五、〇

右點眼料

深在性角膜炎ノ尙ホ透明トナル

ヘキ望アルモノニハ按摩法ニ兼

子テ黃降汞軟膏ヲ點入ス可シ或

ハ其點入ヲ兼子サルモ可ナリ又

一日二三回毎三十分時間ノ溫卷

法ヲ行フコトアリ

不治症ニハ入墨法ヲ行フ可トス

### ○陰囊水腫

*Hydrocele.*

ロドハネー

- (原因) 急性陰囊水腫(急性莖膜炎)ハ外傷、淋毒性副睪丸炎及睪丸炎ニ續發ス○慢性陰囊水腫(慢性莖膜炎)ハ外傷、睪丸炎及ビ副睪丸炎ニ續發シ或ハ先天性ニ發シ或ハ急性ヨリ轉ス

- (診候) 急性炎ニ於テハ潮紅、腫脹、終痛ヲ發シ發熱ヲ伴フ○慢性症ハ陰囊ノ彈力性腫瘍性腫脹ヲ呈シ概子光線ヲ透射ス

○ (療法) 良

- (療法) 急性症ニ於テハ安靜、氷卷法又ハ溫卷法ヲ施シ提睪帶ヲ以テ固定ス可シ又「イヒチオール」軟膏ヲ塗布シテ効アリ○慢性陰囊水腫ニアリテハ先ヅ睪丸

角膜炎 陰囊水腫

ノ位置ヲ確定シ翠丸ヲ傷ケザル様注意シテ套管鍼穿刺術ヲ行ヒ内容ヲ漏ス  
ベシ再發スルトキハ根治的手術ヲ用ユ

### ○水頭症 (腦水腫) Hydrocephalus.

ヒヨロツエンアルス

(原因) 先天性及後天性ノ別アリ又唯腦室内ニノミ水ノ蓄積スル者アリ(腦室水頭  
症) 硬腦膜ト腦髓トノ間ニ水液ヲ含ムモノアリ(腦膜水頭症) 佝僂病或ハ梅毒  
毒ノ遺傳或ハ父母ノ暴酒等ニ因ス後天性ノモノハ多ク一年ノ頃發ス腦膜及  
腦室内膜ノ炎症

(診候) 先天性ニハ頭部頭門及骨縫ノ開大、腦室ノ蓄水擴張等ニシテ後天性ニハ其  
他單純腦膜炎ノ徵候或ハ額大面小、痴鈍、健忘、搖擗等ノ諸症アリ其急性ニ  
來ル者ハ卒倒、麻痺、肝聲音等ノ卒中様諸現症ヲ呈シ慢性ニ來ル者ハ嗜眠、  
失語五感鈍麻及譫語等ノ諸徵候ナリ

(療法) 急性症ニハ腦膜炎或ハ腦充血ニ於ケルカ如ク氷罨浴、冷水灌漑法、刺戟灌腸  
等ヲ行フ○小兒ノ慢性腦水腫ニハ佝僂病及ヒ腺病ノ治則ヲ要スルカ故ニ適  
當ノ滋養ヲ與ヘ市外ノ空氣ヲ呼吸セシメ良性ノ母乳、鐵、肝油等

○沃度仿謨 一、〇乃至二、〇 右調和塗布料(前額、額顙及頭部  
古魯胃謨 一〇、〇 二毎日數回)

第 二 十 七 圖



頭 水 症

- 含精炭酸鐵 〇、五
- 白糖 二、〇
- 單舍 一五、〇
- 右研和散十包ニ作リ朝夕每一包 右調和每時一小兒匙
- 沃度那篤留謨(或ハ沃刺) 三、〇
- 白糖 一、〇
- 水 一〇〇、〇
- 甘汞 五、〇
- 白糖 五、〇
- 右十包ニ作リ毎日三乃至四包

頭水症

二八九

### ○腦充血

*Hyperaemia cerebri.*

ヒペレミア・ケレブレリ

(原因) 實性虚性ノ別有リ實性充血即積血ハ心悸亢盛、腦及軟腦膜ノ炎症、營養障礙或ハ卒中實ノ血族、暴酒、精神過勞、便秘、胃病、經閉、側枝血行障礙等ニ來リ虚性鬱血ハ肺萎、肺氣腫、肺勞、強劇ノ咳嗽、咽頭狹窄、心瓣膜病、脂肪心、心臟麻痺、腦脈管交感神經麻痺等ナリ

(診候) 要スルニ積血ニ在テハ前頭及顔面熱約潮紅、耳鳴、結膜充血、瞳孔縮小、眼火閃發、頸動脈及顛顛動脈ノ搏動、脈搏疾速硬實、頭痛、譫語、搖擗、痙攣其他腦卒中様ノ徵候等ニシテ鬱血ニ在テハ頭痛、耳鳴、眼火閃發等ノ諸症ナレハ結膜充血顔面潮紅等ナク皮膚冷蒼ナルヲ常トス

(療法) 良ナルモ急性發作中ニ死スルコト無キニ非ラズ又慢性ハ原因ニ依テ異ナリ(原因療法) 主トシ酒、茶、珈琲ヲ禁シ房事ヲ慎マシメ便通ヲ整ヘ凡テ心身ノ過勞ヲ禁ズベシ而シテ重キ發作アルハニハ頭部ヲ高ク安臥セシメ其病室ヲ暗クシ是ニ於テ瀉血或ハ頭部及心臟病ノ氷罨法ヲ行ヒ四肢ヲ温包シ峻下劑ヲ投シ或ハ灌腸ヲ施ス

- 甘汞 各〇、五
- 乳糖 右爲一包頓用
- 水蛭 六條
- 芥子末 右顛顛部或ハ耳後ニ貼用スベシ 一〇〇、〇

- 芥子末 右三乃至四食匙ヲ脚湯ニ加ヘテ 脚浴ヲ施ス
- 微温湯 等分

### ○結膜充血

*Hyperaemia conjunctivae.* ヒペレミア・コンユクチーフエー

(原因) 塵埃、風烟、結膜囊内異物、眼ノ過勞等

(診候) 結膜血管充血、灼クカ如ク又々刺スカ如ク或ハ異物アルガ如キ感ヲ訴ヘ久シク執務ヲ持續スルコト不能(結膜性眼精疲勞) 分泌物ハ少キヲ常トス但シ眼球結膜ヲ侵スニ至レバ分泌物多量ナリ

(療法) 原因ヲ除去センコトヲ要ス其他左方ヲ與フ

- 二%古加乙涅水 各五、〇
- 右點眼科 右一日一乃至三回點眼スベシ
- 一%古加乙涅水 各五、〇
- 六%明礬水 阿片丁 十滴
- 右一日三回點眼科 右同上
- 皓礬 一〇、〇
- 茴香水 二五%硝酸銀水 一〇、〇

腦充血 結膜充血



右黑色瓶ニ貯ヘ一日一回點眼ス

メシ

### ○妊婦嘔吐 (惡阻)

(惡阻)

*Hyperemesis gravidarum.*

ヒペレメーシス・グライヴイダールム

(原因) 妊婦ノ神經質、虛弱、萎黃病患者ニ來リ或ハ子宮收縮ニ關スル胃交感神經ノ反射的刺戟ヨリ來ル

(療法) 輕症ナル者ニハ亞爾加里性礦泉(「セルテル」水等)ヲ飲用セシメ便通ヲ利シ勉メテ身體ノ運動ヲナサシム可シ○其稍々重症ニシテ營養ノ不良ナル者ニハ氷片、「コンニヤック」酒シヤンパン酒等ヲ與フ可シ○其重症ニシテ毫モ食物ヲ取ルコト能ハサル者ニ在テハ滋養灌腸ヲ行ハサル可ラス○頑固ナル症ニハ子宮腔部ニ十倍ノ硝酸銀液ヲ塗布ス可シ○諸法皆効ナク患者衰弱ニ陥井ラントスルトキハ最後ノ療法トシテ墮胎法ヲ行フ

- 稀酸攝留膜 〇、〇三
- 乳糖 〇、〇五
- 薄荷腦 〇、〇一
- 右三包ニ分チ一日三回一包宛 〇、〇一
- 半夏浸 〇、〇五
- 右爲三包一日三回一包宛 〇、〇一
- 生薑 (二四、〇)一八〇、〇
- 單舍 二〇、〇
- 嘔囉仿謨 〇、〇一
- 水 一〇〇、〇
- 右調和嘔吐後十乃至二十滴

- 鹽莫 〇、〇二
- 冰醋酸 適宜チ加ヘテ溶解シ更ニ
- 嘔囉仿謨 五、〇
- 純亞爾儲保爾 一五、〇チ加ヘ
- 右調和五滴糖水ニ和ス
- 鹽酸古加乙涅 〇、〇三
- 白糖 三、〇
- 右十包ニ作り一日二乃至三回一包
- 沃丁 十滴
- 餛水 一五〇、〇
- 右每二時一食匙砂糖水ニ和シテ用ユ
- オレキシシ 〇、〇三
- 右爲一包與六包一日三回一包宛
- レゾルチン 二、〇
- 餛水 一八〇、〇
- 單舍 二〇、〇
- 右每二時一食匙
- 結麗阿曹篤 二十滴
- 醋酸 四十滴
- 硫莫 〇、〇六
- 餛水 六〇、〇
- 右一日數回一茶匙ヲ水ニテ用フ
- 薄荷腦 一、〇
- 酒精 二〇、〇
- 水 一五〇、〇
- 右調和每時一食匙

### ○多汗症

*Hyperidrosis.*

ヒペリドロシス

(原因) 交感神經ノ疾患ニ係ル皮膚血管神經ノ變常ナリ

(診候) 身體中殊ニ手足腋窩及臀部等ニ於テ異臭ノ汗ヲ多量ニ分泌ス

妊婦嘔吐 多汗症

(癩瘡) 澱粉ヲ皮膚ニ撒布シ可及的之ヲ乾燥セシメ陰部及腋窩ニハ先ツ綿花ヲ挿入シテ軋爛ヲ防ク可シ○足汗ニハ輕キ靴ヲ擇ヒ其内ニ澱粉末ヲ撒布スヘシ又屢々冷水洗滌、鞣酸浴、昇汞浴、懈皮煎浴等ヲ用井テ効アリ

○ベタナフトール

一〇、〇

キハ禁ズ

○ケルン水

一五、〇

○格魯謨酸

三、〇乃至五、〇

○酒精

一七五、〇

○亞爾箇保爾

各五〇、〇

○右洗滌料(手ノ多汗症、カホジ一氏)

水

各五〇、〇

○鞣酸

一、五

右調和足趾及ヒ趾間ノ皮膚ニ塗布八乃至十四日毎ニ履ス(皮膚ニ表皮剝離アルトキハ禁ズ)

○レゾルチン

一、〇

○ツメノール

一〇、〇

○酒精

五〇、〇

○グリセリン

各四五、〇

○右塗布料一日數回(手ノ多汗症)

水

各四五、〇

○撒酸

一、〇乃至二、五

○右塗布料

各四五、〇

○澱粉

五〇、〇

○タンノホルム

一〇、〇

○右混和撒布料

五〇、〇

○右撒布料

一〇、〇

○右混和撒布料

二〇、〇

○歇親拉氏軟膏

五〇、〇

○四十%フォルマリン

二〇、〇

○右足趾、塗布料(表皮剝離アルトキハ禁ズ)

右毎夕貼用但シ晝間ハ撒布藥

○ナフトール

五、〇

○醋酸礬土

二五、〇

○酒精

一〇〇、〇

○水

二〇〇、〇

○偏里設林

一〇、〇

○右調和洗滌料

五、〇

○右調和毎日一二回趾面ニ塗布シテ更ニ其上ニ澱粉ヲ撒布ス

○單寧

二五〇、〇

○澱粉

五〇、〇

○右洗滌料

各五、〇

○ナフトール

一、〇

○イヒチオール

各五、〇

○右混和撒布藥

五、〇

○的列並底油

一〇、〇

○硼酸末

二五、〇

○亞鉛華軟膏

一〇、〇

○華攝林

二五、〇

○右塗擦料(塗擦前ハ先ツ樟腦丁幾ヲ以テ塗擦シ置クヲ要ス)

○右調和軟膏ニ作ル

### ○比斯的利

Hysteria.

ヒンテリン

(原因) 多數ハ遺傳的ナリ即チ精神病、神經病ノ患者、罪人、奇人等ノ子孫ニ發ス其他外傷月經異常、萎黃病、貧血、喜怒哀樂等精神ノ感動、生殖器病ノ反射的作  
用鉛、アルコホル、煙草、水銀ノ中毒等其因ニシテ婦人ニ多シ然レトモ亦男子ニモ之ヲ發スルコト有リ

(診候) 些細ノ誘因ニ來ル悲憤哀憂等精神感動ノ變化不定○五官ノ障害例令ハ視野

比斯的里

二九五

縮小、色盲、弱視、黑内障、耳鳴、難聽、聾、嗅味兩神ノ變常○知覺ノ障害皮膚知覺亡失ヲ全身ニ或ハ半側ニ或ハ一定部ニ發ス而シテ一側ノ亡失部ニ金屬板ヲ貼シテ之レヲ他側ニ移轉セシメ得ルコト尠ナカラズ之レヲ移轉法 *Transfert* ト稱ス、皮膚知覺過敏モ亦タ諸部ニ現ハル、トアリ特ニ卵巢部ニ發スルコト最モ屢々ナリ卵巢痛ト云フ其他諸種ノ神經痛○運動ノ障害ハ麻痺、痙攣及攣縮ノ三種ニノ麻痺ハ或ハ偏癱或ハ截癱或ハ單癱ナリ痙攣ハ間代性及強直性筋痙攣トシテ發現ス攣縮ハ上肢ノ屈筋下肢ノ伸筋咬筋等生ス又タ癱瘓樣發作其他惡心嘔吐吞酸嗜睡比斯的利壓上、等ノ諸症

(療法) 生命上良、全治甚々難シ

(療法) 諸般ノ月經異常、萎黃病或ハ貧血症等凡テ其原因療法ヲ第一トシ而シテ子宮及ヒ卵巢ノ狀態ニ注意シ腸管ノ機能ヲ整フ可シ○藥劑ニハ癩草貌羅謨加留謨特效藥ナリト雖トモ發作時ニノミ之ヲ投ス可ク麻醉劑ハ可成之ヲ避クルニ如カス○風氣ノ爲ニ發スル呼吸困難ニハ沸騰散或ハ忽布滿氏鎮痛液ヲ投シ腦貧血ニハ興奮劑ヲ處ス可シ○其他適當ノ職業ヲ執リ且ツ新鮮ノ空氣中ニ運動セシメ時ニ或ハ按摩或ハ「プレーフエール、ミツツェル」氏ノ比斯的利療法(即チ嚴ニ褥中ニ在テ飽食安息ニ兼ヌル全身按摩ヲ以テスル者)ヲ施ス可シ○神經的療法ニハ冷水電法、礦泉浴、冷水浴ヲ行ヒ其他鎮痙藥ノ内服又ハ適應時ノ電氣療法按摩療法磁石療法等ヲ試ム可シ

○ 臭剝	六、〇	白糖	一九、〇
○ 龍膽丁	二、〇	薄荷油糖	三〇、〇
○ 餹水	二〇〇、〇	右一乃至二茶匙(惡心)	
○ 癩草浸	(二〇、〇)一八〇、〇	醋酸鐵丁	二、〇
○ 臭剝	八、〇	海狸丁	十滴
○ 單舍	二〇、〇	杏仁水	五、〇
○ 右一日六回二日分服		右調和朝夕每五滴	
○ 阿魏丁	各一〇、〇	乳酸鐵	各五、〇
○ 癩草丁	十滴	大黃末	適宜
○ 薄荷油		龍膽越	適宜
○ 右每日三回二十滴宛		右調和丸六十粒ニ作り一日三回	
○ 古魯聖篤丁	五、〇	每二乃至三粒	
○ 阿魏丁	一〇、〇	癩草丁	五、〇
○ 右朝夕十五乃至二十滴砂糖水ニ		比斯的利鎮靜水	二五、〇
○ テ用ユ		右調和每日三日一茶匙	
○ 重曹	一〇、〇	枸橼酸鐵規尼涅	五、〇
○ 酒酸	九、〇	泥苜越	適宜
		右爲九十粒每日三乃至十九	

○ 繡草浸	(二〇、〇)一〇〇、〇	○ 蔓若越	一、〇
阿魏	二、〇	鹽化亞鉛	五、〇
右調和一日三回每一茶匙		護膜末及護膜漿	適宜
○ 繡草浸	二、〇	右百丸ニ作り毎日一乃至三丸	
海狸水	五〇、〇	硫酸ズホイジン	〇、〇四
右調和一日三回每一茶匙		餾水	二〇、〇
○ 臭剝		右發作時ニ於テ半筒乃至一筒注	
臭曹		射	
臭素安母紐謨	各三〇、〇	○ 抱水格魯拉爾	二、〇乃至三、〇
繡草浸	(五〇、〇)五〇〇、〇	鹽莫	〇、〇一乃至〇、〇二
右一日一回乃至三回茶ニ混シ一		白糖	二、〇
食匙ヲ用フ		右研和散ニ作り頓服	
○ 海狸丁	各二、〇	比斯的利性不眠ニハ左方ヲ與フ	
繡草丁	五、〇	スルフオナル	〇、五乃至一、〇
阿魏丁	一、〇	右爲一包就眼前三十分湯ニテ用	
消美蘭阿片丁		ユ	
右調和一日三回十滴		○ パルアルデヒード	二、〇乃至三、〇
比斯的利性繡癩發作ニハ左方ヲ處ス		橙皮舍	一〇、〇

○ 抱水亞密連	二〇、〇	○ 繡水	四五、〇
右二茶匙ヲ一盞ノ麥酒ニ混和シ		覆盆子舍	二〇、〇
テ用フ		右每々一食匙	
○ ズムナール	一〇、〇	トリオナル	五、〇
		右五包ニ分子就眼前一乃至二包	
○ 魚鱗癬 <i>Ichthyosis.</i> イロチオーシス			
(原因) 遺傳ノ他未詳			
(診候) 眞皮炎ヲ伴ハサル表皮増殖鱗屑狀變化ニシテ四肢ノ背面殊ニ膝蓋或ハ肘關			
節部ニ甚シキモノナリ患部疼痛或ハ痒癢等ノ感ナシ			
(課程) 生命上全ク其ナルモ全治シ難シ			
(療法) 専ラ局處療法ニシテ微溫浴及脂肪、油類、肝油、藥用石鹼ノ塗擦等ニ外ナラ			
ス尙ホ乾癬ノ條下ヲ參照スヘシ			
○ 炭酸那篤留謨	三〇〇、〇	○ 右塗擦料	二、〇
右浴湯ニ加フ		レゾルチン	二〇、〇
○ ベタナフトール	二、五	華攝林	二〇、〇
華攝林	二〇、〇	刺納林	三〇、〇
刺納林	三〇、〇	右塗擦料	三〇、〇

魚鱗癬

肥厚セル皮膚ノ剝脱セル部ニハ  
刺納林 四〇、〇

阿列布油 右外用

一〇、〇

### ○加答兒性黃疸

*Tetanus cutaneous.*

イグテルス  
カダラーリス

(原因) 胃及十二指腸加答兒ノ波及ニ由テ輸膽管ノ加答兒性粘膜炎腫脹或ハ閉塞或ハ  
壓迫、(加答兒性黃疸、又々肝性黃疸)

(診候) 結膜、皮膚及粘膜ノ黃色、脈搏遲徐(五十)頭痛、倦怠、神經抑鬱、舌苔黃色、食  
氣不振、皮膚癢痒、膽囊及肝臟ノ腫大、壓痛等ニシテ尿ハ暗褐色ニシテ振盪  
スレハ黃色ノ泡沫ヲ生シ又「グメリン」氏ノ膽汁色素反應ヲ呈ス大便ハ灰白  
色ニシテ惡臭甚クシ

(豫後) 良、通常二乃至四週ニシテ治ス

(療法) 其原因及ヒ其諸症候ニ對スル療法ヲ要スルカ故ニ或ハ胃及ヒ十二指腸加答  
兒ニ對スル所置ヲ行ヒ(該條下ヲ見ヨ)又發熱ニハ靜臥及ビ飲食ノ攝生(脂  
肪ヲ禁ス)ヲ命シ肝部ノ疼痛ニハ該部ニ溫罨法其他下劑及ヒ利尿劑ヲ與フ  
○皮膚癢痒ニハ溫浴時ニ効ヲ奏スル「ア」亦加兒爾斯泉鹽ヲ用フ「コ」ベル  
ツ「氏」ハ此加兒爾斯泉鹽ノ内服及毎日一回多量ノ冷水灌腸ヲ賞用ス

○ 硫苦 二〇、〇  
○ 苦丁 三、〇  
○ 鹽水 右一日二回二分服 二〇〇、〇

○ 人工加兒爾斯泉鹽 四〇、〇  
○ 鹽水 三〇〇、〇

右一日三回二分服

○ 人工加兒爾斯泉鹽 一五、〇

右一包トナシ五包ヲ與フニ合ノ

溫湯ニ溶シ毎朝頓服

○ 重曹

白糖

各五、〇

右研和散ニ作り毎二時一刀尖

便秘ニハ加兒爾斯泉苦水等ヲ投シ其効

ヲ見サレハ左方ヲ處スヘシ

○ 大黃浸(五、〇乃至八、〇)二〇〇、〇

薄荷油糖

三、〇

重曹

一〇、〇

右每二時一食匙

○ 答麻林度煎 (二〇、〇)一五〇、〇

酒石酸

二、〇

滿那舍

二〇、〇

右調和每時一食匙

○ 重曹

大黃根末

各一〇、〇

○ 蕃木鼈越

右每食後刀尖ツ

○ 大黃末

白糖

右散十包ニ作り毎日三包

○ 剝度比爾林

非沃斯越

茴香油糖

右散十包ニ作り毎日二包

○ 皮膚癢痒ニハ醋洗滌溫浴或ハ左方

薄荷腦(或ハ撒酸)

酒精

右外用

○ 小兒ノ黃疸ニハ安臥靜息ヲ命シ食禁ヲ

嚴ニシテ脂肪ニ富メルモノ即チ乳汁、

加答兒性黃疸

三〇一

鷄卵、脂肪多キ肉類ヲ禁シ專ラ麵麩、馬鈴薯ノ類、菓物ヲ與フ而シテ便通ヲ利スルカ爲メ左方ヲ處ス  
○ 水製大黃丁 五〇、〇

右一日三乃至四食匙  
又列氏十二度ヨリ始メ十八度ニ至ル迄ノ水半乃至一「リータル」半ノ腸洗滌

### ○吐糞病

*Meus. イラン*

(原因) 嵌頓ヘルニア、腸管積、腸管壓迫、異物阻塞、宿便堆積、腸管閉鎖、直腸狹窄等  
(診候) 頑性、便秘、劇性腹痛、嘔氣鼓脹、吐糞、嘔氣、發熱、淺息等ナリ ○閉鎖小腸内ニアルトキハ尿中ノインデカン増加ス大腸ニアルトキハ變化ナシ  
(療法) 可及的原因療法ヲ施ス可キモノナルカ故ニ硬糞或ハ異物ノ如キハ之ヲ除クベシト雖モ糞便ノ堆積ニ依ル者ニ非サル以上ハ峻下劑ヲ與フルコトナク凡テ阿片ヲ用テ腸ノ蠕動機ヲ鎮靜ス可シ又タ「アトロピ子」ノ皮下注射(〇、〇一乃至〇、〇〇三)ヲ用ユ ○開腹術ヲ施シテ其障害ヲ除キ或ハ腸吻合術或ハ人工肛門ヲ造ル等手術ヲ要スルモノ甚タ多シ  
○ 水製阿片 〇、三  
白糖 二、〇  
右研和十包ニ作り毎二時一包  
疼痛及嘔吐ノ劇甚ナルモノニハ莫比ノ  
○ 硫酸 一五〇、〇

常水

右溶液ニ一升ノ水ヲ加ヘテ其全量ヲ腸内ニ注入ス  
常時若シ障礙物小腸ニアルハ胃ノ洗

滌法ヲ行フテ其功ヲ奏スルコトアリ然レトモ以上ノ諸法ニシテ其効ヲ奏セサルトキハ直チニ外科的手術ヲ施ス

### ○傳染性膿疱疹

*Impetigo contagiosa. イムペチゴ、コンリギチザ*

(原因) 或ハ「トリヒョロトシ」、トズランズ「ト」稱スル寄生菌ニ因ルコトアリ或ハ黄色及白色醜膿葡萄球菌ニ因ルコトアリ小兒ニ多シ  
(診候) 專ラ先ツ顔面手ニ水泡疹ヲ生シ破レテ黃痂ヲ結フ  
(療法) 原因ヲ除去シ脂肪或ハ油劑ニ因テ痂皮ヲ軟化シ而後軟膏ヲ用フ  
○ 硼酸軟膏 一〇、〇 ○ 白降汞 二、〇  
右外用 華攝林 刺納林  
○ 次硝膏 三、〇  
單軟膏 三〇、〇  
右軟膏トナス 各一五、〇

### ○陰痿

*Impotenz. インポテンツ*

(原因) 陰莖ノ器質變性或ハ情慾缺乏、恐懼憤怒羞恥等ノ精神感動、房事過度、手淫、

吐糞病 傳染性膿疱 陰痿

慢性淋、膀胱加答兒、脊髓勞、蜜尿病、臭剝或ハ忽布腺ノ中毒等ナリ

(診候) 男子ノ交接不能或ハ射精不能或ハ精液内ニ精蟲ノ不在

(瘡注) 先ツ其原因器質的疾患或ハ精神的機能ニ在ルヤ否ヤニ注意シテ其精神  
的機能並ニ手淫ニ因スルモノナルトキハ自己ノ神識ヲ亢奮セシメ又電氣療  
法或ハ水治法ヲ行ヒ或ハ鐵劑療法ヲ施ス可シ若シ慢性淋病ナルトキハ攝護  
腺部ノ腐蝕或ハ尿道注射等其局所療法ヲ施ス可シ尙ホ遺精、尿道膿漏及ヒ  
膀胱加答兒ノ條下ヲ見ヨ○其他冷却消息子療法ナル方法アリ先ツ「カテ  
テル」ヲ尿道ニ挿入シ之ヲ用井テ以テ始メニハ列氏十四乃至十六度ノ水ヲ  
通シ次テ九乃至十度迄ノ冷水ヲ通スル「其間五分乃至三十分時ヲ度トスル  
ナリ○又攝護腺部ニ左ノ坐藥ヲ挿入シテ其効ヲ奏スルコトアリ「ガツテ  
ル」氏「ポルトルメイード」ヲ用井テ挿入ス

○ 鞣酸

○、五

龍膽丁

二、〇

柯々阿脂

適宜

糖水

二〇〇、〇

右長サ二仙迷ノ坐藥五個ニ作り

右一日六回二日分服

○ ヨヒンビン錠(スビーゲル)

○ 臭素鞣布羅

〇、二

右一日三回一個宛

乳糖

一、〇

○ 臭剝

六、〇

○ 磷酸亞鉛

〇、六

○ 臭剝

番木鱈越

二、〇

右百丸トシ毎日三丸宛

泥莖越

適宜

### ○流行性感胃

Influenza. インフルエンザ

(原因) 千八百九十二年「フワイフェル」氏ノ發見シタル流行性感胃バチルレン

(診候) 卒然惡寒或ハ寒戰發熱シ劇甚ノ頭痛身體倦怠食思欠乏結膜鼻咽喉頭及氣

管支加答兒ヲ伴フ(氣管支炎性インフルエンザ)又々嘔吐或ハ吐瀉、食慾欠

亡腹痛等ヲ發スルコトアリ(胃腸炎性インフルエンザ)又々劇甚ナル頭痛、

眩暈、重聽、脊痛、薦骨痛、腰痛、四肢痛ヲ訴フルコトアリ(神經性インフルエン

ザ 子宮出血ヲ發スルコトアリ又々屢肺炎、肋膜炎、心内膜炎、中耳炎、皮膚發

疹等ヲ併發ス○續發症トシテ最モ多キハ肺結核、神經衰弱及神經痛

(病後) 流行時ニヨリテ良或ハ不良老人及ヒ肺、心臟ノ疾病アルハ豫後不良ニ傾キ

肺炎ヲ發スルハ豫後疑三日乃至數週

(療法) 臥褥ヲ命シ咽喉頭ノ炎アルトキハ頸ニ「プリースニッツ」氏療法ニ含嗽ヲ

命シ其他氣管支炎ニハ其對症療法ヲ施ス(氣管支炎ヲ參照)

○ サリピリン

○、五乃至一、〇

(四)

右爲一包與六包一日二乃至三回

○ 安知必林

〇、五

一包宛(小兒ニハ〇、一乃至〇、

右爲一包與六包一日三回一包

流行性感胃

- フェナセチン 各〇、二五
  - 白糖 右爲一包與十包每日二包
  - ピラミドン 〇、三
  - 右爲一包與六包一日三回一包宛
  - ラクトフェニン 〇、五
  - 右爲一包與六包一日三回一包宛
  - アスピリン 一、〇
  - 右爲一包與六包一日三回一包宛
  - ザロール 一、〇
  - 右爲一包與六包一日三回一包宛
  - ザロフェン 〇、五
  - 右爲一包與六包一日三回一包宛
  - 甘草 〇、三乃至〇、五
- 
- 乳糖 〇、五
  - 右爲一包與六包一日三回一包宛
  - (嘔吐若クハ吐瀉ニ用ユ)
  - 鹽規 二、〇
  - 右十包三分チ一日三包
  - 衰弱ヲ發シタルトキハ
  - 安息香酸曹達珈琲涅 〇、一
  - 鹽水 一〇、〇
  - 右一日二乃至四回半筒乃至一筒
  - 皮下注射
  - 樟腦 一、〇
  - 阿列布油 九、〇
  - 右一日數回一筒乃至二筒皮下注射

### 肋間神經痛

Intercostal neuralgia.

インテルコスダール  
ノイラルギー

(原因) 感冒、外傷、貧血、比斯的利、惡液質、佝僂質斯、微毒、中毒、麻拉里亞、脊椎病、脊髓病、帶狀疱疹、肋骨疾患、婦人生殖器病等

(診候) 發作性ニ起ル大低第五以下第八肋間ノ神經痛ナリ(左側ニ多シ)深吸氣咳嗽

等皆之ヲ増劇ス壓痛點ハ胸骨ニ於ケル前點、棘狀突起ノ側方ニ於ケル後點、其中間(中腋窩線)ニ於ケル側點ナリ

(療法) 其原因療法ヲ勉ムベシ例ヘバ貧血ニハ鐵劑、梅毒ニハ沃剝及汞劑、麻拉里亞ニハ鹽規、肋骨及椎骨疾患ニハ外科療法ヲ用ユ其他對症的ニシ輕症ニハ先ツ安息靜止ヲ命シ冷却療法或ハ溫熱療法ヲ行ヒ重症ニハ芥子泥ヲ貼シ又莫兒比涅ノ皮下注射電氣療法等ヲ施スコトアリ

- 撒曹 六、〇
  - 單舍 二〇、〇
  - 右調和塗擦料
  - 鹽水 一八〇、〇
  - 右一日六回二日分服
  - 安知必林 一、五
  - 右三包三分チ一日三回一包宛
  - 嘔囉仿謨 五、〇
  - 非沃斯矢亞謨斯油 二〇、〇
  - 右調和塗擦料
  - 物拉篤利涅 各〇、一
  - 鹽莫
- 
- 緩和軟膏 一〇、〇
  - 右調和塗擦料
  - 水製阿片越 二、〇
  - 緩和軟膏 一〇、〇
  - 右調和塗擦料
  - 鹽莫 一〇、一
  - 水 一〇、〇
  - 右調和皮下注射料
  - エチール、クロリド (五、〇入硝子管)
  - 右硝子管尖端ヲ破リ十乃至十五

### 肋間神經痛



仙迷ノ距離ヨリ壓痛點上ニ噴霧

スベシ

### ○間歇熱

*Intermittens.*

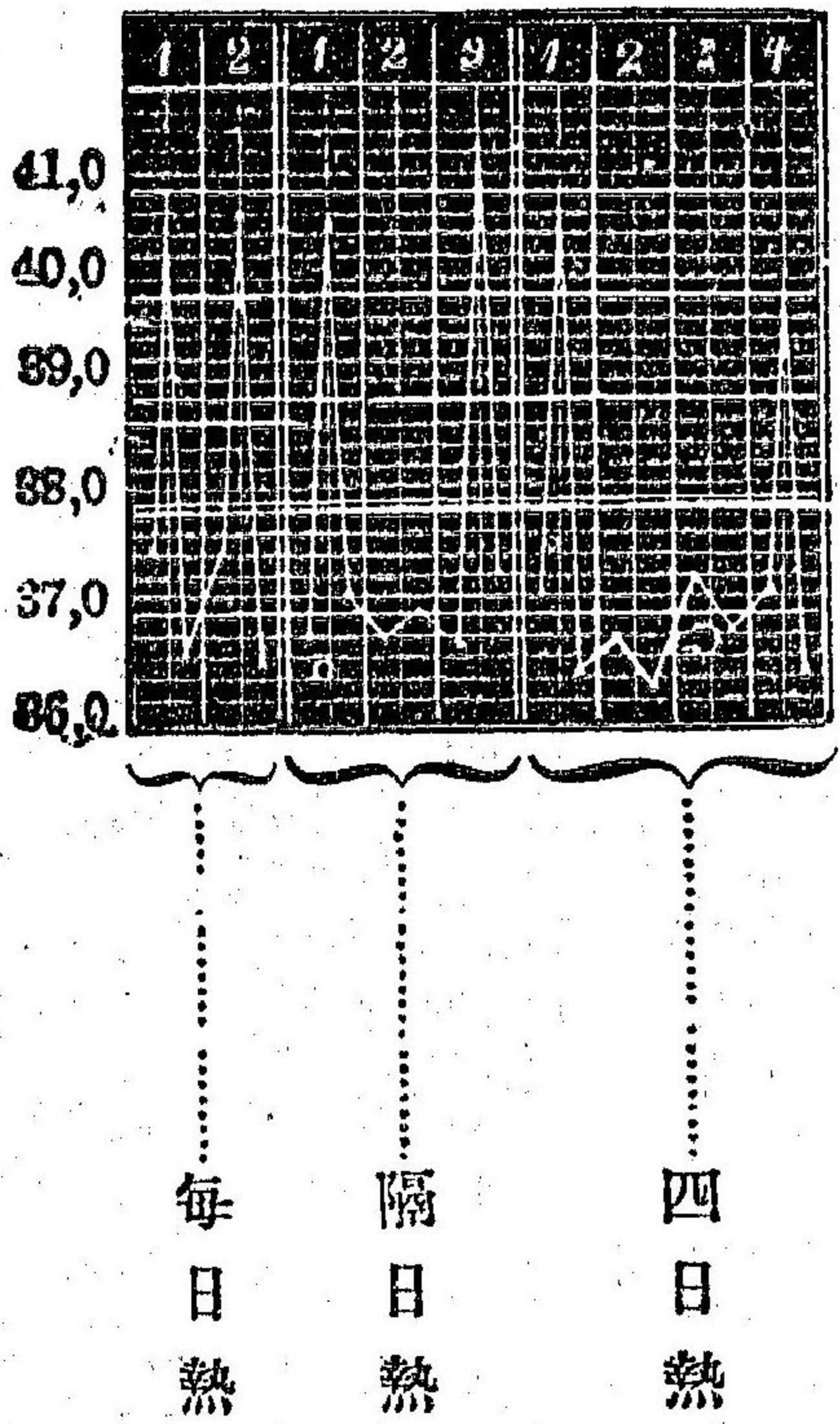
インテルミッタンス

(原由) 一千八百八十二年「ラウエラン」氏及ヒ「リヒャルド」氏ノ發見シタル「コマテ  
 リア・プラスマモイザエン」ト稱スル寄生生物ニシテ血中ニ存在ス(彩色圖參觀)  
 ○該「プラスマモイザエン」ハ如何ニシテ人體内ニ入ルカノ疑問ハ「ゴッホ」氏  
 ノ研究ニ由リテ蚊屬就中「アノフェレス」*Anopheles*ノ螫刺ヨリ傳染スルモ  
 ノト解決セラレタリ本邦ニ於テハドクトル都築甚之助醫學士宮島幹之助  
 君「アノフェレス」ヲ研究セラレタリ

(診候) 發作ハ一定ノ時間ニ發ス一發作ヲ三期ニ區別ス惡寒期(三十分間或ハ其以  
 上)ニ在テハ惡寒戰慄脈搏頻數(百乃至百二十)發熱期ニ在テハ灼熱頭痛眩  
 暈大渴體溫三十九度ヨリ進テ四十度或ハ其ノ以上ニ達ス其經過三乃至五時  
 發汗期ニ在テハ發汗淋漓諸症消散ス尿ハ比重甚タ高ク多量ノ赤色沈渣アリ  
 發作時ノ異ナルニ從ヒ毎日熱隔日熱四日熱等ノ別アリ(第二十八圖)而シテ  
 發作ノ持續時間ハ毎日熱ニハ六乃至十二時間隔日熱ニハ六時間四日熱ニハ  
 四時間ヲ常トス○脾ハ必ス腫大ス

(豫後) 長但シ惡性間歇熱或ハ弛張性麻拉里亞熱ト稱シ日本ニハナクシテ不健康ナ  
 ル麻拉里亞地方殊ニ熱帶地方ニノミ見ルトコロノモノハ概テ不長

圖 八 十 二 第



(療法) 惡寒期ニハ褥中ニ安臥セシメ温布摩擦法ニ依テ身體ヲ温メ又或ハ茶、湯等  
 温ナル飲料ヲ與ヘ或ハ湯婆ヲ抱カシム可シ而シテ發熱期ニ至レハ忽チ反シ  
 テ冷罷法ヲ行ヒ清涼飲料ヲ與フ可シ其他發作間歇時ニハ主トシテ規尼涅或  
 ハ「カイヒニン」(苦味ナシ)ヲ與フ可シ又蒸液質トナレル者ニハ鐵劑轉地療  
 法牛乳療法ヲ怠ル可ラス○豫防法ハ毎日規尼涅○、三ヲ服用スベシ又蚊ノ  
 襲來ヲ避クルトコヲ勉ムベシ○メチーレン青ハ其効劣レリ

歇間熱

○ 鹽規 一、〇乃至一、五

右發作前六時頓用(但シ翌日ヨリ一週間毎日〇、五ニ減量セルモノヲ用ユベシ)

○ 硫規 一、〇乃至一、五

○ 白糖 二、〇  
右研和散五包ニ作リ(澱粉袋ニ入ル、ヲ長トス)發作前三時二時一時每一包  
若シ發作時ノ不明ナルトキハ朝晝夕三回一包或ハ發汗期ノ始メニ與フ可シ

○ 鹽規 一、〇  
龍膽越 適宜

右調和丸五粒ニ作リ發汗一時間前頓用次回ヨリ〇、五ニ減量ス  
「バツツエリー」氏ハ左ノ藥劑ヲ用ユ  
○ 鹽規 一、〇

食鹽 〇、七五

○ 鹽規 一、〇、〇

右攝氏三十七度ニ溫メ上肢靜脈内ニ注入(虛脫ノ兆アルトキ用ユ)

○ 法列兒水 五、〇

右每日三乃至四回五滴宛(間歇時ニ用フ)

惡寒期ニ現ハル、虛脫ニハ左方ヲ處ス

○ 依的兒 一、〇、〇  
樟腦 〇、二

右調和滴劑

○ 小兒ノ間歇熱ニ在テハ左方ヲ賞用ス  
單寧酸規尼涅 各二、〇

○ 白糖 各二、〇

右研和散六包ニ作リ每三時一包乳汁ニ溶解シ用フ(哺乳兒ニ用フ)

○ 硫規 二、〇

○ 白糖 三、〇

右研和十包ニ作リ發作前每三包隔時ニ與フ時トシテ六包迄ヲ用フルコトアリ

○ 鹽規 〇、五

○ 鹽規 一、〇、〇

○ 鹽規 〇、五乃至一、〇

右半量ヲ一回灌腸料トス

○ 濕爛 Intertigo. インテルトリゴ 間擦濕疹

(原因及診候)發汗ノ久時浸潤摩擦ニ由テ起ル皮膚ノ剝脫發赤ナリ小兒ニハ頸部、股間大人ニハ股間ニ發ス

(療法)輕度ナル者ニハ撒布藥ヲ用ヒ又皮膚ノ剝脫シ且ツ潰瘍ヲ發シタル者ニハ先ツ硼酸水ニテ其部ヲ洗滌シタル後軟膏ヲ貼用スヘシ頑固ナルトキハ三%硝酸銀水ヲ塗布ス

○ 澱粉 五、〇、〇

○ 酸化亞鉛 五、〇

○ 澱粉 五、〇、〇

右調和撒布用  
○ 煨製麻偏涅矢亞 五、〇  
○ 硅酸麻偏涅叟謨 二〇、〇  
○ 撒酸 〇、二  
右調和撒布用  
以上撒布藥ハ皮膚ノ剝脫ナキ者ニ用ユ

濕爛

- 硼酸 二、〇
- 刺納林 二、〇
- 右外用
- プロー氏液 二〇〇、〇
- 右用法料
- 酸化亞鉛 五、〇
- 華攝林 五〇、〇
- 右調和軟膏ニ作ル
- 白降汞
- 酸化亞鉛 各二、〇
- 華攝林 五〇、〇
- 右調和軟膏ニ作ル
- 撒酸 二、〇
- 華攝林 五〇、〇
- 酸化亞鉛 各二五、〇
- 澱粉
- 右調和軟泥ニ作ル

### 虹彩炎

Iritis. イリチス

(原因) 外傷、梅毒、淋疾、優麻質斯、結核、癩病、痛腫、敗血症、慢性子宮病、瘧熱、月經不調、感冒、眼球他部ノ炎症波及等ナリ

(診候) 疼痛殊ニ日晡後ノ劇痛、(疼痛チ欠クコトアリ) 羞明、淚漏、視力障害、角膜周擁充血、前房水ノ濁濁、虹彩ノ腫起變色、瞳孔縮小不正及不動、小腫瘍ノ發生、癒着等劇症ニハ發熱、嘔吐、衰弱ヲ伴フ

(豫後) 微毒性、優麻質斯性ノモノハ概テ良結核性、癩病性ノモノハ不良其他原因ノ差違ニヨリテ一定セス

(療法) 原因ニ注意シ梅毒ニハ水銀塗擦療法ヲ施シ優麻質斯性ノ者ニハ撒里矢爾酸ヲ内用トス而シテ多クハ靜臥ヲ命シ亞篤羅必涅ノ點眼暗室内ノ棲息、保護鏡ノ懸用等百般ニ注意シ殊ニ眼ノ使用ヲ禁シ便通ヲ利シ水蛭ヲ放ツ可シ其他劇痛ニハ熱罨法頑固ナル癒着ヲ離解スルニハ強キ瞳孔散大藥トシテ非沃斯矢涅ヲ用ヒ或ハ依設林ト亞篤羅必涅ヲ交互連用スルコトアリ

- 硫酸亞篤羅必涅 〇、一
- 鹽酸古加乙涅 〇、一
- 留水 一〇、〇
- 右臨用溫メ一二分間ヲ隔テ、六乃至十二回相次テ點眼スベシ
- 硫酸亞篤羅必涅 〇、二—〇、〇五
- 水 一〇、〇
- 右調和點眼用トナシ其一二滴ヲ結膜囊中ニ點入スルナリ
- 然レトモ若シ亞篤羅必涅ノ刺戟ニ因テ結膜炎ヲ發シタルトキニハ其後用ヲ止ム可シ時トシテ亞篤羅必涅ノ中毒症狀ヲ發スルコトアリ但シ亞篤羅必涅ノ代
- 用藥トシテ適當ナル者ハ「ツホイシン」ナリ
- ツホイシン 〇、〇三
- 水 三、〇
- 右調和點眼料
- 劇甚ノ疼痛及羞明アルモノニハ莫兒比涅ノ皮下注射ヲ行ヒ左方ヲ處ス
- 蔓若越 一、五
- 水銀軟膏 一〇、〇
- 右調和其量豌豆大ノ者ヲ取り前額及ヒ額顳部ニ塗擦ス
- 鹽酸古加乙涅 〇、二五
- 硫酸亞篤羅必涅 〇、〇三

### 虹彩炎

水 右調和點眼料 五、〇

〇 鹽莫

硫酸亞篤魯必涅 各〇、〇五

水 一〇、〇

右調和點眼料

〇 沃度水素酸ヒヨスチー子 〇、〇一

〇 縮水 五、〇

右點眼料(一滴宛、中毒ノ虞、ア

トロビ子ニヨリ多シ)

〇 内壓九進ヲ認ムレバ左方ヲ處ス

〇 撒酸依設林 〇、〇五

水 右調和點眼料(瞳孔收縮藥) 一〇、〇

〇 鹽酸必魯加兒必涅 〇、〇五

水 一〇、〇

右調和點眼料(瞳孔收縮藥)

〇 梅毒性ノ者ニハ水銀軟膏塗擦療法ヲ行

汞劑注射或ハ内服(梅毒ノ條ヲ參照)

〇 優麻質斯性ノモノニハ左方ヲ處ス

〇 撒曹 一〇、〇

右澱粉囊五包ニ作り毎日一乃至

### 〇 坐骨神經痛 Ischias. イシヤス

(原因) 腦ノ疾患(腫瘍、膿腫) 腦膿瘍、脊髓及脊椎ノ疾患(腫瘍、脊髓勞、梅毒) 優麻質、斯、麻拉里亞、梅毒、淋疾、糖尿病、貧血、妊娠、卵巢腫瘍、子宮及其周圍炎症、膀胱疾病、直腸癌、比斯的里、挫傷、寒胃、過勞、痔疾、常習便秘、萎黃病、鉛汞中毒亞爾薩保爾中毒等ナリ

(診候) 臀部ヨリ發シ大腿ノ後面ニ沿ヒ下方ニ電流シテ膝關ニ至リ又タ外踝或ハ足

背ニ達スル發作性ノ神經痛ナリ殊ニ夜間ニ増劇ス時ニ患脚ノ智覺過敏或ハ

倦怠ヲ前驅スルコトアリ壓痛點ハ坐骨孔大轉子腓骨小頭腓骨溝ノ部及ヒ膝

關ニアリ

(發後) 其原因ニヨリテ各異ニシテ數週乃至數年ノ經過ヲ有シ再發スルコト多シ

(療法) 第一其原病ニ注意シテ之レヲ療スベシ例ヘバ梅毒ニハ驅梅毒法、便秘ニハ下

劑其他蒸氣浴溫電法及皮膚ノ局所刺戟法灸點、或ハ「イヒチカール」塗擦或

ハ按摩、電氣(平流電氣ニミリアムペール毎日二回五分間宛)ヲ應用スルモ

効有リ〇不治ノ症ニ於テハ莫兒比涅ノ皮下注射ヲ行フ又時トシテ沃度ト共

ニ撒里矢爾酸ヲ用井ルコトアリ〇頑固ナル症ニハ手術ヲ行フベシ(神經展

伸法)

〇 安知必林 一〇、〇 刺納林 一〇、〇

右爲一包與三包一日三回一包宛 右外用

〇 フェナセチン 〇、五 「チポアルドック」 五〇、〇

〇 ビラミドン 〇、三 水製阿片越 一、〇

右爲一包與六包一日三回一包宛 右調和朝夕一回塗擦料

〇 莧若越 一、〇 勃拉篤里涅 〇、一

〇 華攝林 三〇、〇

### 坐骨神經痛

- 右塗擦料 二〇、〇
- 沃度丁 二〇、〇
- 右塗布料 五、〇
- 沃度加假護 一八〇、〇
- 水 二〇、〇
- 單舍 二〇、〇
- 右調和一日三回二日分服 五、〇
- 撒酸 五、〇
- 右十包ニ作り一乃至二時間每一包但「オプラート」ニ包ミ用フ 一〇、〇
- 撒曹 一〇、〇
- 右散十包ニ作り一乃至二時間每一包「オプラート」ニ包ミ用フ 一〇、〇
- 五十倍安知必林水 一〇、〇
- 右一筒皮下注射料
- 硫酸亞篤羅必涅 〇、〇〇五
- 硫莫 〇、〇〇五
- 右一筒皮下注射料（發作劇甚ナル片） 五、〇
- 安知必林 二、五
- 橙皮舍利別 二五、〇
- 餽水 二〇〇、〇
- 右調和一日三回三日ニ分服 二〇〇、〇
- 再餽的列並底油 五、〇
- 炭酸麻偏涅叟謨 適宜
- 右五十粒ニ作り朝夕每五粒的列並底油 五、〇
- 精製蜂蜜 三〇、〇
- 右調和朝夕一茶匙

○ 脚氣 Kahke. カッケ

(原因) 未詳ナリ或ハ一種ノ傳染病ニシテ固有ノ微菌ニ因ルモノトナシ或ハ青魚科

ノ魚肉中毒トナシ或ハ營養ノ障害即チ食物中ノ含窒素物ト含炭素物ノ配合不適當ナルトニヨルモノトスルノ説アリ

(診候) 症候ノ異ナルニ從ヒ乾性脚氣、濕性脚氣(水腫性)及急性脚氣(衛心性)ノ三種ニ區別ス○乾性症ニ在テハ初メ足及下腿ニ知覺異常ヲ發シ次テ上腿下腹口唇等ニモ漸次知覺異常ヲ來ス而シテ腓腸部緊張壓痛アリ膝蓋跳反射概子消失シ歩行困難トナリ心悸亢進脈搏頻數トナリ○濕性脚氣ニ在テハ乾性症ノ諸症ニ兼マルニ浮腫ヲ以テスルモノナリ浮腫ハ初メハ足背下腿ノ前面ニ發シ遂ニ進ンテハ全身ニ及フ○急性脚氣ニ在テハ心悸亢進等ノ諸症急ニ増劇シ脈搏頻數皮膚蒼白色ヲ呈シ呼吸困難苦悶惡心嘔吐等ヲ發シテ死ス

(豫後) 概子良但シ衛心性ノモノハ凶  
(療法) 初期諸症ノ増進セサル前ニ當テ速ニ高燥ノ地ニ轉地セシムヘシ其他ハ凡テ對症療法ニシテ便秘アルモノニハ下劑ヲ與ヘ心悸亢進ニハ樟腦硝酸ストリキニーネ、ストロファン、ス丁實、麥答里斯浮腫ニハ利尿劑嘔吐ニハ氷片古加乙涅等ヲ與ヘ急性重症脚氣ニハ瀉血法ヲ施シ皮膚蒼白脈搏頻數ニハ樟腦赤葡萄酒麻痺症ニハ電氣或ハ硝酸斯篤利幾尼涅ノ皮下注射ヲ行ヒ恢復期ニハ強壯劑ヲ與フ

- 硫酸麻偏涅叟謨 二〇、〇
- 稀鹽酸 一、〇
- 水 右一日六回二日分 二〇〇、〇

○ 人工加兒爾斯泉鹽	一五、〇	○ 實斐答里斯浸	(二、〇)一八〇、〇
○ 右每朝頓用(溫湯ニ和シテ)		○ 單舍	二〇、〇
○ 硫苦	一〇、〇	○ 右一日六回二日分	
○ 純精酒石	一〇、〇	○ 實斐答里斯浸	(二、〇)一八〇、〇
○ 苦丁	二〇、〇	○ 醋剝	四、〇
○ 澀水	二〇、〇	○ 單舍	一五、〇
○ 右一日六回二日分服		○ 右一日三回二日分服	
○ 純精酒石	八、〇	○ 實斐答里斯浸	(二、〇)一八〇、〇
○ 苦丁	二〇、〇	○ 硝剝	四、〇
○ 水	二〇、〇	○ 單舍	一五、〇
○ 右一日三回二日分服		○ 右一日三回二日分服	
○ 純精酒石	八、〇	○ ストロファンツス丁	二、〇
○ 薄荷油糖	二、〇	○ 單舍	二〇、〇
○ 右六包ニ作り一日三回一包宛二日分服		○ 澀水	一八〇、〇
○ 精製樟腦	〇、二	○ 右一日六回二日分服	
○ 白糖	〇、五	○ 硝酸斯篤利幾尼涅	〇、一
○ 右爲一包與六包一日三回乃至六		○ 澀水	二〇、〇

○ 糖腦  
右一日一回一筒左右ノ脚ヲ交換シテ皮下注射ス

○ 阿列布油  
右皮下注射料每一時若シクハ二

○ 頭血腫 *Kephaloematoma.* ケフアヘマトマ  
(原因及診候)分娩ノ際骨盤ノ壓迫ニヨリテ生ズ通常右側顳頂部ニアル溢血ニシテ波動アリ

○ 鹽酸古加乙涅  
時間一筒

○ 苦扁桃水  
右一日數回十乃至十五滴宛(嘔吐)

○ 角膜炎 *Keratitis.* ケラチチス  
(原因)結膜炎、腺病、梅毒、急性傳染病、外傷及他眼疾病等詳説スレバ水泡性角膜炎 腺病性角膜炎)ハ腺病麻疹瘰癧扶斯月經不調産後變化ヨリシ○角膜ヘルペスハ熱性病ニ伴ヒ或ハ帶狀疱疹トシテ發シ○小水泡及大水疱性角膜炎ハ角膜溷濁ニ續發シ○角膜パンヌスハ專ラトラホームニ續發シ○點狀角膜表層炎ハ幼年ニ多ク原因不明ナリ(以上角膜表層炎)○角膜實質炎ハ概子先天

○ 頭血腫 角膜炎

頭血腫 角膜炎

梅毒ニ因シ六年以上二十年ノ間ニ多シ〇硬化性角膜炎ハ儂麻質斯、營養不  
良ニ發スル上鞏膜炎ニ續發シ〇帶狀角膜炎ハ虹彩脈絡膜炎或ハ線内障の失  
明眼ニ來リ〇外傷性線狀角膜炎ハ白内障手術後ニ發ス(以上角膜中層炎)〇  
點狀角膜炎ハ虹彩炎或ハ毛樣體炎ニ合併ス(又「デスセメツト」氏膜炎ト云  
フ即角膜後層炎)〇化膿性角膜炎ハ稻ノ稔尖、小枝尖ノ刺傷ヨリ醗膿細菌  
進入シ或ハ空扶斯、麻疹、痘瘡、膿漏性結膜炎及實扶的星性結膜炎、角膜營養  
不良ニ續發シテ角膜膿瘍或ハ潰瘍ヲ作ス

(診候)角膜潤濁、脈管發生、羞明、流淚疼痛、水泡發生潰瘍等主タル現症ナリトス  
(療法)其原因ヲ審ニシテ其續發性(結膜炎等)ナルヤ將々特發性(腺病、梅  
毒、創傷、寒冒等)ナルヤニ注意シ全身療法ヲ行ヒ亞篤羅必涅ノ點眼、硼酸  
水ノ濕布法、硼酸水ノ薰蒸法、保護繙帶或ハ保護眼鏡ヲ用フ可シ〇劇痛アル  
者(強壯家)ニハ水蛭ヲ放チ凡テ身體及眼ヲ安息セシメ且ツ緩下劑ヲ處ス

- 〇 硫酸亞篤羅必涅 〇、〇五
- 右調和點眼料 一〇、〇
- 水 〇、〇
- 蓋明及疼痛ニハ左方 〇、一
- 鹽酸古加乙涅 五、〇
- 白降汞 一、〇
- 荳蔻越 一、五
- 單軟膏 一〇、〇
- 右調和大豆許ノ量ヲ前額及ヒ額  
顱部ニ塗擦ス

疼痛劇甚ニシテ其四方ニ放散スルトキ

- 〇 荳蔻越 一、〇
- 水銀軟膏 一〇、〇
- 右調和前頭及ヒ額顱部ニ塗擦シ  
結膜炎甚々シク膿樣分泌アル症ニハ  
〇、五%硝酸銀水ヲ點眼スベシ刺戟症  
候全ク退消シテ潤濁ヲ呈スルノミニ至  
ラハ之ヲ透明ナラシムルカ爲メ左方
- 〇 亞爾爾保爾製甘汞末 五、〇
- 右結膜囊中ニ撒布ス
- 〇 沃度仿膜末 五、〇
- 右用量用法同上
- 〇 黃降汞 〇、二
- 華攝林 五、〇乃至一〇、〇
- 右精密ニ調和シ軟膏ニ作り其量  
帽針頭大ノ者ヲ取り之ヲ牽引シ  
タル眼瞼結膜面ニ同等ニ配分ス  
(パーゲンステッヘル氏軟膏)
- 〇 消芙蘭加阿片丁 五、〇
- 右每回一滴結膜囊内ニ點入ス
- 〇 潤濁ヲ消散セシムルニハ又按摩法及ヒ  
電氣分解法ヲ賞用ス
- 〇 腺病性角膜炎ニハ「ハルレル」氏沃度水  
或ハ左方ヲ處ス
- 〇 沃度加留膜 一、〇
- 水 一〇〇、〇
- 〇 橙皮舎 一五、〇
- 右調和每一時一食匙
- 〇 角膜實質炎ノ全身療法トシテ水銀塗擦  
法或ハ注射法ヲ行ヒ或ハ汞劑ノ内服ヲ  
處方ス(梅毒ノ條下ヲ參照)
- 〇 撒里矢爾酸水銀 一、〇
- 甘草羔及末 各適宜
- 〇 右百丸ニ作り一日三回每食後一  
乃至二粒宛
- 〇 昇汞丸 〇、〇〇一

角膜炎

右一日三回每食後二乃至三粒 一 尚ホ角膜潰瘍ノ條下チ參照スヘシ

### ○疝痛 *Kolik. Pönnan*

**(原因)** 不消化性若クハ酸敗性ノ食物、蛔蟲、鉛毒、宿便、膽石等ノ直接刺戟或ハ卵巢病、月經變常ニ係ル間接ノ刺戟或ハ比斯の里、依百昆堙兒等

**(診候)** 下腹部ノ臍邊ニ起ル發作性ノ疝痛風氣及下腹知覺神經ノ知覺過敏等ニシテ此痛ハ壓迫ニ因テ輕減ス○膽石ニ因スルトキハ心窩部及肝部ニアリテ背及肩部ニ放線ス

**(療法)** 不消化物、便秘、月經變常、膽石形成等凡テ其源因ニ注意シ而シテ適當ノ食物ヲ與ヘ下劑等ヲ處シ又下腹溫卷法、溫浴、摩擦法、灌腸法ヲ行フヘシ

○杏仁水 一〇、〇 用井ルニ限ル  
阿片丁 十五滴 風氣ニハ加密兒列、薄荷、薔草藥ノ煎劑  
右調和每一時十滴 (但シ便宜ニ 一碗ヲ與フ其他風氣疝痛ノ條下チ參照)

### ○急性喉頭炎 *Laryngitis acuta.*

ラリンギチス、アグーダ

**(原因)** 寒胃、熱體冷飲、高聲、鼻或咽頭加答兒ノ波及、麻疹、流行性感胃、發疹室扶斯、實扶帝里、猩紅熱、丹毒、有害瓦斯ノ刺戟、飲酒及喫煙過度ナリ

**(診候)** 頸部ニ把搔及灼熱ヲ覺エ喉頭粘膜ニ粗糙ノ感有リ嘶嘎、咳嗽、咯痰、噴嚏等

**(豫後)** 大人ニ於テハ夏小兒ニ於テハ疑

**(療法)** 嚔中ニ安臥セシメ室内溫度ヲ平均ニシ高聲ヲ嚴禁シ頸圍ニ溫卷法或ハ「プリースニツツ」氏卷法ヲ行ヒ接骨木花等ノ緩性發汗藥ヲ投シ賊風及ビ冷飲酒、煙草ヲ禁スヘシ○飲料ニハ微溫「セルテルス」水、牛乳加酸性礦泉ヲ賞用ス○咳嗽ヲ鎮靜スルニハ麻酔劑ヲ用ヒ同時ニ局部充血血管ヲ收縮セシムル目的ニハ莫比劑ヲ賞用ス又溫蒸氣吸入ヲ行フ○末期ニ至リ始メテ緩性收歛藥ヲ用フヘシ

**小兒** ニ在テハ特ニ靜臥セシムルコトニ注意シ而シテ室内空氣ノ乾燥ヲ防キ「プリースニツツ」氏卷法ヲ行ヒ溫ナル里母那埜或ハ砂糖湯ヲ投シ呼吸困難ニハ從來因用ノ吐劑ニ代フルニ熱蒸氣ノ吸入ヲ可トス假令幼弱ノ小兒ト雖吸入裝置ノ上方ニ覆フニ適當ノ被蓋物ヲ以テスルトキハ之ヲ行フコトヲ得ヘシ

- 鹽規 一、五 鹽莫 〇、〇二
- 油砂 二、五 右一日六回二分服
- 甘草末及甘草煮 適宜 ○「ヘロイン」 〇、〇〇五
- 右爲五十九丸一日三回三丸宛 〇、〇〇五
- 遠志浸 (八、〇)二〇〇、〇 右混和爲一包與六包一日三回二
- 杏仁水 六、〇 日量

疝痛 急性喉頭炎



○ 吐根浸	(一、〇)二〇〇、〇	○ 白糖	各一、〇
○ 覆盆子舍	二〇、〇	○ 杏仁水	一〇、〇
○ 右調和每一時一食匙		○ 鹽莫	〇、〇、五
○ 葦苈越	〇、一	○ 右調和二時十滴	
○ 白糖	二、〇	○ 鹽酸古加乙涅	〇、二五乃至〇、五
○ 右調和散十包ニ作り一日三回每		○ 水	二五〇、〇
○ 一包		○ 鞣酸	一、〇
○ 咳嗽ヲ減少セシムルカ爲メニハ左方		○ 右吸入料	一〇〇、〇
○ 磷酸古堊乙涅	〇、一	○ 粗製明礬	二、〇
○ 杏仁水	一〇、〇	○ 水	二〇〇、〇
○ 右一日三回六滴宛		○ 右調和吸入料	各一、〇
○ 杏仁水	各一〇、〇	○ 食鹽、重曹	二〇〇、〇
○ 鹽莫	〇、一	○ 和調和吸入料	一〇、〇
○ 右一日三回乃至五回十乃至二十		○ 杏仁水	一〇、〇
○ 五滴宛			
○ 托勿兒氏散			
○ 重曹			

○ 鹽莫	〇、一	○ 炭酸加留謨	〇、五乃至一、〇
○ 右十滴ヲ毎回吸入液ニ加フ		○ 單舍	一五、〇
○ 末期ニ至リテ左法ヲ用ユ		○ 右每二時一茶匙或ハ一小兒匙	〇、二
○ 沃度	〇、一	○ 菲沃斯越	二〇、〇
○ 沃劍	一、〇	○ 亞拉昆亞護謨漿	五、〇
○ 水	八〇、〇	○ 杏仁水	三〇、〇
○ 右一日一回塗布料		○ 單舍	一〇〇、〇
○ 三%單寧酸グリセリン		○ 右調和舐劑ニ作り每二時一茶匙	一〇〇、〇
○ 右一日一回塗布料		○ 油合劑	二十滴
○ 一%格魯兒亞鉛水		○ 杏仁水	一〇、〇
○ 右一日一回喉頭注入器ヲ以テ注		○ 吐根舍	一〇、〇
○ 入シ或ハ塗布ス		○ 右調和每一茶匙	一〇〇、〇
○ 小兒ニ在テハ可及的左ノ處方		○ 亞爾答亞根煎	一〇〇、〇
○ 吐根浸	(〇、三)一〇〇、〇	○ 礮砂	一〇、〇
○ 菲沃斯越	〇、一	○ 單舍	一〇、〇
○ 覆盆子舍	一〇、〇	○ 右調和每時一茶匙	
○ 右調和每時一小兒匙		○ 患者若シ貧血腺病家ナルトキ全身療法	

チ行ヒ殊ニ飲食攝生ニ注意スヘシ

### 慢性喉頭炎

*Laryngitis chronica.*

ラリンギチス、  
クロニカ

○**原因** 急性加答兒ノ不治、職業的聲音過勞(教師、講談師等)梅毒、結核等ナリトス  
 ○**診候** 經久ノ嘶嘎、喉頭癢痒、咯痰、喉頭粘膜ノ肥大或ハ潰爛削瘦結痂等ナリ  
 ○**療法** 良然レトモ再發ノ虞多シ○結核ニ因スル者ハ不長

○**瘰癧** 梅毒、結核等其原因ヲ搜リ全身療法ヲ施シ喉頭ノ刺戟ヲ避ケルカ爲メ大聲  
 長談、冷飲料、亞爾箇保爾飲料、刺戟性食物、喫烟(紙卷煙草ヲ用ユルハ烟管  
 ナ以テ喫烟スルヨリモ害多シ)等ヲ禁シ劇シキ咳嗽ニハ麻醉藥ヲ用井テ緩  
 解スヘシ鼻呼吸ノ障害アルモノハ鼻ノ治療ヲ怠ルベカラズ

○**肥天性ノモノニハ** 收斂藥ノ吸入、吹入、塗布、注入、チ行ヒ削瘦性ノモノニハ  
 沃度劑ノ塗布重曹食鹽等、吸入チ行ヒ、結痂ヲ溶解セシムルニハ重曹食鹽  
 ノ吸入或ハ十倍、ナイロフエン、チレーフ油ヲ塗布ス

○**喉頭鏡** ナ用ヒ毛筆ニテ腐蝕藥ヲ塗布(初メハ弱溶液)スルコト有リ然トモ若  
 シ既ニシテ肺滲潤ノ現症ヲ確認スルトキハ凡テ腐蝕法ハ避ケサル可ラス

- 二%重曹食鹽水 右一日數回吸入料 一〇〇、〇
- 右一日數回吸入料 一〇〇、〇
- 五乃至一%明礬水 一〇〇、〇
- 備里設林 各二、〇

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鹽水 右吸入料 一〇〇、〇</li> <li>○ 沃度 一〇、一</li> <li>○ 沃剝 一、〇</li> <li>○ 餽水 八〇、〇</li> <li>○ 右一日一回塗布又ハ注入料 〇、二</li> <li>○ 沃度 二、〇</li> <li>○ 沃剝 三〇、〇</li> <li>○ カリセリン 三〇、〇</li> <li>○ 右調和塗布料 二、〇</li> <li>○ 石炭酸 各一〇、〇</li> <li>○ 濃厚酒精 各一〇、〇</li> <li>○ 備里設林 各一〇、〇</li> <li>○ 右調和塗布料 一、〇乃至二、〇乃至</li> <li>○ 結晶硝酸銀 五、〇乃至一〇、〇</li> <li>○ 水 五〇、〇</li> <li>○ 右塗布料(初期ニハ弱性ノ者ヲ</li> </ul>	<p>用ヒ漸次強性ノ者ヲ用ユ可シ)</p> <p>病勢適當ノ時ニ至ラハ十乃至二十分時        間此斂藥其他の列並底油、杜松實油等        ノ吸入チ行フヘシ尙附録ヲ參看セヨ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 杏仁水 一〇、〇</li> <li>○ 鹽莫 〇、一</li> <li>○ 右調和滴劑 〇、一</li> <li>○ 荻若越 二、〇</li> <li>○ 白糖 〇、一</li> <li>○ 右研和散十包ニ作り朝夕每一包</li> <li>○ 鹽莫 〇、一</li> <li>○ 吐根末 〇、二</li> <li>○ 白糖 二、〇</li> <li>○ 右研和散十包ニ作り朝夕每一包</li> <li>○ 古埜乙涅 〇、二乃至〇、二五</li> <li>○ 白糖 二、〇</li> <li>○ 右散十包ニ作り朝夕一包</li> </ul>
---	--

慢性喉頭炎

不眠ニハ左方ヲ處シテ確實ノ効有リ

○抱水格魯拉爾

一、〇

護謨合劑

單舍

各五〇、〇

右調和三分シテ毎回其一分ヲ用

○ブルフォナル

一、〇

白糖

〇、五

右臨床前「チプラート」ニ包テ用フ

### ○格魯布性喉頭炎

*Laryngitis crouposa.*

ラリンギナス、クルボサ

〔原因〕咽頭實扶的里亞ニ繼發スル者ニシテ實扶的里亞菌ノ侵襲ニ原ク

〔診候〕違和、輕熱、輕度ノ嘶嘎、乾咳ヲ發シ四五日ヲ經テ諸症増悪、食氣不攝、脈搏

頻數咳嗽ノ音ハ犬ノ吠ルカ如ク呼吸時喉頭ニ喘鳴ヲ發シ、呼吸困難、恐怖煩

悶、顔面チアノーゼヲ呈シ皮膚冷汗ヲ發シ概テ遂ニ窒息ニ由テ死ス

〔療法〕血清療法以前ハ不良血清療法ニ由リテ比較的良トナレリ

〔療法〕先ツ患者ヲ安臥セシメ血清療法ヲ行ヒ頸部ニ氷褌法ヲ行ヒ氷片ヲ嚙下セシ

メ或ハ熱蒸氣ノ吸入ヲ行ヒ或ハ喉頭鏡ノ媒介ヲ以テ義膜部ノ腐蝕法ヲ施シ

又或ハ含嗽劑及ヒ下劑ヲ投シ或ハ刺戟灌腸ヲ行ヒ而シテ一般ニ病室ノ換氣

法ニ注意スヘシ其他實扶的里亞ノ條ヲ參照スベシ

○鹽剝

一〇、〇

水

五〇〇、〇

單舍

二〇、〇

右含嗽料每半時ニ用ユ(每一時

半食匙ヲ内服ニ供スルヲアリ)

○石炭酸

二〇、〇

濃厚酒精

二〇、〇

偪里設林

五〇、〇

水

一五〇、〇

右調和含嗽料

沃度加留謨

一、五

水

一〇〇、〇

單舍

二〇、〇

右調和二時一小兒匙

○撒散

二、〇

炭酸那篤留謨

一、〇

水

五〇〇、〇

單舍

二〇、〇

右調和每一時一小兒匙

シテ用フ可シ(微温ニ

○昇汞

〇、〇一乃至〇、〇五

水

一〇〇、〇

單舍

一〇、〇

右調和每時一茶匙

熱度ノ劇甚ナル者ハ左方ヲ處スベシ

○硫規

一、〇乃至二、〇

白糖

五、〇

右研和散十包ニ作り每二時一包

下劑トシテ本症ニ適用スヘキ者ハ左方

○旃那浸

(二、〇)一五〇、〇

鹽剝

五、〇

滿那舍

二〇、〇

右調和每一食匙

格魯布性義膜ノ塗布藥ニハ左方効有リ

○石炭酸

一、〇

濃厚酒精

各一〇、〇

偪里設林

右調和塗布料

各一〇、〇

### 格魯布性喉頭炎

○苛性加里 一、〇  
 水 二〇、〇  
 ○右調和塗布料  
 沃度仿膜 各三、〇  
 乳糖  
 右調和吸入料 各三、〇  
 小兒ノ年齢ニ從ヒ安息香酸曹達五、  
 ○乃至一〇、〇ヲ用井テ効驗ヲ認ムル  
 コト有リ又必要ノ場合ニ於テハ左ノ吐  
 劑  
 ○吐酒石 〇、一  
 亞拉昆亞護膜漿  
 覆盆子舍 各三〇、〇  
 右調和每十五分一小兒匙  
 ○吐根浸 (〇、五)一〇〇、〇  
 單舍 二〇、〇  
 右每十五分時一小兒匙(吐劑)  
 若シ窒息狀ノ豫診有リテ吐劑ヲ用フル

能ハサルトキハ先ツ左ノ興奮藥  
 ○馨香 〇、一乃至二、〇  
 白糖 二、〇  
 右研和散五包ニ作り毎二時一包  
 吸入劑ニハ鹽剝明礬石灰水等左方  
 ○石灰水 一二、〇  
 醋水 一〇〇、〇  
 右吸入料(一日數回)  
 ○貌羅謨 各〇、二  
 貌羅謨加留謨 一〇〇、〇  
 水 一〇〇、〇  
 右調和海綿ニ滴シ吸入セシム  
 ○有加里油 五、〇  
 再留酒精 二〇、〇  
 水 一八〇、〇  
 右振盪シテ用フ(十回ノ吸入量)

○肝臟ガストマ *Leberdistoma.* シレトベル  
 シストマ

○(原由) 長サ十一乃至十六密迷幅ニ乃至二十九密迷ナルズストマ蟲ノ膽管内ニ發生  
 スルニ原因ス日本ニハ比較的多ク全國ニ散在ス又タ一二ノ地方ニハ地方病  
 タリ例之ハ仙臺及岡山附近ノ如シ  
 ○(診候) 輕症患者ハ殆ント訴フルトコロナシ便中卵ノアルニ因テ其患者タルヲ知ル  
 ノミ重症ニ在テハ衰弱、心窩壓迫、食慾不正、肝臟屢々肥大シテ硬シ脾モ又  
 タ肥大シ貧血ヲ呈シ遂ニ衰弱ニ由テ死ス○大便中ニ固有ノ卵アリ  
 ○(療法) 未タ特效藥ナシ轉地療法ヲ良トス

○癩病 *Lepra.* ーブツ

○(原由) アルマツエル、ハンセン氏ノ發見シタル癩病桿狀菌ノ侵襲  
 ○(診候) 斑紋癩ニアリテハ顔面、臀部、四肢ニ赤色ノ斑ヲ發シ、結節癩ニ在リテハ結  
 節ヲ生シ次テ斑紋結節ノ吸收、消散或ハ結節ノ崩潰等ヲ來シ後ニハ多ク知覺  
 麻痺ヲ發ス○神經癩ニアリテハ知覺過敏、神經痛ヲ以テ始リ知覺脫失營養  
 障害ヲ來シ神經肥厚ス又顔面麻痺ヲ發スルコトアリ  
 ○(障礙) 不良  
 ○(療法) 内服ニハ大楓子油、撒酸、撒曹、イヒチカール、結麗阿曹篤ヲ與ヘ外用ニハ

「イヒチオール」没食子酸、麗曹兒珍、撒酸ヲ用井其他結麗阿曹篤油（結麗阿曹篤棒油等分）或ハ大楓子油（大楓子油棒油等分）ヲ隔日一筒宛腎筋内ニ注射シ又々焼灼、炙點ヲ處ス、尙ホ對症法トシテ疼痛ニハ莫比、麻痺ニハ斯篤利幾尼涅ノ注射電氣療法ヲ施シ潰瘍ニハ制腐劑ヲ用ユ

### ○白血病 Leukæmie. ロイゲミー

（原因）寒胃、月經變常、精神感動、梅毒、間歇熱、肺炎、及脾淋巴腺、骨髓ノ損傷及疾患、下腹充血、慢性下痢、結核等ニシテ貧賤社會丁年以上ノ男子ニ多シ

（診候）白血球非常ノ増加脾性白血病ニ在テハ脾肥大シテ硬固ナル一大塊ヲ作シテ骨髓性白血病ニ在テハ骨ニ疼痛（胸骨痛）ヲ發シ淋巴腺性白血病ニ在テハ淋巴腺ノ皮下及腹内ニアルモノ著シク腫張ヲ呈ス其他全身倦勞、食思缺損、心悸亢進、頭痛、眩暈、失神、皮膚ノ弛緩失色或ハ癢痒、惡液質、呼吸短促、下腹痞滿、衄血、下血、咯血、腹水、浮腫、尿中多量ノ尿酸及窒素ヲ含有スル等ナリ

（療後）不良  
（療法）原因ニ注意シ即チ脾、骨等ノ創傷、月經變常、精神感動、梅毒、間歇熱、腸加答兒等ノ治法ヲ行ヒ多量ノ規尼涅ヲ投シ（殊ニ無晶形鹽酸規尼涅ヲ良トス）同時ニ脾部ノ冷却法ヲ行フ可シ○若シ本症ノ骨疾患ニ因ル者ニハ沃度加里（一日量一、〇乃至二、〇）ヲ投シテ効有リ○慢性脾腫ヲ縮小センカ爲メニハ

麥角越幾斯、法列兒氏水ノ皮下注射ヲ行フテ効アルモノトス又滋養食用トシテ肉美汁ニ「ペプトー子」麥酒等ヲ加フ可シ

- 林檎酸鐵丁 二五、〇 ○ 鹽規 各二、〇
- 鹽規 二、五 白糖 右十包二分チ毎二時一包宛
- 法水 五、〇 有加里油 百滴
- 右一日三回每食後二十滴宛（漸 ○ 次增量五十滴ニ至ル）
- 沃剎 二、〇 白蠟 各四、〇
- 餽水 二〇〇、〇 亞爾答亞根末 七、五
- 右一日六回二分分服 右百粒トシ毎日三回三乃至五丸

### ○苔癬 Lichen. ニッケン

（原因）腺病性惡液質ニ由ル者ト一種原因ノ不分明ナル者トノ別有リ甲ハ兒童ニ多ク乙ハ丁年以上ノ者ニ多シ

（診候）多クハ軀幹ニ發シ又顔面及ヒ四肢ノ内側面ニ發スル粟粒大黃赤色若クハ褐色ノ丘疹ナリ稀ニハ全身ニ發シテ其丘疹ノ極メテ赤色ナル者有リ又環狀ニ排列スル者アリ皆糠狀落屑ヲナス

（療法）腺病性ノモノハ良、紅色苔癬ハ適當ナル療法ヲ施セバ概子良ナルモ然ラザ

レバ不長

(療法) 腺病ヨリ來レル者ニハ肝油ヲ内外用ニ供シ又毛髮苦癬ニハ石鹼ヲ用テ洗滌後緩和軟膏ヲ塗擦シ又紅色苔癬ニハ砒石製劑ヲ用フ(乾癬ヲ對照セヨ)又左ノ石炭酸昇汞軟膏ノ外用ヲ内服藥ニ代用シテ効アリ

○ 白降汞 三、〇 昇汞 〇、〇五乃至一、〇

華攝林 右調和一日數回全身ニ塗擦ス

刺納林 各一五、〇 〇 苦利沙羅並トラウマチ、ン

右塗擦料 (五、〇)五〇、〇

○ 單軟膏 五〇〇、〇 右塗布料

石炭酸 二〇、〇

○ 肺ヂヌストマ *Langendistoma* ルンゲンヂヌストマ

(原因) 「ベルツ」氏ノ明治十一年ニ發見シタル寄生蟲ニ原因ス該肺ヂヌストマ蟲ハ日本、臺灣及朝鮮ニ多シ日本ニ於テハ全國ニ之レアリト雖モ九州殊ニ熊本縣、岡山縣、長野縣、宮城縣ニ多シ

(診候) 數月或ハ數年毎日殊ニ毎朝血痰ヲ咯出ス其色多クハ汚帶褐赤色ニシテ鮮紅ナルハ極メテ稀ナリ患者ハ血痰咯出ノ他凡テ自覺的及他覺的症候ヲ呈セスシテ(稀ニ胸痛アリ)健康ニ害ナキモノ、如シ〇咯痰中ニ固有ノ卵ノ發見ス

ルニ由テ診斷ス

(豫後) 良

(療法) 未タ特效藥ナシ轉地療法ヲ長トス

○ 狼瘡 *Lupus* ルプス

(原因) 結核「パチルス」ノ侵入ニ由ル

(診候) 主トシテ顔面殊ニ鼻尖、鼻翼、頰、耳、額等ノ部位ニ發スル暗偏平密發性ノ硬丘疹ニシテ白色有癩ノ癩痕ヲ貽ス、潰瘍ハ侵蝕性ニシテ骨質ヲ侵ス「有リ

(療法) 患部ノ局所麻醉ヲ行ヒ而後銳匙搔剔法或ハ尖刀穿刺法或ハ亂切法等ヲ行ヒ又綿花壓定繃帶ヲ施ス〇結節及浸潤部ノ腐蝕法(殊ニ顔面ニアル者)ニハ一週ニ回銳尖ナル熔製硝酸銀或ハ「バクレン」氏燒灼器ヲ用フ〇小兒ニハ先ツ沃度侷里設林、沃度丁幾、灰白水銀軟膏等緩和劑ノ外用ヲ試ミ内服ニハ肝油、沃度加留謨、鐵劑等ヲ用フベシ「コツホ」氏液ニ付テハ肺勞ノ條下ヲ見ル可シ〇光線療法大ニ効アリ

○ 熔製硝酸銀(即チ棒硝酸銀)一〇、〇 右調和塗布用(潰瘍面ニ用フ)

右腐蝕桿 〇 苛性加里 五、〇

○ 結晶硝酸銀 各五、〇 水 右調和綿撒絲ニ浸シテ塗布 一〇、〇

水 各五、〇

肺ヂヌストマ 狼瘡

○苛性加里

生石灰

各一〇、〇

濃厚酒精

適宜

右調和軟泥ニ作ル此劑ハ所謂維納腐蝕泥ナル者ニシテ每應用時ニ新製シ十分時間ヲ待テ後チ使用ス可シ又此諸成分ヲ各自單獨ニ用フルコトアリ左方ノ如シ

○熔製苛性加里 二〇、〇

○右腐蝕用

二〇、〇

○生石灰

二〇、〇

右腐蝕用

○酒精

右塗布用

五〇、〇

又格魯兒亞鉛、石炭酸及「ヒロガルス」酸「コスメ」氏「ランドルヒ」氏「カンコイソ」氏等ノ巴斯答或ハ電氣燒灼器ヲ用フルコト有リ

○乳酸

一〇、〇

右毛筆或ハ綿花ヲ用テ塗布ス

○沃度加留謨

一〇、〇

沃度

五、〇

屈里設林

二〇、〇

右調和一週三回塗布

### ○淋巴管炎

*Lymphangiolitis.* リンファンギオイトシス

○(原因) 染毒創、下疳等ニ於テ見ルカ如ケ或ル炎源ヨリ膿病細菌ノ侵入スルニ由ル

○(診候) 淋巴管行路ノ疼痛腫起及其外層結締織炎及尿管充血ニ係ル嫩赤線ノ皮下透

○(豫後) 速カニ治療ヲ加フレハ其下疳ニ續發スルモノハ凡テ良

○(療法) 四肢ヲ高位ニ置キ刀背ノ厚サニ水銀軟膏「イヒチオール」軟膏ヲ塗布セル際

定布ノ四肢纏絡法ヲ行ヒ薄油紙ノ包纏帶等ヲ施シ又波動著シキ者ニハ切開、排膿管挿入、防腐纏帶等ヲ施ス可シ

### ○恐水病

(狂犬病) *Rabies.* リンパ

○(原因) 狂犬等ノ咬傷ニ由テ其液中ニ含メル病毒ノ傳染ナリ (狂犬咬傷ニ因スルモノ九十% 猫及狼ヨリスルモノ各四% 狐ヨリスルモノ二% ナリ)

○(診候) 負傷後十八乃至六十日間ノ潜伏期ヲ經テ鬱鬱亢奮不穩不眠等精神上ノ障礙

ヲ來タシ食氣缺損シ已ニ治癒セル咬傷部ノ腫脹灼熱疼痛等ヲ發ス次テ發作

性呼吸及ヒ咽頭ノ痙攣ヲ發ス特ニ液體ヲ目撃スルトキニ甚シ又同時ニ全身

間代性ノ痙攣ヲ起ス○五管器神經ノ反射機能亢進其他流涎症ヲ發ス脈ハ初

メ強實漸次弱且頻體溫僅カニ昇騰ス痙攣等ノ諸症輕快スルモノ全身ノ衰弱ヲ

來タシテ死ス

○(豫後) 概テ不良

○(療法) 其咬傷部ヲ直チニ切除シ又其部ヲ燒灼スルヲ豫防法ノ最良ナルモノトス

「パストエール」氏接種法ハ甚タ有効ナリ狂犬ノ咬傷ナルコト確實ナルハ

必ス速ニ此法ヲ用ユベシ

既ニシテ本病ヲ發シタルトキハ患者ヲ隔離シテ嚴重ニ看護シ自傷等ノ害ヲ

淋巴管炎 恐水病

防禦セサルヘカラス又抱水格魯拉爾ノ内服莫爾比涅或ハ必魯加兒必涅或ハ「クラーレ」等ノ皮下注射ヲ施ステ宜トス

- クレオリン 四、〇乃至八、〇 水 五〇〇、〇
- 右洗滌料 二〇〇、〇 水 右調和咬傷部洗滌用
- 昇汞 二、〇 石炭酸 各一〇、〇
- 酒精 二〇〇、〇 濃厚酒精 二〇〇、〇
- 右創傷消毒料 右調和咬傷部洗滌料
- 苛性加里 五、〇

○馬疫 *Malleus* マリス 一名馬鼻疽

(原因) 馬鼻疽桿菌ノ傳染ニ因ル馬丁、馭者、騎兵、獸醫ニ多シ  
 (診候) 感染部ノ炎症、及ヒ其比隣淋巴管ヲ傳搬スル炎勢波及、患部ノ下疳様潰爛、患部ノ丹毒様腫起、胃症ヲ伴フ熱候、關節ノ痲痺質私性疼痛起腫ニ次ク患部周邊赤キ結節ノ發生及其膿膿壞疽等ニシテ内臟ニ移轉シテ内臟、筋肉、皮下峰窩織ニ轉移性結節及膿瘍ヲ生シ高熱ヲ發シテ數日乃至一二週ニシテ死ス  
 (急性) 或ハ慢性ニ經過ス慢性ノモノハ死亡數五十%  
 (療法) 先ツ傳染部ヲ或ハ苛性加里或ハ硝酸或ハ石炭酸等ヲ用井テ腐蝕シ而シテ發

病セル者ニハ膿腫ノ切開鼻腔ノ撒里矢爾酸溶液洗滌等ヲ行フ

○躁狂 *Mania* マニア

(原因) 遺傳ハ本病ノ半数ヲナス、誘因ハ情感ノ劇變、身體ノ疲勞、慢性亞爾簡保爾中毒、頭部外傷、日射病等ニシテ二十乃至二十五歳ノ間ニ多シ  
 (診候) 原發性發揚、原發性意想奔逸及ヒ原發性運動性激越ヲ以テ主徴トナス而シテ前驅症トシテハ四乃至六週間病的抑鬱、不眠、腸胃病、能力減少ヲ訴ヘ萬事決斷シ難ク往々心氣性忘想ヲ發ス全經過ハ三乃至九ヶ月ニテ治シ或ハ續發的癡狂ニ陥リ或ハ死亡ス(原發性トハ幻覺或ハ妄想ニ因セサルヲ云フ)  
 (豫後) 概子良、重症ノモノハ多少精神衰弱ヲ殘ス  
 (療法) 癡狂院ニ入院セシムルヲ最良トス而シテ隔離法ヲ施シ懇ニ安臥靜息セシムルコト肝要ナリ而シテ腦充血ニハ頭部ノ冷罨法ヲ行ヒ貧血家ニハ有力ナル滋養物ヲ與ヘ看護ヲ嚴ニスヘシ劇甚ノ亢奮煩燥ニハ隔離法ヲ行ヒ持久ノ溫浴(列氏二十三度乃至二十六度)ニ併セテ頭部冷罨法ヲ行フ可シ○不眠症ニハ貌羅謨加留謨或ハ非沃斯矢亞謨斯ヲ内服トシ又或ハ抱水格魯拉爾「ズルフホナル」<sup>ル</sup>、<sup>ル</sup>「パルアルデヒード」ヲ用フ  
 ○ 抱水格魯拉爾 五、〇 右一茶匙ヲ葡萄酒、麥酒ニ混シ  
 餽水 一〇、〇 用ユ



- 抱水格魯拉爾 四、〇
- 沙列布漿 六〇、〇
- 右溫メテ灌腸スヘシ
- 橙皮舎 各一五、〇
- パルアルデヒード 三、〇
- 橙皮丁 一五、〇
- 右砂糖水ニテ頓服
- パルアルデヒード 三、〇

○ 急性乳腺炎 Mastitis acuta. イスチーチス、アグーダ

〔原由〕乳房ノ腫裂、咬傷、潰瘍等ヨリ醗膿菌ノ乳腺内ニ侵入シテ發炎スルニ因ス專  
 ラ授乳婦人ニ多シ稀ニ妊婦及妙齡ノ處女ニ發ス  
 〔診候〕乳房内ニ硬結ヲ生シ疼痛甚タシ其後腫脹、潮紅等ヲ加ヘ遂ニ波動ヲ呈シ放  
 置スレバ自潰シテ膿汁ヲ排出ス但シ輕症ニ在テハ化膿セズシテ消散スルコ  
 トアリ又々重症ニハ惡寒及高熱ヲ伴フ  
 〔理法〕經症ニシテ消散スルモノ及早ク切開ヲ施スモノハ良、自潰シタルモノハ經  
 過久シクシテ乳腺ノ萎縮ヲ發スルノ虞アリ  
 〔療法〕水銀軟膏或ハ「イヒチチール」軟膏ノ塗擦溫電法ヲ施シ吸出器ヲ以テ乳汁ノ  
 排泄ヲ圖リ尙未タ化膿セサル者ハ三角繃帶ヲ用井テ乳房ヲ提擧スルカ又患  
 側ノ上肢ニ擔布ヲ施シ劇痛ニハ哺乳ヲ禁ス可シ而シテ乳汁分泌ヲ減センカ  
 爲ニ下劑ヲ投ス○消散ノ望ナキトキハ速カニ乳嘴ニ對シテ放腺狀切開ヲ行

- ヒ防腐繃帶ヲ施ス可シシ
- 機那煎 (一〇、〇) 一五〇、〇
- 沃度仿謨 一、〇
- 單舎 三〇、〇
- 古魯胃謨 一五、〇
- 右調和每朝半量頓服或ハ全量
- 右塗布料

○ 乳房痛 Mastodynie. マストヂニ

〔原由〕房ノ神經痛ニシテ乳汁過多或ハ比斯的里生殖器病等ニ來ル  
 〔療法〕繃帶ヲ用井テ乳房ノ重キヲ支ヘ且ツ「フヲ子ル」毛皮等ヲ纏フテ原因ヲ除ク  
 コトヲ勉メ以テ乳房ヲ温包シ劇痛ニハ莫兒比涅ノ皮下注射ヲ施ス其他  
 ○ 石鹼硬膏 各一〇、〇  
 ○ 濃厚苦扁桃水 二〇、〇  
 ○ 荳蔻越 各一〇、〇  
 ○ 忽布滿氏鎮痛液 五、〇  
 ○ 荳蔻丁 五、〇  
 ○ 右布片ニ攤シテ疼痛部ニ貼ス  
 ○ 右調和朝夕二回塗擦

○ 鬱憂狂 Melancholia. メランコリヤ

〔原由〕遺傳ハ大凡六〇%ヲ算ス、營養障害モ亦原因ヲナス其他驚愕、心痛等感情ノ  
 劇動、妊娠、破爪、產後ハ本病ノ誘因ヲナス  
 〔診候〕原發的(即チ幻覺、妄想ニ因セザル)抑鬱、考慮制止、運動制止ノ三症ヲ以テ

主徴トナス而シテ前驅症ヲ呈スルモノアリ或ハ然ラサルモノアリ前驅期ノ諸症ハ過敏、心身疲勞、頭壓、不眠、食思缺乏及ヒ便秘トス全經過ハ三乃至八ヶ月ニシテ治ス然レトモ又癡狂ニ陥リ或ハ死スルモノアリ

(豫後) 輕症ハ良、昏迷性ノモノ遺傳アルモノ絶食症アルモノ及老人ハ不良

(療法) 輕症ヲ除クノ外ハ必ス癡狂院ニ入院セシムベシ自宅治療等ニ在テハ看護十分ナルコト雖ク遂ニ自殺ノ不幸ヲ見ルコト多シ而シテ治療ニハ鐵劑等ヲ用テ營養ヲ改良シ周圍ヲ靜肅ナラシメ精神ヲ亢奮スル事物ヲ遠ケテ喧燥ナル快樂遊逸慰諭等ヲ避ケ而シテ隔離法ヲ最良ナリトス

可成患者ヲ靜臥セシメ殊ニ發症最モ多キ自殺ヲ嚴戒シ且ツ沈鬱スル時ニハ莫兒比涅酒精「コンニヤック」酒等ヲ與ヘ恐怖ノ發作ニハ莫兒比涅ノ皮下注射ヲ行ヒ不眠ニハ多量ノ麥酒或ハ「パルアルデヒード」「ブルフォナル」ヲ與ヘ斷食ニハ食道消息子ヲ用井テ人工營養法ヲ行フベシ

鹽莫 右調和頓服

水 二五、〇 〇 枸橼酸安母尼亞加必骨磷酸鐵二、〇

白糖 五、〇

〇 「パルアルデヒード」 三、〇乃至六、〇 右研和散十包ニ作り一日三回每

一包 五、〇

橙皮丁 二〇、〇 〇 抱水格魯拉爾

甘草羔 一、五

右二十丸トシ石松子末ヲ衣トシ 〇、五

不眠ノ際八乃至十丸頓服 〇、五

〇 複方規那丁 一〇、〇 亞拉昆亞護膜漿 適宜

設里酒 一四〇、〇 右二十五丸トナシ桂皮末ヲ衣トシ 每夕二乃至三丸

右每日四回一食匙宛

### 〇 腦膜炎 Meningitis. メニンギチス

(原因) 結核性腦膜炎ハ結核「バチル」スニ因テ發ス二年乃至七年ノ腺病性小兒ニ多シ〇單純性腦膜炎ハ頭部ノ外傷、岩樣部骨瘍、丹毒、肺炎、流行性感胃、急性發疹諸病、窒扶斯、膿毒症、日射病等ニ來ルモノナリ

(診候) 結核性腦膜炎ニ於テハ食氣不振、倦怠、發熱ヲ反覆シ來ルコト一週乃至一月(前驅症)次ニ頭痛、嘔吐、食氣不振、心身倦怠、發熱、嗜眠、舌苔、便秘ヲ發シ大凡一週ノ後呻吟遲脈、且脈搏不正ヲ呈シ諸症増進スレバ斜視、牙關緊急、項部反張、嗜眠瞳存左右不同ノ散大、反應ノ感少、肚腹舟狀陷沒其後脈搏頻弱トナリ痙攣、麻痺、昏睡「シャイン」ス「トック」氏呼吸ヲ發シ或ハ痙攣心臓麻痺ニヨリテ斃ル嘔吐ヲ發シテヨリ死ニ至ルマデ二週乃至三週〇單純腦膜炎ハ寒戰、體溫暴騰、頭痛劇烈、眩暈、譫語、昏睡、嘔吐、牙關緊急、脈搏不正遲

徐、播擻、痲癩等ニシテ經過概チ一二日乃至一週半ナリ

(陽後)不良

(療法)

可及的周圍ヲ靜肅ニシテ病室ヲ暗クシ水銀軟膏塗擦水糞法或ハ冷布纏絡法等ヲ行ヒ脈搏強實營養佳良ナル者ニハ耳後水蛭六條乃至二〇ヲ貼ス可シ  
○内服ニハ規尼涅及ヒ沃度加留謨(一日一、〇乃至二、〇)ヲ與ヘ急性諸症ノ減退スルヲ待テ滋養物及ヒ強壯劑(鐵劑等)ヲ投スヘシ  
○頭部強直症ノ反覆發作スルモノニハ臭素加里或ハ沃度加里ヲ用井テ効有リ尙ホ急癩ノ條下ヲ參照スベシ

小兒ニハ左方ヲ處ス

○甘草

〇、〇一五乃至〇、〇五

乳糖

〇、三

○水蛭

右爲一包與十包每二時一包宛

○水銀軟膏

右耳後ニ貼ス(但シ強實ノ小兒ニノミ用ユ)

○刺納林

六、〇乃至一二、〇

○水銀軟膏

右六包ニ分チ蠟紙ニ包ミ與フベ

○刺納林

二四、〇

シ每三時半包ヲ頸、項、上肢ニ塗擦スヘシ

○沃度仿謨

二、〇

○彈力性古魯胃謨

三〇、〇

右額、頭部及項ノ皮膚ニ塗布スヘシ毎日三乃至四回

痲癩症アルトキハ左方

○抱水格魯拉爾

〇、一乃至〇、五

○餛水

五〇、〇

右濯腸一回ノ料

○抱水格魯拉爾

一、〇乃至二、〇

○餛水

一〇〇、〇

○橙皮舍

二〇、〇

○ズルフオナール

〇、五乃至一、〇

○乳糖

〇、三

右一包トナシ與六包每三時一包

既ニシテ昏睡弱衰アルモノニハ水蛭、

水糞法ヲ用井ズ反テ興奮劑ヲ投ス

○樟腦阿列布油

一〇、〇

右四分一筒乃至半筒皮下注入料

○樟腦

一〇、〇

○安息香酸

各〇、〇五

○白糖

〇、三

右爲一包每二時一包宛

○大人ニハ左方ヲ處ス

○水蛭

十乃至二十條

右耳後ニ貼ス(強實ノ者ニノミ)

○發泡古魯胃謨

三〇、〇

○吐酒石軟膏

二〇、〇

○右豆大ノ量ヲ剃髮セル頭部ニ塗擦スベシ

○但シ塗擦後其奏効ニ注意シ奏効アルトキハ直チニ之レヲ除クベシ然ラザレハ頭皮壞疽ヲ生ハルコトアリ注意ヲ要ス

○甘草

〇、一

○薊刺巴根末

〇、一

○白糖

各〇、五

○鹽莫

〇、二

○餛水

八、〇

○偏里設林

二、〇

右四分一筒乃至半筒皮下注射料(臍語甚シキ際)

○

○

○

○

○

右四分一筒乃至半筒皮下注射料(臍語甚シキ際)

樟腦  
依的兒  
阿列布油

一、〇 右一日數回一筒宛(嗜眠ノ際)  
二、〇 芥子末 二〇〇、〇  
八、〇 右爲泥腓腸部ニ貼スベシ(同上)

### 流行性腦脊髄膜炎

*Meningitis cerebrospina-*

*lis epidemica.* メニンギチスチエ  
スビナーリスエビデミカ

(原因) 一千八百八十七年「ライクセルバウム」氏ノ發見シタル腦膜炎細胞内球菌ナ  
リ小兒及年少者ニ多シ

(診候) 通例戰ニ惡寒ヲ發スルコト數回稀ニハ一回ノ寒戰ヲ以テ體溫昇騰シ三十九  
度乃至四十度以上ニ達ス頭痛、眩暈、嘔吐、知覺過敏、脊椎ニ於ケル疼痛、  
項背諸筋ノ疼痛ヲ訴フ急性症ニアリテハ第一日ノ終若シクハ第二日ニ既ニ  
項部強直ヲ發シテ頭ヲ前後ニ動スコト難ク漸次後方ニ屈曲ス後脊柱モ亦多  
少強直ヲ生ス而シテ腹部ハ陷凹シ全身諸筋ノ痙攣ヲ來タシ腹壁ハ緊張ス視  
神經及聽神經ノ障害眼筋麻痺顔面神經麻痺等ヲ發ス試ニ皮膚ヲ刺戟スレバ  
該部ニ赤色ノ斑ヲ發シテ久シテ消散スルコトナシ(トルッソー氏現象)又口  
唇ノ泡疹ヲ發スルコト多シ

(鑑別) 結核性腦膜炎ハ徐々ニ發生シ「クインケ」氏ノ腰椎穿刺法ニ依テ腦脊髄液中

ニ結核菌ヲ證明シ得ベシ本病ニアリテハ之ニ反シテライクセルバウム氏菌  
ヲ發見ス

(溼後) 多クハ不良性快復後頭痛聾癩及麻痺ヲ殘スコトアリ

(療法) 心身ノ安靜ヲ命シ病室ハ暗ク且靜ナランコトヲ要ス頭部及脊柱ニ沿フテ氷  
囊ヲ貼シ強壯ナル患者ニアリテハ項部或ハ耳後ニ水蛭ヲ貼シ甘汞ヲ與ヘ或  
ハ水銀軟膏ノ塗擦若クハ貼用ヲ試ムベシ撒曹ヲ與ヘテ良好ヲ得タルモノア  
リ疼痛不安ノ甚タシキハ莫比ヲ與フ其他常ニ便通ニ注意シ灌腸ヲ行ヒ或  
ハ緩下劑ヲ投ス腰椎穿刺法ハ診斷的或ハ對症的ニ試用スベシ

- 甘汞 〇、〇五 〇 水銀軟膏 二、〇—五、〇
- 乳糖 〇、五 右分二包一日一回一包宛塗擦
- 右爲一包與十包毎二時一包通利 〇 水銀レゾルビン 二、〇—五、〇
- アレハ後腹ヲ止ム 〇 水銀レゾルビン 二、〇—五、〇
- 右分二包一日一回一包宛塗擦

### 陣痛微弱

*Metrorrhoea.* メトラーキネーシム

(原因) 專ッ先天性子宮筋層發育不全ニ基ク其他羊膜水腫、雙胎

(診候) 陣痛間歇時甚タ長クシテ子宮硬固ナラス分娩緩慢ニシテ殆ント中止セルガ  
如シ

(療法) 開口期ニ於テハ不良ナラス排出産期及後産期ニ在テハ害多シ

流行性腦脊髄膜炎 陣痛微弱

○**療法** 先ツ膀胱及直腸ノ内容ヲ除キ第一分娩期(開口期)ニ於テハ單ニ對症療法ニ止リ第二(產出期)就中其末期ニ至テ始メテ麥角ヲ用フヘク(子宮孔ノ開大既ニ分娩ニ充分ナル迄ノ時期ニ於テハ麥角ヲ禁ズ)且ツ其胎兒ノ心音正シク母體ノ無熱ナル時ニノミ此藥ヲ適用スルモノトス或ハ器械ヲ用テ分娩ヲ催進スルヲ宜トス又子宮ヲ按摩シ或ハ產婦ニ適宜ノ位置ヲ取ラシメ或ハ卵膜破開等ヲ施スコト有リ產婦疲勞甚ダシキハハ麻醉劑ヲ與ヘ一時安靜ナラシムベシ

- 麥角末 各二、〇乃至三、〇
- 白糖 右調和每半時一食匙
- 右研和散五包ニ作り每十五分時 一包
- 麥角浸 各二、〇乃至三、〇
- 單舍 右調和每半時一食匙
- 麥角末 各二、〇乃至三、〇
- 白糖 右調和每半時一食匙
- 右研和散五包ニ作り每十五分時 一包
- 麥角浸 (五、〇)一八〇、〇
- 單舍 二〇、〇

### ○子宮炎

(子宮實質炎)

*Metritis.*

メトリチス

○**原因** 急性子宮實質炎ハ淋毒性子宮内膜炎、子宮創傷傳染病特ニ分娩後ニ發シ慢性性症ハ概子他ノ子宮炎ニ續發ス其他子宮充血ヲ惹起スル諸件即チ分娩後子宮收縮不全ノ際、過房、手淫等ナリ

○**診候** 急性ニ在テハ惡寒、發熱、下腹部劇痛、譫語、衰憊、膿汁流出、惡心、嘔吐、下痢尿閉、子宮ノ知覺過敏及腫脹、慢性ニ在テハ、腰痛、便秘、尿意頻數、疝痛、子宮增大白帶下等ナリトス

○**療法** 概子良

○**瘡法** 原因タル諸件ヲ治療スルコト必要ナリトス故ニ安臥靜息ヲ嚴ニシ骨盤部ヲ高位ニ置キテ而シテ局部處瀉血(下腹部水蛭貼用)等ヲ行フ其慢性ナル者ニハ毎日一二回腔内ニ溫湯ヲ注入(列氏三十乃至三十五度)ス可シ其他或ハ下劑ヲ投シ濕溫療法、溫浴等ヲ行フヘシ又腔部ニ亂刺ヲ行ヒ沃度仿謨ガ―セテ貼ス

- カスカラ、ザケラダ 流動越二〇、〇
- 右每夕十乃至十五滴宛
- 蘆薈越 六、〇
- 複方大黃越 三、〇
- 複方古魯聖篤越 各一、五
- 鐵粉 右爲丸百粒毎日一乃至三粒
- 沃度 各一、〇
- 沃度加里 各一、〇
- 酒精 二、〇
- 華攝林 三〇、〇
- 右爲軟膏子宮腔部ニ塗布ス
- 沃度仿謨 三、〇
- 華攝林 三〇、〇
- 右同上
- 沃度 一、〇
- 沃剝 五、〇
- 偲里設林 四〇、〇

子宮炎

- 右腔タンポンニ浸シ腔内ニ挿入
- イヒチオール 一〇〇、〇
- 刺納林 各一〇、〇
- 偲里設林 一〇〇、〇
- 右下腹部ニ塗擦ス
- 右同上

○子宮出血 *Metrorrhagia.* メトロラギア

(原因) 卵膜或ハ胎盤片ノ残留、子宮ノ收縮不全、息肉、纖維腫、癌腫、腺腫等ナリ  
 (診候) 原因ノ異ナルニ從テ一定セス  
 (療法) 第一原因療法ヲ旨トシ而シ安臥靜息及ヒ飲食攝生ヲ嚴ニシ冷飲ヲ與ヘ温湯  
 (四十度)ノ子宮内注射ヲ行ヒ或ハ栓塞、下腹冷濯法等ヲ施ス可シ但シ子宮  
 内注射ハ之ヲ行フニ當リテ子宮頸管ノ開通スルヲ肝要ナリトス其他一般ニ  
 麥角越幾斯ノ皮下注射ヲ行ヒ又虚脱ニハ依的兒ノ皮下注射ヲ要スルナリ

- 麥角浸 (五、〇)一八〇、〇
- 「ハルレル」氏酸越歷矢兒 二、〇
- 單舍 二〇、〇
- 右調和每十分時一食匙
- 麥角末 二、〇
- 右散十包ニ作り毎時一包
- 麥角越 一、〇
- 水 一〇〇、〇
- 橙皮舍 一五、〇
- 右調和每時一食匙
- デンツェル氏麥角越 各〇、一
- 麥角末 各〇、一

器ニテ二三滴ヲ子宮腔内ニ注入

- 右二丸トナシ一丸宛一日二回
- 桂皮丁 五〇、〇
- 右每三十分一茶匙
- 依的兒製醋酸鐵丁 一〇、〇
- 醋酸依的兒 五、〇
- 右調和每半時十五滴
- 明礬 五、〇
- 水 二〇〇、〇
- 右調和注入料
- 過格魯兒鐵液 一〇、〇
- 右微温トナシ「ブラウン」氏注射
- 偲里設林 各一、〇
- 水 五、〇乃至一〇、〇
- 右調和皮下注射毎回一筒
- 鹽酸、ヒドラスチニン 〇、〇二五
- 白糖 一、〇
- 右錠劑トシテ十二個ヲ與フ毎日  
四個
- ヒドラスチス越 二〇、〇
- 右毎日數回二十乃至三十滴

○粟粒腫 *Milium.* ミリウム

(原因) 皮脂腺ノ閉塞ナリトス  
 (診候) 粟粒大乃至麻實大ノ小結節ニシテ其色帶黃白色眼瞼、頰、額、額、唇、陰莖、陰囊、  
 小陰唇ノ内面ニ生スルコト多シ  
 (療法) 先ツ細針ヲ紅織シ之ヲ用非テ以テ表皮ヲ穿刺シ而シテ後面胞壓搾器ヲ用非  
 テ以テ内容物ヲ壓搾ス可シ後左方ヲ處ス

子宮出血 粟粒腫

○ 加里石鹼精

五〇〇一

右塗擦料

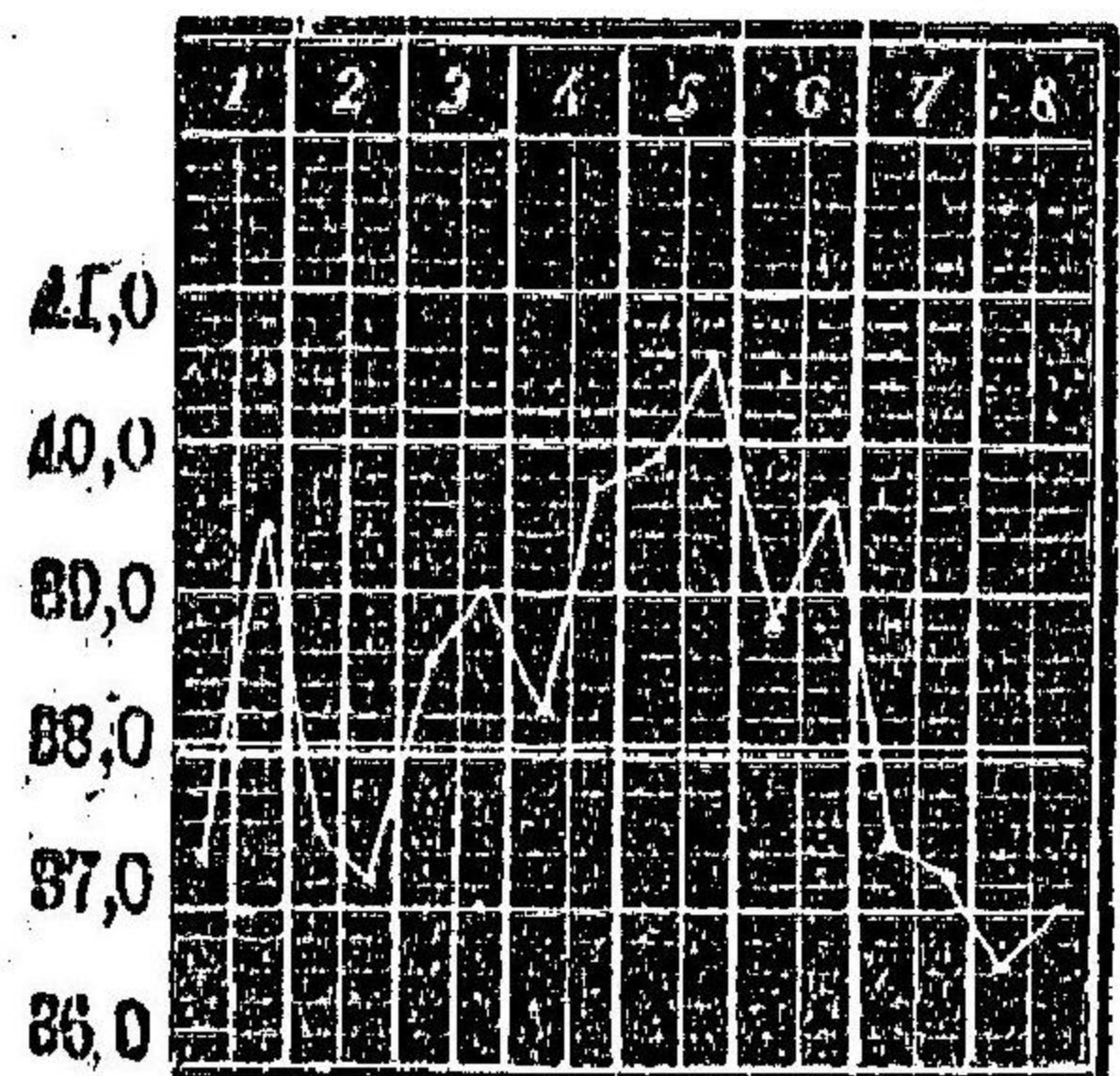
### ○ 麻疹

*Morbilli.*    *Masern.*    *モルビル*    *マゼン*

〔原因〕麻疹ハ特異ナル固有毒ノ傳染ニシテ涙汁・唾液・喀痰・呼氣・皮膚蒸氣・空氣・器具・其媒介トナル傳染力極テ大ナリ

〔發熱〕潜伏期(九日或ハ十日)ノ後前驅期(三四日)ニ移レハ體溫上昇シテ三十八九度ニ達シ噴嚏・流涙・乾咳ヲ發ス其後發疹期ニ達シテ體溫三十九度五分乃至

圖九十二第



前驅期      發疹期      解熱期

四十一度ニ上リ皮膚・粘膜及結膜ニ發疹ス先ツ面部次ニ頸・軀幹及四肢ニ現  
ハル限界ノ判然タル亞麻仁大ノ赤斑ニシテ其中央ニ小丘疹ヲ有ス粘膜及結  
膜ニハ皮膚ニ先チテ之ヲ發スルヲ常トス而シテ加答兒性症候モ亦タ甚々盛  
ナリ既ニシテ一二日ヲ經レハ體溫殆ント或ハ全然分利ニ由テ下降シ第三日  
或ハ第四日ニ發疹消退シ始メ第五日第六日ニハ落屑ヲナシ第八日乃至第十  
日ニシテ恢復期ニ轉ス○合併症ハ結膜炎・角膜炎・鼻炎・咽喉炎・喉頭炎・氣  
管枝及毛細氣管枝炎・中耳炎・腸炎・腎炎ナリ後發病ハ痲咳及結核ナリ

#### 〔豫後〕概子良

〔療法〕全ク待期療法ニシテ安臥靜息ヲ命シ病室ノ氣溫ハ終始之ヲ列氏十五乃至十  
六度ニ維持シ且ツ通氣ヲ便ニシ而シテ本症ニハ加答兒ヲ起スコト甚シキカ  
故ニ病室ヲ暗クシ又身體ヲ同等ニ溫包シ溫食料・緩和劑・緩下劑ヲ投シ通常  
ノ食物ヲ與フ合併症ニハ適宜ノ療法ヲ施ス健兒ハ之ヲ隔離スヘシ但シ本患  
者ニハ決シテ冷飲ヲ與フ可ラス

咳嗽ノ劇甚ナル者ニハ左方ヲ處ス

○ 攝涅瓦浸(一、五―五、〇)一〇〇、〇

阿片丁

二乃至五滴

單舍

一五、〇

右一日六回二日分服

○ 托勿兒氏散

〇、二

白糖

二、〇

右研和散五包ニ作り一日三回每

一包

(〇、三)一〇〇、〇

○ 吐根浸

(〇、三)一〇〇、〇

麻疹

水製阿片越 〇、〇、三  
 安母尼亞茴香精 二〇、〇  
 單舍 二〇、〇  
 右調和每時一食匙  
 古堽乙涅 〇、一乃至〇、一五  
 白糖 二、〇  
 右散五包ニ作り每時三回一包  
 非沃斯越 〇、一五  
 鹽水 七〇、〇

單舍 一〇、〇  
 右每二時一小兒匙  
 鹽莫 〇、〇、一  
 杏仁水 一〇、〇  
 右調和一日數回每五滴ヲ砂糖ニ  
 和シテ用フ  
 其他下痢アル症ニハ陽加答兒ノ療法ヲ  
 行フ

○「アヂソン」氏病 *Morbus Addisonii* モルブス アヂソニー

(原因) 副腎ノ結核、癌腫、梅毒、外傷、及不明ノ原因ヨリ發ス  
 (診候) 皮膚及粘膜ニ發スル暗黒色ト筋力ノ衰弱ヲ主徴トナス  
 (豫後) 不良ナリ  
 (療法) 滋養性食餌、肝油、鐵劑、沃剝ヲ與フ梅毒ノ疑アルトキハ驅梅毒法ヲ行フ

○「バゼドー」氏病 *Morbus Basedowii* モルブス、バゼドーヤ

(原因) 本病ノ原因ハ、頸部交感神經ノ麻痺變性ナリト論セシモ近來ハ其原因ヲ甲狀腺ノ病的作用ニ因スル一種ノ中毒症ナリト云フ是レ醫藥効ナキトキ其切除術ヲ行フ所以ナリ幼壯者及中年者ニ多シ殊ニ婦人ニシテ屢々妊娠スル者、月經異常、比斯的里、貧血性ノ疾有ル者ニ其多キヲ見ル

(診候) 心悸亢進、心臟ノ肥大擴張、脈搏増速、甲狀腺ノ腫大、眼球突出就中特徴ハ上眼瞼舉上シテ眼球鞏膜ヲ蔽ハサルヲ以テ怒視スルカ如キ觀ヲ呈スルニアリ

(療法) 概子良  
 (療法) 精神ノ興奮ヲ禁シ身體ノ勞動ヲ戒メ無刺戟性ノ滋養物ヲ與ヘ田舎ニ轉地セシメ心部ニ冷罷法ヲ行フヘシ貧血家ニハ鐵製劑及ヒ一日ノ量一、〇迄ノ規

尼涅ヲ與ヘ又實答里斯或ハ沃度製劑ヲ投ス  
 軌近胸腺療法ヲ用テ輕快或ハ全治ヲ實驗セリ即チ羊ノ胸腺一〇、〇乃至二五、〇ヲ一週三回ニ分服シ若クハ毎日ニ分服セシム醫藥効ナク病勢増進スルキハ甲狀腺ノ切除術ヲ行フ〇其銼劑ハ一日十二乃至十五回ヲ與フ

沃鐵舍 二〇、〇 苦丁 四、〇  
 單舍 八〇、〇 單舍 二〇、〇  
 右一日三回一茶匙乃至一食匙宛 水 一八〇、〇  
 臭剝 六、〇 沃丁 右一日三回二日分服  
 臭曹 二、〇 沃丁 各五、〇  
 臭素安母紐護 二、〇 五倍子丁



右甲狀腺塗布料

○ 枸橼酸咖啡涅  
白糖

一、二  
三、〇

右研加散十二包ニ作り一日三回  
每一包

○「バンチ」氏病

*Morbus Banti*

モルブス  
バンチ

(原因) 本病ハ一千八百九十四年伊太利國ノ醫「バンチ」氏創メテ之ヲ詳述ス

(診候) 食血及脾腫大肝臓硬化症腹水及出血性ノ傾向ヲ主徴トナス

(瘳後) 不良ナルコトアリ

(療法) 滋養食ヲ與ヘ諸般ノ攝生ヲ嚴守シ沃度劑鐵劑及亞砒酸劑ヲ與フ○脾臓切除術ヲ賞用スルモノアリ

○「バロー」氏病

*Morbus Barlowii*

モルブス  
バロウ

(原因) 一千八百八十三年「バロー」氏創メテ本病ヲ詳述ス一年乃至三年ノ小兒ニ多シ原因未詳ナリ

(診候) 大腿骨ノ骨頭下ニ出血ヲ來タレ疼痛腫起ヲ呈ス其他皮膚出血、齒齦出血、下血、血尿等ヲ呈ス、其他僂僂病ノ如キ症アリ

(瘳後) 不良ナルコトアリ

(療法) 善良ナル牛乳ヲ與ヘ其他攝生ニ注意スベシ小兒既ニ乳汁ノ他ニ食物ヲ要ス

ル時ハ卵黃及野菜ヲ與フベシ

○武雷篤氏病

*Morbus Brightii*

モルブス  
ブライチ

腎臟炎ヲ見ヨ

○「フリードライヒ」氏病

*Morbus Friedreichi*

モルブス  
フリードライヒ

(原因) 遺傳アルノ外不明○解剖的變化ハ後根、後索、クラルク氏柱、小腦側索經路及ヒ其小腦ニ至ル連續錐狀體側索經路ニ於ケル神經纖維ノ消失及續發的、ノイログリヤノ贅殖ニアリ

(診候) 小兒期或ハ春季發動期ニ發生シ步行困難ヲ來タシ次第テ停立性共働機變調ヲ來タス其步行困難ナル踰踰蹣跚泥醉者ノ步行ノ如シ起立時ニ於テ全身動搖ス、言語モ眼球モ等シク共働機ノ變調ニ陥ル蹠反射消失シ趾ノ背面屈曲ヲ生ズ、本病ノ一種トシテ遺傳性小腦共働機變調症ト稱スルモノアリ蹠反射常ニ亢進ス

(瘳後) 不良

(療法) 對症的ナリ即チ專ラ體操的練習ヲ行シム

バンチ氏病 バロー氏病 武雷篤氏病  
フリードライヒ氏病

○「ゼルリエー」氏病 *Morbus Gerliere* 首下り病

モルブリス  
ゼルリエー

(原因) 未詳牛馬ノ厩舎ニ接近セル家屋ノ住人ニ本病ヲ發スルコト多キヲ以テ本病ト家畜トノ間ニ原因上ノ關係アルコトヲ推測スルモノアリ

(診候) 視力減弱、複視、眼瞼下垂、項筋不全麻痺、(首下り)ヲ主徵トス其他諸筋ノ不全麻痺ヲ發ス、本病ハ發作性ニ發スルモノニシテ其持續ハ數分乃至數時間ヲ算ス

(豫後) 難治ノ症ナルモ生命上良

(療法) 沃度劑亞砒酸劑ヲ試用スベシ

○「ウエルホフ」氏血斑病 *Morbus Maculosus*

Werthoff  
モルブスマクロズス  
ウエルホフ

(原因) 不明恐ラクハ傳染及中毒ナラン

(診候) 皮膚及粘膜(殊ニ消化器)數多ノ毛細管出血性斑、吐血、下血、衄血及ヒ全身遠和疲勞等ナリ然レニ齒齦ヲ侵サズ

(療法) 概テ不良

(療法) 飲食攝生及住居ノ改良ニ注意シ衄血ニハ冷水洗滌或ハ栓塞ヲ施シ吐血ニハ

○「ハルレル」氏酸越歴矢兒 氷片ヲ嚥下セシムル等但シ虛弱家ニハ就禱安息ヲ守ラシムベシ

覆盆子舎

水

右調和毎二時二食匙

○ 稀硫酸

覆盆子舎

右毎二時一茶匙一杯ノ水ニテ用

○ 規那煎

稀硫酸

橙皮舎

○ 右調和毎二時一食匙

○ 水製麥角越

水

覆盆子舎

右調和毎二時一小兒匙

○ 枸橼酸鐵規尼涅

麥角越

白糖

右散十包ニ作り毎二時三乃至五

○「ワイル」氏病 *Morbus Weiler* モルブス  
ワイル

(原因) 一千八百八十六年ワイル氏創メテ本病ヲ詳述ス、原因未詳ノ傳染症ニシテ專ラ十四年乃至三十年ノモノニ多ク夏期ニ發生シ殊ニ肉類ヲ扱フモノニ多

(診候) 俄ニ惡寒ヲ發シ、體溫上昇、頭痛、食慾不振、惡心、嘔吐、下痢ヲ發シ第二日ニ

セルリエー氏病  
ワイル氏病

至リ筋痛(殊ニ腓腸部)第三日ニ至リ強度ノ黄疸(急性傳染性黄疸)ヲ生シ屢  
譫語ヲ發スルコトアリ脾臟腫大シ蛋白尿或ハ尿ニ血液、顆粒性圓柱上皮細  
胞ヲ混ズルコトアリ

(豫後) 其一週半ニシテ體溫下降シ恢復期ニ移行ス

(療法) 就樽安靜ヲ命シ内服藥ニハ甘汞ヲ賞揚ス飲食ノ攝生ニ注意シ殊ニ脂肪及牛  
乳ヲ避クベシ頭痛ニハ氷嚢、筋痛ニハ濕溫療法ヲ施シ食慾欠損ニハ大黃丁  
幾ヲ與フ

- 甘汞 〇、三乃至〇、五
  - 乳糖 〇、五
  - 水製大黃丁幾
  - 單舍 二〇、〇
  - 餾水 一八〇、〇
- 右爲一包頓用通利アレバ後服ヲ  
止ム
- 右一日三回二日分服(每食前)

### ○莫兒比涅中毒 *Morphinismus* モルフィンismus

(原因) 阿片或ハ莫兒比涅ノ濫用

(診候) 昏睡、知覺脫失、神識缺乏、皮膚蒼白、脈搏細徐、瞳孔縮小等ナリ

(療法) 服用シタル莫兒比涅ノ分量ニ從ヒ其後服ヲ止ムルニ緩急ノ別ナカルベカラ  
ズ而シテ之ヲ止ムルノ初メ數日ハ補藥トシテ却テ阿片或ハ抱水格魯拉爾ヲ  
與フ可シ〇虛脫ヲ呈シ來レルトキニハ強葡萄酒若クハ「コンニヤヤケ」酒ヲ

與ヘ或ハ一時ノ處置トシテ一乃至二回莫兒比涅ノ皮下注射ヲ施スコトアリ  
豫防法ニハ莫兒比涅ノ皮下注射ヲ制限スル等ニ外ナラス(急性中毒ハ中毒  
ノ部ヲ參照)

### ○毛虱 *Morpiones* モルピチヤン

(原因及診候) 毛虱ノ寄生ニ因ス〇先ツ陰部被毛部ニ時々劇甚ノ瘙痒ヲ發ス後ニハ  
液窩、髯、眉毛ニ蔓延ス患部ヲ檢スレバ毛虱及其卵ヲ發見ス

(療法) 外用藥ヲ塗擦スルノ期毎夕ヲ最適當ナリトス而シテ翌日ニ至レハ石鹼浴ヲ  
行フ可シ且ツ此症ニ於テ見ル處ノ濕疹ハ後之ヲ療スベシ

- 水銀軟膏 五、〇
- 右塗擦料 華攝林 二〇、〇
- 水銀軟膏 右調和軟膏ニ作り塗擦料(藥劑  
ハ只毛虱ノ存スル部ニノミ塗擦  
シ且之ヲ少量ニ用井テ口内炎及  
ヒ濕疹ヲ發セサル様注意スヘ  
シ)
- 華攝林 各五、〇
- 白降汞 右爲軟膏外用
- 華攝林 各五、〇
- 白降汞 右爲軟膏外用
- 華攝林 「ナフトール」 一、〇
- 白降汞 右調和塗擦料 一〇、〇

莫兒比涅中毒 毛虱

- 石油 二〇、〇〇
- 百露拔爾撒謨 一、〇〇
- 右調和塗布料
- クレタリン 二、〇〇
- 水 一〇〇、〇〇
- 右調和患部ヲ反復洗滌スヘシ

○ 脊髓炎 Myelitis. ミエリチス

(原因) 力役過度、熱身冷地ノ睡眠、鉛中毒、經閉或ハ外傷出血、脊髓膜等比隣炎症ノ波及、過房、精神ノ劇動、梅毒、急性傳染病後等ニ由ル

(診候) 急性ニハ劇甚ナル腰痛、背筋ノ強直、熱發及不肢ノ癱瘓慢性ニハ腰痛、軀圍嵌頓ノ感覺、體端蟻行ノ感覺等ニ次テ起ル下肢ノ癱瘓、膀胱麻痺、直腸麻痺等ナリ脊髓炎ノ胸髓ニ在ルモノ最モ多數ヲ占ム而シテ其症候ハ兩下肢ノ麻痺、腱反射ノ亢進、上腹部以下ノ知覺異常腰髓ニ在ルモノハ兩下肢ノ麻痺、腱反射消失、臍部以下ノ知覺麻痺、頸部膨大ニ在ルモノハ兩下肢ノ麻痺、上部ニ以下ノ知覺消失、上肢ノ知覺消失及運動麻痺等、頸髓ノ上部ニ在ルモノハ四肢ノ麻痺、四肢及軀幹ノ知覺消失等

(豫後) 微毒性ノ他ハ不良ナリ但シ經過二十年以上ニ至ルコトアリ

(療法) 梅毒、鉛中毒等其原因療法ヲ主トシ而シテ適當ノ位置ニ安臥セシメ脊柱ニ氷嚢ヲ貼シ撒曹ヲ内服セシム梅毒ノ疑アルトキハ沃剝及汞劑ヲ與フ○劇痛ニハ芥子泥、久臥ニハ導瀉ニ注意シ膀胱麻痺ニハ清潔ノ「カテーテル」ヲ用

井テ排尿ヲ整理シ便通ニ注意シ且ツ營養ヲ善長ナラシムヘシ

- 撒曹 六、〇〇
- 番木鱘越 一、〇〇
- 水 二〇〇、〇〇
- 甘草羔 四、〇〇
- 右一日三回二分服
- 硝酸斯篤利幾尼涅 〇、〇二
- 右四分一乃至一筒皮下注射料、
- 含糖沃度化鐵 二、〇〇
- 白糖 三、〇〇
- 右四分一筒ハ〇、〇〇〇五、一筒ハ
- 右十包ニ作り一日三回每一包

○ 子宮筋腫 Myom. des Uterus ミオーム、マス、ソテルス

(原因) 不明、春期發動期後ニ發ス

(診候) 出血及ヒ疼痛ヲ以テ本症ノ主徴トナス○間質性筋腫ハ子宮增大ヲ來シ月經困難、前屈、或ハ後屈、喇叭管閉塞等ヲ惹起シ月經時外ニモ又出血ヲ來ス○漿液膜下性筋腫ハ分泌過多及ヒ出血ヲ發シ甚タ大トナリ膀胱直腸等ヲ壓迫ス○粘膜下性筋腫モ亦分泌過多及ヒ出血特ニ著明ナル月經困難

(豫後) 概子其ナルモ消化、血行、泌尿ヲ妨ゲ或ハ惡性腫瘍ニ變スルノ虞アリ

(療法) 本病ヲ根治スルニ筋腫ノ剔出ヲ要スルハ論ヲ待タス而シテ其手術ノ豫後猶

脊髓炎 子宮筋腫

ホ悉ク其ナラザルヲ以テ又々對症的ノ療法ヲ行フ即チ子宮粘膜ノ搔爬術ニ兼ルニ其腐蝕法ヲ以テシ或ハ「エルゴチン」ノ皮下注射「ヒドラスチニン」ノ注射若クハ其内服ヒドラスチス流動越ノ内用或ハ電氣療法ヲ用ユ可シ

○ 鹽酸ヒドラスチニン 一、〇  
 右調和每二乃至四時半茶匙乃至一茶匙

○ 鹽酸ヒドラスチニン 一〇、〇  
 右調和半筒乃至一筒注射料（每日或ハ隔日）

○ 鹽酸ヒドラスチニン 〇、五  
 麥角越 二、〇  
 右半筒乃至一筒皮下注射料

○ 甘草羔 適宜  
 デンツェル氏麥角越 二、五  
 右丸十粒ニ作り一日一乃至二丸

○ ヒドラスチス流動越 各三〇、〇  
 硼砂 〇、二五  
 マラセン酒 各三〇、〇  
 錫水 七、二五

○ 桂皮舍 一五、〇  
 注射ス

○ 鼓膜炎 *Myringitis*. ミリンギチス

(原因) 急性症ハ冷水ノ流入(游泳、海水浴ノ際)寒胃、外聽道炎、中耳炎ノ液及ニシテ特發ハ稀、慢性症ハ異物及耳聾

(診候) 急性症ハ劇痛、灼熱、耳鳴聽覺不全、慢性症ハ癢痒及耳漏

(療法) 鼓膜及其周圍部ニ充血ヲ呈シ且少尙ホ劇痛アル者ニハ耳部ニ冷罷法ヲ行ヒ又左方ヲ處スヘシ而シテ洗耳ト通氣ヲ禁ス慢性ニハ洗耳後硼酸末ヲ用ユ

○ 石炭酸 一、〇  
 煨製明礬 各〇、四

○ 偏里設林 二〇、〇  
 水 四〇、〇

○ 鉛糖 〇、一五  
 右調和外聽道ヲ徐ニ善ク洗滌シ之ヲ點入シ栓塞ヲ施スヘシ

○ 水 四〇、〇  
 鼓膜ノ潤濁セルモノニハ左方ヲ處ス

○ 安息香阿片丁 二十滴  
 偏里設林 一〇、〇

○ 右調和一日三回每十滴耳中點入  
 沃度加留謨 一、〇

○ 外聽道ノ腫脹甚タシク排泄物ノ多量ナルトキハ左方ヲ處ス  
 沃度 〇、〇一

○ 硫酸亞鉛 右調和鼓膜塗布料

○ 腎臟炎 (武雷篤氏病) *Nephritis*. ネフリス

(原因) (甲) 急性腎臟炎ハ感冒、急性傳染病即チ殊ニ猩紅熱、實扶的里、丹毒、敗血症、天然痘、慢性傳染病、就中麻拉里亞、結核、梅毒、癩病、中毒就中堯菁、鹽剝、拔爾撒謨劑、石炭酸等其他未詳ノ原因

(乙) 慢性腎臟炎ハ慢性傳染病、優麻質斯、慢性皮膚病、慢性亞爾箇保爾中毒

其他急性腎臟炎及未詳ノ原因

(丙)眞性萎縮腎ハ亞爾簡保爾中毎、鉛中毒、痛風、慢性心臟内膜炎、癱瘓質斯  
(丁)鬱血腎ハ心臟及肺臟病ニ因スル血行障害其他腎靜脈及下行大靜脈ノ壓  
迫、腎血塞、

(戊)妊娠腎ハ妊娠

(己)虎列拉腎ハ虎列拉

(診候) (甲)急性腎臟炎ニ在テハ寒戰發熱、頭痛、腎臟部疼痛、舌苔、惡心、嘔吐、水腫  
ヲ呈シ、尿ハ減少、濁濁、赤色ニシテ沈渣(特ニ圓塊)ニ富ミ且蛋白ヲ含ムコ  
ト著シ面シテ尿毒症肺水腫肋膜炎等ヲ發スルコトアリ

(乙)慢性腎臟炎ニ在テハ皮膚蒼白、水腫、尿量減少、尿比重増加、蛋白尿及尿  
沈渣增多ヲ發シ頭痛、惡心倦怠ヲ訴フ既ニシテ慢性腎炎ノ末期即チ萎縮腎  
ヲ發スレバ水腫減退、尿量増加尿比重減少、蛋白及沈渣ヲ減ス○慢性腎臟  
炎ノ緊要ナル續發症ハ左心室擴張肥大及蛋白尿性網膜炎(通常兩眼ヲ侵ス  
診斷上肝要ナリ蓋シ該網膜炎ニ依テ始メテ蛋白尿アルコトヲ發見スルコト  
アレハナリ)

(丙)眞性萎縮腎ニ在テハ水腫ハ輕微若クハ缺如、尿量非常ノ増加、尿比重ノ  
非常ノ減少(一〇〇三—一〇一二)、蛋白尿及尿沈渣僅微其他蛋白尿性網膜  
炎、動脈血壓亢進ノ症(脈搏硬固、大動脈第二音ノ強盛、左心室肥大)、心悸亢

進、頭痛、眩暈、輕度呼吸困難、腸胃加答兒及鼻出血、腦出血等ヲ續發ス既ニ  
シテ患者心臓衰弱ヲ發スレバ諸症俄カニ變シテ水腫著明、尿量減少、尿比重  
増加(一〇二〇以下)蛋白尿モ亦著明トナリ尿毒症ヲ發ス

(丁)鬱血腎ニ在テハ水腫ヲ發シ尿ハ減少汚赤、冷却スレハ煉瓦赤色ノ尿酸  
鹽沈渣ヲ生シ熱スレバ中等度ノ蛋白ヲ現ハシ沈渣ヲ鏡檢スレバ多量ノ無晶  
形尿酸鹽ト少量ノ三磷酸鹽赤白血球硝子樣圓塊アリ

(戊)妊娠腎ハ妊娠第三月後ニ發シ水腫、頭痛、惡心、嘔吐ヲ來タシ屢々急癩  
ヲ發ス而シテ尿量減少蛋白尿時トシテ尿中種々ノ圓塊

(己)虎列拉腎ハ尿量減少(或ハ無尿)、濁濁、インヂカンノ多量、少量ノ蛋白  
ヲ含ム水腫ヲ發セス

(豫候) 急性腎臟炎ノ感冒及急性傳染病ニ因スルモノハ其但シ猩紅熱性ノモノハ不  
良中毒性ハ其輕重ニ從フテ差アリ○慢性炎ニシテ心臓衰弱ノ兆アルトキハ  
不良ナルモ輕快若クハ全治スルコトアリ○眞性萎縮腎ハ不治症ナルモ生命  
上俄カニ不良ナルモノニ非ス○鬱血腎ハ其原因ニ從フテ差アリ妊娠腎ニシ  
テ急癩ヲ發スルモノハ不良ナルコトアリ虎列拉腎モ亦タ不良

(療法) 初期ニハ待期療法ニシテ醋酸加留護ノ緩和尿劑ヲ與ヘ浮腫ニハ熱浴(攝氏  
四十乃至四十二度浴間ハ十五分乃至三十分ニシテ後二三時間溫包ス)ヲ  
取ラシメ兼テ發汗劑(殊ニ耶僕蘭日或ハ必魯加兒必涅)茶劑等ヲ與フ○此法

初メ毎日、後ニハ時々之ヲ行ヒ尿中蛋白質ヲ消失スルニ至ル迄怠ル可ラス  
 ○病勢持續スルニ於テハ安臥靜息セシメ可成ハ牛乳療法ヲ持久ス牛乳ノミ  
 ナ以テ患者ヲ養フニハ一日三乃至四「リール」ノ牛乳ヲ與ヘザルベカラズ  
 若シ多量ヲ用ユルコト克ハザルトキハ毎日凡ソ一「リール」ノ牛乳ヲ與ヘ  
 其他葛湯、オモ湯、菜類、豌豆、胡蘿蔔、菓物等ヲ用ユベシ肉類、肉羹汁ハ之レ  
 ナ禁ズベシ○慢性ノモノニハ鐵劑及健胃劑ヲ處シ又多量ノ飲料ヲ與ヘ或ハ  
 毎日半乃至數「リール」ノ牛乳療法ヲ行フ其他一般ノ攝生ニ注意シテ身體  
 ナ温包シ僅微適宜ノ運動ヲナサシメ或ハ梅毒、間歇熱等ノ原因療法ヲ主ト  
 シ又温暖轉地療養等ヲ試ム可シ

- ゲウレンチン 三、〇乃至五、〇
- 單舎 一〇、〇
- 水 二〇〇、〇
- 右一日數回分服
- 實莖葉浸 (一、〇)一八〇、〇
- 硝酸加留膜 六、〇
- 單舎 二〇〇、〇
- 右一日六回二日分服 一五、〇
- 醋酸加留膜 一五、〇
- 苦味丁幾 二、〇
- 水 二〇〇、〇
- 右一日三回二日分服
- 撒曹咖啡涅 〇、二
- 白糖 〇、三
- 右第一包與六包一日三回二日分
- 酒石英 一〇、〇—四〇、〇
- 醋酸加留膜 一五、〇
- 苦味丁幾 二、〇

- 水 二〇〇、〇
- 右一日三回二日分服
- 酒石英 二〇、〇—四〇、〇或ハ五〇、〇
- 右散劑或ハ水劑トナシ一日三回 二日分服
- 慢性症ニハ 一〇〇、〇
- 十%ヨヂピン 右一日三回一茶匙宛
- 沃剝 五、〇
- 水 二〇〇、〇
- 右一日六回牛乳ニ混シ用ユ二日 分服
- 杜松實浸 (一〇、〇)一八〇、〇
- 醋酸加留膜 一〇、〇
- 單舎 二〇、〇
- 右一日六回二日分服
- アラッタ、オリエンタリス 二、〇
- 右研和散十包ニ作り毎日二三包
- チノニド煎 (二〇、〇)二〇〇、〇
- 錯酸加留膜 各二〇、〇
- 杜松實蒸 右調和每二時一食匙
- 木賊煎 (一〇、〇)一五〇、〇
- 杜松實舎 二〇、〇
- 右調和每時一食匙
- 杜松實浸 (二〇、〇)二〇〇、〇
- 醋酸加留膜 各二〇、〇
- 海葱醋蜜 右調和每二時一食匙
- 海葱越 〇、三
- 洋芹水 一〇〇、〇
- 醋酸加留膜水 一五、〇
- 杜松實蒸 二〇、〇
- 右調和每二時一食匙
- デチプロミン 〇、五

腎臟炎

右爲一包與十包一日六乃至十包  
其他ノ植物性利尿劑、枸橼酸咖啡涅等  
モ亦實用スル所ナリ  
尿中多量ノ蛋白ヲ含有スルトキハ左方

- 單寧酸 五、〇
- 水製蘆薈 二、〇
- 蒲公英末及同越 適宜
- 右調和丸五十粒ニ作り一日三回 每三粒
- 單寧酸 〇、五
- 白糖 二、〇
- 右調和散五包ニ作り每三時一包
- 單寧酸 一、〇乃至五、〇
- 水 一五〇、〇
- 重曹 適宜
- 右亞爾加里反應ヲ呈スルニ至リ 一二日ニ用フ(單寧酸那篤留誤)
- 明礬 二、〇

---

水 一〇〇、〇

- 單舍 一五、〇
- 右調和每二時一食匙
- 血尿症ヲ兼ナル者ニハ方左テ處ス
- 麥角 〇、三
- 單寧酸 〇、〇三
- 護謨散 〇、五
- 右爲一包與六包一日三回一包宛
- 鉛糖 〇、二
- 鹽莫 〇、〇五
- 拘橈油糖 二、〇
- 右研和散五包ニ作り每二時一包
- 過格魯兒鐵液 二、〇
- 桂皮水 一五〇、〇
- 桂皮舍 二〇〇、〇
- 右調和每二時一食匙
- 麥角越 一、〇
- 薄荷油糖 二、〇

右研和散五包ニ作り每三時一包  
尿毒症ノ徵候アルトキニハ安息香製劑  
ヲ用ヒ又急痛發作ヲ併發スルニ於テハ  
頭部ノ氷罨法、刺戟灌腸等ヲ行フテ効  
アリ其他下劑ヲ投シ或ハ莫兒比涅ノ皮  
下注射ヲ行フコト有リ

- 安息香酸 〇、五
- 枸橈油糖 二、〇
- 右研和散五包ニ作り每二時一包
- 安息香華 各二、〇
- 白糖 各二、〇
- 右研和散十包ニ作り每三時一包
- 不眠及ヒ尿毒性喘息ニハ左方
- パルアルデヒド 四、〇
- 沙列布漿 各二〇、〇
- 橙皮舍 一〇〇、〇
- 水 一〇〇、〇
- 右調和每二時一食匙

---

小兒ノ急性腎臟炎ニハ專ラ牛乳療法  
ヲ施シ利尿劑ヲ禁シ飲料ニハ礦泉(加  
兒爾斯泉鹽等)ヲ與フ○發熱兼血尿症  
ノ者ニハ方左テ處スヘシ

- 單寧酸規尼涅 一、〇乃至二、〇
- 白糖 三、〇
- 右研和散十包ニ作り每二時一包
- 乳汁ニ加ヘ用フ
- 尿毒症及ヒ急痛ニハ毎日二回列氏二十  
七至乃二十八度ノ溫浴ヲ取ラシメ且ツ  
下劑ヲ投シ又抱水格魯拉爾ノ灌腸
- 抱水格魯拉爾 二、〇乃至六、〇
- 水 二五〇、〇
- 右調和灌腸料(二回分)
- 安息香華 〇、四
- 白糖 三、〇
- 右研和散十包ニ作り每二時一包



### ○三叉神經痛 (顏面痛) *Neuralgia trigemina.*

ノイラルギア、トリゲミニス

(原因) 痲瘋質斯、麻拉里亞、梅毒、鉛毒、三叉神經ノ壓迫、寒冷、貧血、萎黃病、比斯的里、感冒、外傷、頭部ノ疾患等

(診候) 顔面ニ發スル發作性劇甚ノ疼痛ニシテ其三叉神經枝ヲ傳播放線狀ニ波及スルコト電ノ如シ而シテ其疼痛第一枝ニ係ルモノハ前頭、眼球、上眼瞼第二枝ニ係ルモノハ下眼瞼、上唇、鼻翼、上齒列第三枝ニ係ルモノハ下唇、下顎下齒列及舌尖ニ發スルモノナリ

(豫後) 概テ疑シキモノトス

(療法) 可成其原因ヲ探リテ原因療法ヲ行ハサル可ラス即チ痲瘋質斯性神經痛ニハ發汗浴、按摩法、電氣療法ヲ行フ又冷水療法或ハ軟膏塗擦或ハ硫酸依的兒若クハ石油依的兒ノ洗滌或ハ嚼囉仿護ノ吸入或ハ莫兒比涅ノ皮下注射等ヲ賞用ス○定型性發作ニハ規尼涅、梅毒ニハ水銀療法、鉛中毎ニハ沃度加留護等ヲ用フ而シテ其頑固ナルモノニハ神經截除術ヲ施スノ外他ナキモノトス

- 硫規 二、〇 右每三時五滴
- 亞鉛華 右散五包ニ作り每發作前二包
- 亞鉛華 各二、〇
- 法水 一〇、〇 額草越

- 右調和丸二十粒ニ作り每發作三粒
- プーナル格魯拉爾 三、〇
- 再留酒精 一〇、〇
- 佩里設林 二〇、〇
- 水 一〇、〇
- 右調和一回三乃至四食匙
- エキサルギン 二、五
- 橙皮丁 五、〇
- 水 一〇、〇
- 橙皮舍 三〇、〇
- 右調和朝夕一食匙
- 勃拉篤里涅 〇、五
- 華攝林 二〇、〇
- 右調和軟膏ニ作り塗擦
- 結晶亞古尼質涅 〇、〇一
- 濃厚酒精 〇、〇一
- 水 各三〇、〇
- 右調和一日一乃至二回每一茶匙
- アンチチルウ井ン 〇
- 白糖 各五、〇
- 右散十包ニ分チ每二時一包
- ケルゼミ丁 五、〇
- 右三十分時每二十滴三回

### ○神經衰弱症 *Neurasthenie.* ノイラスチニー

(原因) 身體的及ヒ精神的過勞、喫烟過度、手淫等ナリ、壯年期ニ多シ  
(診候) 腦髓性脊髓性及ヒ以上兩性ヲ併發スルモノアリ腦髓性神經衰弱症ニ在テハ頭重或ハ頭痛ヲ訴ヘ書ヲ讀ムモ其理義ヲ十分ニ解スルコト能ハズ健忘ニ陥リ總テ精神的事業ニ從フノ力ナク不眠症ヲ發シ怒リ易ク又喜ビ易ク感情忽

チニ劇變スルコアリ特ニ恐懼ヲ抱ク多シ大便多クハ便秘結食思缺損ス(神經性消化不良)○脊髓性ノ者ニ於テハ晨起既ニ身體殊ニ筋肉ノ疲勞ヲ覺エ歩行ノ際速ニ下肢諸筋ノ疲勞ヲ覺エ又屢下肢ニ異常ノ感覺ヲ覺エ薦骨部ニ於テ疼痛ヲ訴フルコトアリ而シテ脊椎骨ヲ壓シテ疼痛ヲ發スルコトアリ

(療法)生命上豫後良ナルモ全治スルコト難シ  
(療法)精神的事業ヲ徐々ニ減シ海岸或ハ山中ニ轉地療養ヲ命シ全身感傳電氣ヲ處シ又按摩法ヲ用フ冷水ヲ以テ身體ヲ摩擦シ就業ト休憩ト適度ニ相交換セシメ正規的戶外運動ヲナサシメ食事時間ヲ確定シ食物ニハ肉類ヲ選ミ亞爾箇保爾煙草茶咖啡等ヲ節減シ便通ヲ整フ可シ

○ 臭剝

臭素那篤偶膜

臭素安母紐膜

各八、〇

右十二包ニ分チ毎夕一乃至二包

ヲ水ニ溶解シテ用フ

不眠症ニハ左方

○ ブルフホナール

一、〇

右一包トナシ就寢三時間前茶或

ハ汁ニ混シテ用フ

硝化不良ニハ左方ヲ處ス

○ 撒酸蒼鉛

麻偲涅矢亞

重曹

各一〇、〇

右散十包ニ分チ朝夕每食後一包

宛

○ 薄荷油加重曹錠

三十個

右晝食及ヒ晚餐後一乃至二個

便秘ニハ按腹漑注法ヲ用ヒ左方ヲ處ス

○ 旃那葉

昇華硫黃

八角茴香末

茴香末

純精酒石

甘草末

白糖

各六、〇

各三、〇

二、〇

九、〇

二五、〇

右爲散劑毎夜九時及ヒ十時ノ間

ニ半盞ノ水ニ一茶匙ヲ溶解シ内

服

下痢症ニハ下方ヲ用ヒテ効アリ

○ 撒酸蒼鉛

アルフアナフトール

白堊

磷酸石灰

右散二十包ニ分チ朝晝食後每一

包

同時ニ貧血ヲ治スベシ(鐵及ヒ規尼涅)

○ 遲鈍性ニハ海水浴、高山、氣候、滋養

物(肉乳汁卵)適量ノ酒精飲料冷水塗擦

法

○ 「ニコチン」中毒

Niccinovergiftung.

ニコチンフェ  
ルギフツング

(原因)急性ニハ脈細徐、失神、嘔吐、強直、呼吸絶止、慢性ニハ心悸不正亢進、喘息、不眠、黒内障等ナリ

(療法)急性ニ在テハ微温湯ヲ投シ咽頭ヲ搔攪シテ嘔吐ヲ促シ(吐劑ハ虚脱ヲ増進スルヲ以テ之ヲ禁ス)或ハ胃唧筒ヲ用ヒ或ハ興奮藥ヲ與ヘ又或ハ莫兒比涅ノ皮下注射ヲ行フテ其効ヲ認ムルコトアリ

○ 單寧酸 二、〇  
卵蛋白 一〇〇、〇  
水 一〇〇、〇

右調和振盪每二時一食匙  
慢性中毒ニハ喫煙ヲ嚴禁シ又黑内障ヲ  
來タセル者ニハ斯篤利幾尼涅ノ皮下注

射チ行フベシ  
○ 硝酸斯篤利幾尼涅 一〇、一  
水 一〇〇、〇

右調和皮下注射用四分一筒ニ始  
マリ漸々増量スベシ

### ○ 水癌 *Noma.*

(原因) 瘻扶助或ハ急性發疹ノ惡性ナル者等凡テ營養不良ノ者ニ發ス大抵小兒ナリ  
(診後) 口角ノ近傍ニ於テ發スル結節ニシテ外面ヨリ觸ルレバ板ノ如ク硬キモ内面  
ニ破潰シテ瘡面ノ暗黒不潔ナル潰瘍ニ變ジ次ニ外面モ亦壞疽ニ陥リ乾癩  
ヲ結フト同時ニ同一ノ變化ヲ以テ速ニ四邊ニ蔓延ス患者ノ全身症狀其初メ  
ニハ惡液質ニ過キサルモ忽チ下痢、足部浮腫、虛脫等ヲ發ス  
(豫後) 速カニ治チ施セハ良ナルモ然ラザレバ不良  
(療法) 局處療法ニハ腐蝕藥ヲ用ユ即チ格魯兒亞鉛末ニ水ヲ加ヘテ粥狀トナシ綿花  
ニ浸シ之レヲ患部ニ接着スルコト八分間ニシテ之レヲ除キ殺菌水ニテ洗滌  
シ綿帶ス又タ烙白金ニテ燒灼ス其他解熱藥、滋養食物、葡萄酒、「コンニヤッ  
ク<sub>」</sub>酒等ヲ與フ

○ 格魯兒亞鉛加留誤 二、〇  
水 一〇〇、〇

### ○ 肥胖病 *Obesitas.*

右調和口内洗滌料

(原因) 生體脂肪發生物ノ過食、安逸、坐食、病後體質ノ變性ナリトス  
(診候) 歩行困難、反身、腹垂、發汗、心動微弱、脈搏不齊、心臟肥大、呼吸困難、全身肥  
胖、四肢及面部ノ浮腫尿中ノ蛋白等ナリ  
(豫後) 疑、蓋シ心臟衰弱、腦出血、膝出血等ヲ發シ頓死スルコトアリ  
(療法) 生理的原則ニ從ヒ其生活法ヲ一變シテ之ヲ持長セサル可ラス即チ過食ヲ禁  
シ八時間以內ノ睡眠ヲ命シ麵類、馬鈴薯、甘藷、菓子、酒類特ニ麥酒ヲ禁  
シ、脂肪ヲ形成スルトコロノ物(澱粉、砂糖)及飲料ヲ節スベシ脂肪ハ禁ス  
ベカラス一時ノ療法即チ姑息法ハ廢藥スルヲ可トス次ノ三法ハ嘗テ稱用セ  
ラレタルモ有害アルコトアリ第一バンチング氏療法(脂肪及含水炭素ノ食  
用大節減并ヒニ蛋白食用増加)第二エツプスタイン氏療法(含水炭素大節減  
蛋白ノ小量食用)第三オエルテル氏療法(蛋白多量食用飲料節減)其他三  
法共ニ亞爾箇保爾性飲料ヲ節減ス○藥劑的療法及礦泉療法ハ只一時ノ奏効  
アルノミ其他ノ攝生ニハ居常動靜相折衷シテ其適度ヲ慮リ心臟ニ異常ナキ  
モノニハ身體ヲ運動シテ筋力ヲ増加セシムルヲ可トス

水癌 肥胖病

### ○便秘 *Obstipatio cæci.*

オプスチパチチ  
アルツ井

(原因) 不消化性粗食、收斂性飲食物、發汗泌乳排尿等ノ過多、膽汁分泌減少、腸管筋  
膜ノ麻痺若クハ痙攣或ハ腫瘍、佝僂病、貧血、妊娠子宮ノ壓迫其他比斯的里、  
脊髓病、腸管ノ狹窄或ハ閉塞等ナリ

(診候) 硬結々塊シタル宿便ノ通利ナキコト三十七時以上ニ至ルコト有リ心身違  
和、倦怠、心悸亢進、眩暈等ニシテ終ニハ痔疾、吐病ヲ發スルニ至ル

(療法) 一時性ナルモノト常習性ナル者トニ論ナク凡テ其原因ヲ除去スルコトニ注  
意シ適宜ノ運動ヲナシ飲食ヲ節シ腹部ノ冷水洗滌ヲ行ヒ「プリスニッツ」氏  
ノ腹帶ヲ用ヒ或ハ下腹ノ按摩法ヲ施シ鑛泉療法ヲ行ヒ又偲里設林一、〇乃  
至三、〇ヲ注射器ニ據テ直腸内ニ注入シ或ハ偲里設林坐藥ヲ用ユ

- 旃那浸 (二〇、〇) 一五〇、〇  
硫麻 三〇、〇  
覆盆子舍 二〇、〇  
右調和每二時一食匙
- 葛麻子油 三〇、〇  
巴豆油 三滴  
右調和每二時一食匙 (二方共ニ)
- 甘露 各三、〇  
乳糖 各三、〇  
右研和散六包ニ作り每二時一包  
効驗ヲ待テ後服ヲ止ム
- 葛麻子油 三〇、〇  
右一茶匙乃至一食匙(麥酒、肉羹

- 覆方旃那浸 五〇、〇  
覆盆子舍 一〇、〇  
杏仁水 五、〇  
右調和微温トナシ用フ
  - 旃那砥劑 五〇、〇  
右二回ニ分服
  - 水製大黃丁 一五、〇  
右每回一食匙頻々服用
  - 葯刺巴脂 〇、五  
卵黃 一箇
  - 橙花水 三〇、〇  
單舍 一五、〇  
右調和每時一茶匙
  - 答麻林度煎 (二〇、〇) 二〇〇、〇  
枸橼酸麻偲涅叟膜 各二〇、〇  
滿那舍 各二〇、〇  
右調和每二時一食匙
  - 滿那 五〇、〇
- 汁、茶等ヲ和シテ用フルヲ佳ト  
ス葛麻子油三、〇乃至五、〇ヲ包  
囊劑ニ作りテ用フルコトアリ)
- 葛麻子油 三〇、〇  
亞拉昆亞護膜末 一〇、〇  
水 一五〇、〇  
滿那舍 一五、〇  
右調和每時一食匙
  - 硫麻 二〇、〇  
水 二〇〇、〇  
稀硫酸 二、〇  
右調和每時一食匙
  - 硫麻 三、〇  
右水ニ溶解シ一乃至二回ニ用フ
  - 緩下劑トシテ用フ可キ者ハ左方  
○ サントゼルマン下劑 三〇、〇  
右茶劑全量四分ノ一ヲ一椀ノ熱  
湯ニ浸出シ用フ

便秘